

<注意>

- ① 「2019 試用版ファイル」の各ファイルは、次のすべてのソフトで正常に作動します。
Microsoft Office Excel 2021 64ビット版
Microsoft Office Excel 2019 64ビット版
Microsoft Office Excel 2016 64ビット版

しかし、
Microsoft Office Excel 2021 32ビット版
Microsoft Office Excel 2019 32ビット版
Microsoft Office Excel 2016 32ビット版
では作動しません。
- ② 「2019 試用版ファイル」の各ファイルは、Windows 版上での Excel で作成したもので Mac 版上での Excel では正常に作動することは保証しかねます。また、外付けされている ssd のパソコンでは登録して使用可能ですが、ssd を本体パソコンのハードディスクと交換しているパソコンでは、パーティションをおこない C,D の2つのドライブを割り当てないと登録して使用することはできません。
- ③ 「2019 試用版ファイル」の各ファイルで、ファイルに組み込まれたマクロ機能を用いて、データーを次々変更しながら、印刷フォームの印刷範囲を PDF の添付ファイルとして該当者または該当組織にメール送信する処理を行う場合、お使いのパソコンには、必ず Microsoft の Outlook がインストールされている必要があります。
- ④ 「2019 試用版セットファイル」の登録・ファイル名書き換え処理が完了した後、各ファイルを立ち上げると、立ち上げ画面に

<注意>

著作権法に基づき、このシステムを著作権者に無断で使用すること及び複写すること並びに頒布することを禁止します。また、システムを無断で改変すること等も禁止します。

の注意書きが表示されますが、ファイルの登録・ファイル名書き換え処理が完了された方は、著作権者に使用が許可されたものとみなします。

<目次>

1. 2019 試用版セットファイル登録書き換え	
実行前に行うべきこと	P3
(1) ファイルのダウンロード	P3
(2) デ스플레이設定の詳細設定等	P4
①Windows11 の場合	P4
②Windows10 の場合	P9
(3) マクロのセキュリティ設定等	P14
① Exel2021 でおこなう場合	P14
② Exel2019 でおこなう場合	P17
③ Exel2016 でおこなう場合	P19
2. 2019 試用版セットファイル登録書き換え実行手順	P22

3. 各エクセルファイルのユーザーフォームの表示設定について	P34
(1) Winndows11 または Windows10 の場合	P34
(2) Windopws8.1 の場合	P41
4. 2019 試用版セットファイル登録書き換え実行後の	
「2019CV-DataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルの開き方	P47
(1) 4 個のファイルを個々に開く方法	P48
(2) 4 個のファイルを一括して開く方法	P65
5. 登録書き換え後の「2019CV-DataBaseMonsterVer1 試用版」の	
セットファイルのリンクの編集	P80
6. 登録書き換え後の「2019CV-DataBaseMonsterVer1 試用版」のセット	
ファイルのファイル名変更について	P93

1. 2019 試用版セットファイル登録書き換え実行前に行うべきこと

(1) ファイルのダウンロード

2019 試用版セットファイル登録書き換え実行前に、ダウンロードフォルダーを整理して空にしておき、私共のホームページのページ「2019 版 3 台ファイルダウンロード」の「Ⅱ 2019 版 3 台ファイルの各ファイルのダウンロード」から 26 個の全てのエクセルファイルをダウンロードフォルダーに保存してください。

そして、ページ「使用マニュアルダウンロード」へ行き、「Ⅰ 新しいマニュアルのダウンロード」から、「準備」および次の 1~17 のアルファベット名のマニュアルをそれぞれダウンロードし、その下の 1~17 の日本語名にそれぞれファイル名を変更してダウンロードフォルダーに保存してください。ファイル名を変更して保存する方法は、それぞれのファイルをダウンロードする箇所に記載されていますのでそれをご覧ください。

(アルファベット名)

- 1.cvexceldatabasefilenosiyoukarainnsatumadenokihonntekinanagara.pdf
- 2.kihonntekinasheet.pdf
- 3.failmeinohennkoufailnouwagakihozonnmanyual.pdf
- 4.sheetmeihennkoumacrosyorimanyuaru.pdf
- 5.koumokuhyoujisakuseimanyual.pdf
- 6.nyuuryokusheetnogyosuutuikanikannsurumacrosyorimanyual.pdf
- 7.innsatuhennsyusheetnohennsyuuryouikiironurikaesyorimakuromanyual.pdf
- 8.nyuuryokusheetdatanosheetinnsatuformsortdatatounohukusyamacromanyual.pdf
- 9.sheetfilesakuseikopyyounosheetnoinnsatuformtounohukusyamacromanyual.pdf
- 10.innsatuformsheettounoinnsatububunnnoyousikisekkeimanyual.pdf
- 11.innsatunailmacroreinyuuryokusheettirannhyoutukifailsakuseinyuuryokusetteinonyuuryokutomailsousinnmanyual.pdf
- 12.nyuuryokusheetkannnoretutannihukusyamacromanyual.pdf
- 13.tuikaworksheetmeisetteimacromanyual.pdf
- 14.hennsyusheetkaranyuuryokusheetenohyoudatatahukusyamacromanyual.pdf
- 15.systemnosyokikasheetnosakujyosyoutoumacromanyual.pdf
- 16.itirannhyoutukifilesakuseinyuuryokusetteinorennzokuinnsatunanyual.pdf
- 17.sellnoataiworiyousitanailnosousinnsyagotononiyasuaihonbunnnosakuseinosikata.docx

(日本語名)

- 1.CV-excel database ファイルの使用から印刷までの基本的な流れ.pdf
- 2.基本的なシート.pdf
- 3.ファイル名の変更、ファイルの上書き保存マニュアル.pdf
- 4.シート名変更マクロ処理マニュアル.pdf
- 5.項目表示作成マニュアル.pdf
- 6.入力シートの行数追加に関するマクロ処理マニュアル.pdf
- 7.「印刷編集シート」の編集領域色塗り替え処理マクロマニュアル.pdf
- 8.入力シートデーターのシート「印刷フォームソートデーター」等への複写マクロマニュアル.pdf
- 9.シート「ファイル作成コピー用」のシート「印刷フォーム」等への複写マクロマニュアル.pdf
- 10.「印刷フォーム」シート等の印刷部分の様式設計マニュアル.pdf
- 11.印刷・メールマクロ命令入力シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の入力と印刷・メール送信マニュアル.pdf
- 12.入力シート間の列単位複写マクロマニュアル.pdf
- 13.追加ワークシート名設定マクロマニュアル.pdf
- 14.編集シートから入力シートへの表データー複写マクロマニュアル.pdf
- 15.システムの初期化、シートデーターの削除・消去等マクロマニュアル.pdf
- 16.一覧表付ファイル作成入力設定の連続印刷マニュアル.pdf
- 17.セルの値を利用したメールの送信者ごとの見やすいメール本文の作成の仕方

そしてまた、私共からメールで送信された 3 個の添付ファイル

CV-DataBaseHyperAdvanceVer1 (3 台 2019 インストールファイル複写無し).xlsm

PC 3 台ナンバー登録及びシステム購入申込書 2019 (インストール用).xlsm

2019 試用版セットファイル登録書き換えマニュアル.pdf

も一旦ダウンロードフォルダーに保存してください。

そして更に、上でダウンロードフォルダーに保存した全てのファイルを、Dドライブに適当なフォルダー（仮にこのフォルダーをフォルダーAと呼びましょう）を作成して呼びましょう）にコピーしてください。そしてもう1つDドライブに適当なフォルダー（仮にこのフォルダーをフォルダーBと呼びましょう）を作成してそこにもコピーしてください。ダウンロードフォルダーに保存した全てのファイルをのコピーした2つのフォルダーの1つのフォルダーAは、そのまま何もしないでおき、もう1つのフォルダーB内のファイルは2019試用版セットファイル登録書き換えを実行するためのもので、フォルダー名を「登録・ファイル名書き換え用」とします。

登録書き換えを実行する場合、フォルダー「登録・ファイル名書き換え用」内には、下の「**2. 2019試用版セットファイル登録書き換え実行手順**」における[図27]の表の26個の全てのファイルがないと、2019試用版セットファイル登録書き換えは、登録書き換えを行う途中の過程でエラーが出てしまい、本体の2019版3台セットファイルの26個全てのファイルの登録書き換えが行われなくなります。したがって、まず、下の[図27]の表の26個のファイル全てがファイル「登録・ファイル名書き換え用」内に存在するかどうか必ず確認してください。もし、存在しないファイルがある場合には、存在しないファイルを改めて私共のホームページよりダウンロードしていただき、フォルダー「登録・ファイル名書き換え用」内に必ずコピーしておいてください。

また、何もしないフォルダーAの全てのファイルには、ホームページからダウンロードして保存したとき、全てのファイルをダウンロードしたつもりでも欠けてしまうことも考えられます。その場合、再度ホームページから欠けているファイルのみダウンロードして保存し、何もしないフォルダーAにコピーすれば、すべてのファイルをまたダウンロードして保存する手間が省けます。そして、ファイルの内欠けているファイルがあったため2019試用版セットファイル登録書き換え実行に失敗した場合、フォルダー「登録・ファイル名書き換え用」内のファイルをすべて削除した後、改めてフォルダーA内の全てのファイルをフォルダー「登録・ファイル名書き換え用」内にコピーすれば、再度2019版3台セット製品登録書き換えを簡単に実行することができます。

（2）ディスプレイ設定の詳細設定等

excel database vba | 本格的エクセルデータベース（excel database）である「**CV-DataBaseAdvance 製品**」の各エクセルファイルや「**CV-DataBaseAdvance 試用版**」の各エクセルファイルの書き換え操作を行なう場合、ユーザーフォームの表示を適正な表示にするために、OSがWindows11やWindows10のPCで行う場合には、事前にディスプレイ設定の詳細設定を次のようにしておこなってください。

ただし、OSがWindows8.1のPCを用いて行う場合にはこの設定は不要です。

①Windows11の場合

次の[図1]画面は私どもが使用している windows11 の OS が搭載された PC のデスクトップの画面です。

[図1]

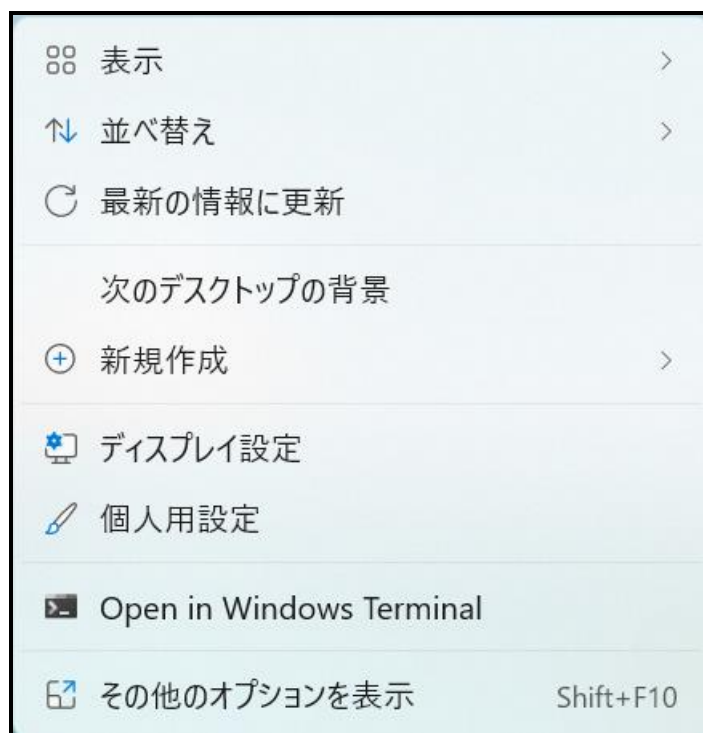


上のデスクトップで右クリックすると次の[図2]の画面ようなメニューが表示されます。

[図2]



上のメニュー部分を拡大表示すると



のようになっています。このメニューで  **ディスプレイ設定** をクリックすると次の[図3]画面が表示されます。

[図3]



上の[図3]の画面の



の部分の右側の **125% (推奨)** > 部分の > をクリックすると次の[図4]の画面になります。

[図4]



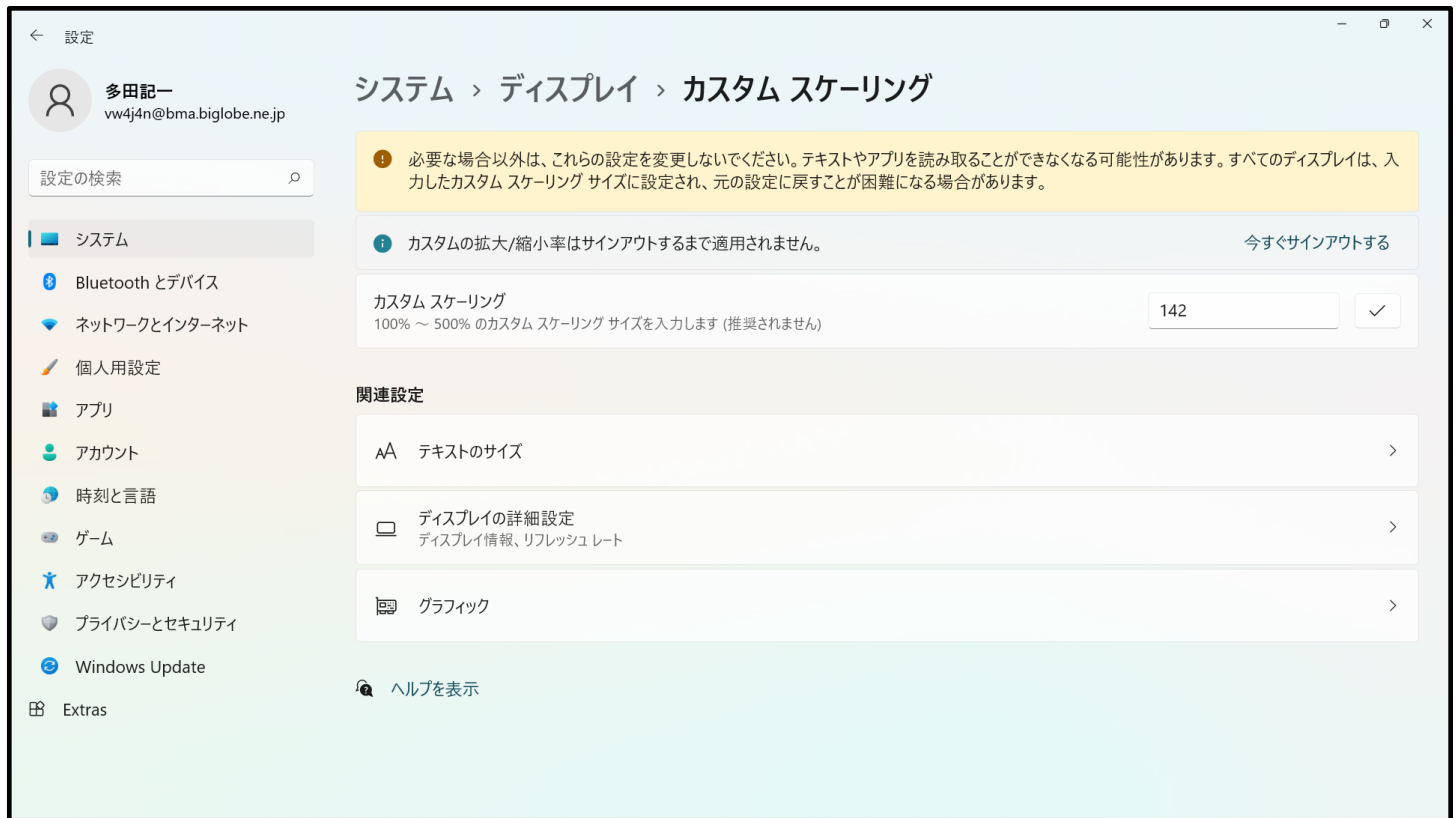
そして上の[図4]の画面における



の部分の右側の **100 ~ 500** の部分を選択して **142** と入力

してこの右側の  をクリックすると次の[図5]の画面になります。

[図5]



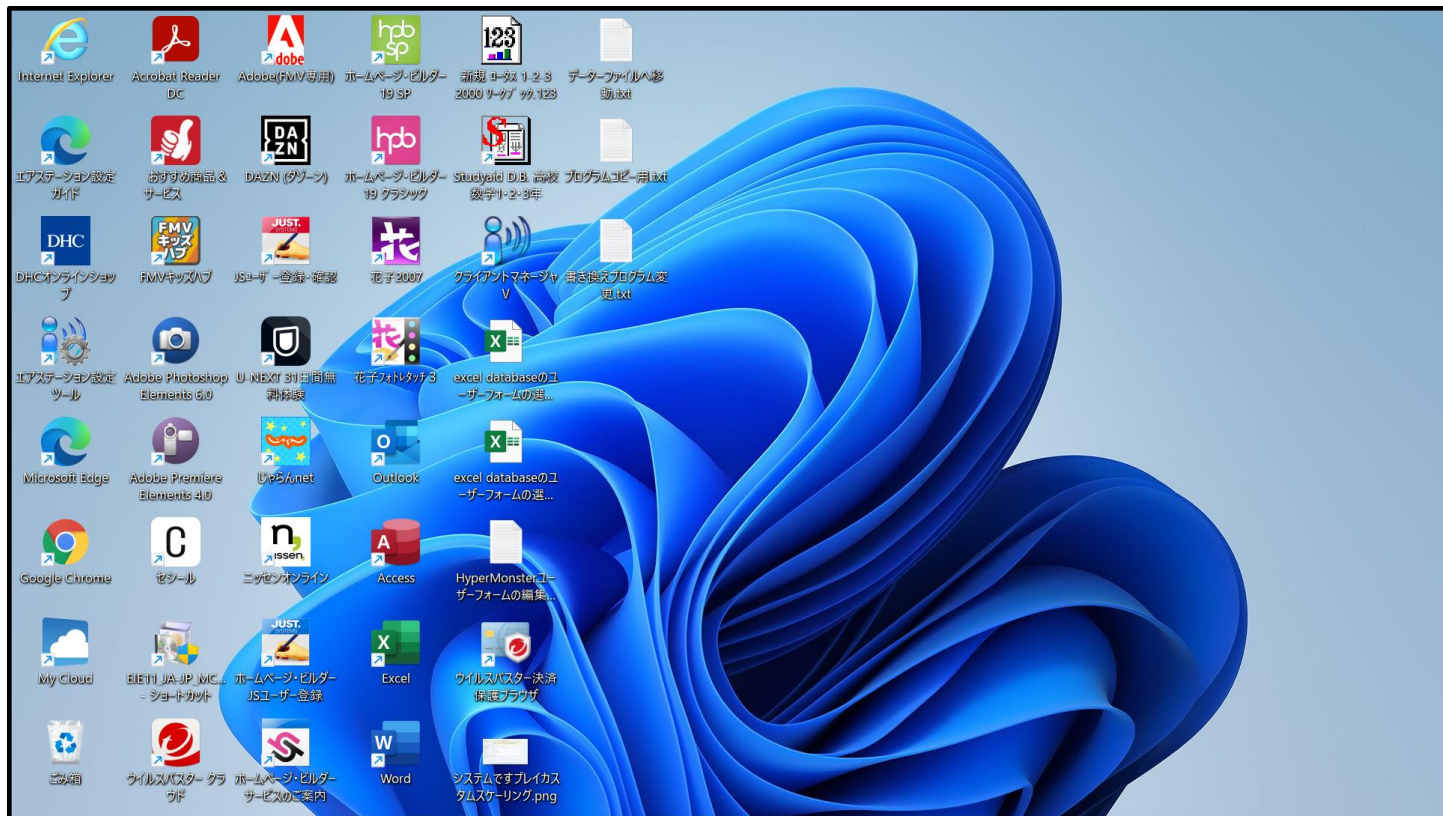
そして上の[図5]画面の



今すぐサインアウトする

の部分の右側の部分文字をクリックするとサインアウトの画面が表示され、その画面で pin の値を入力すると次の[図6]のデスクトップの画面になります。

〔図6〕

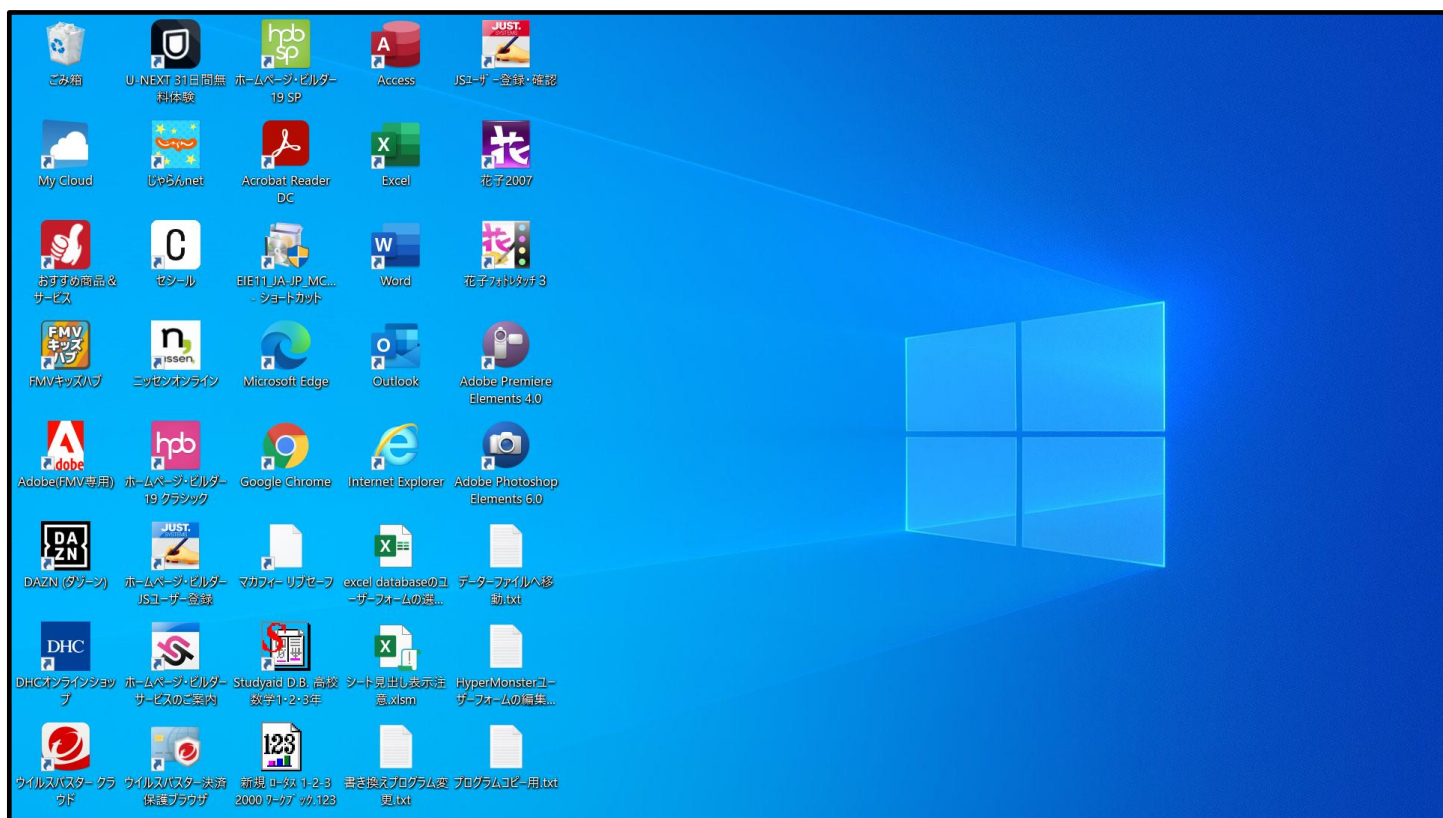


が表示されます。

②Windows10 の場合

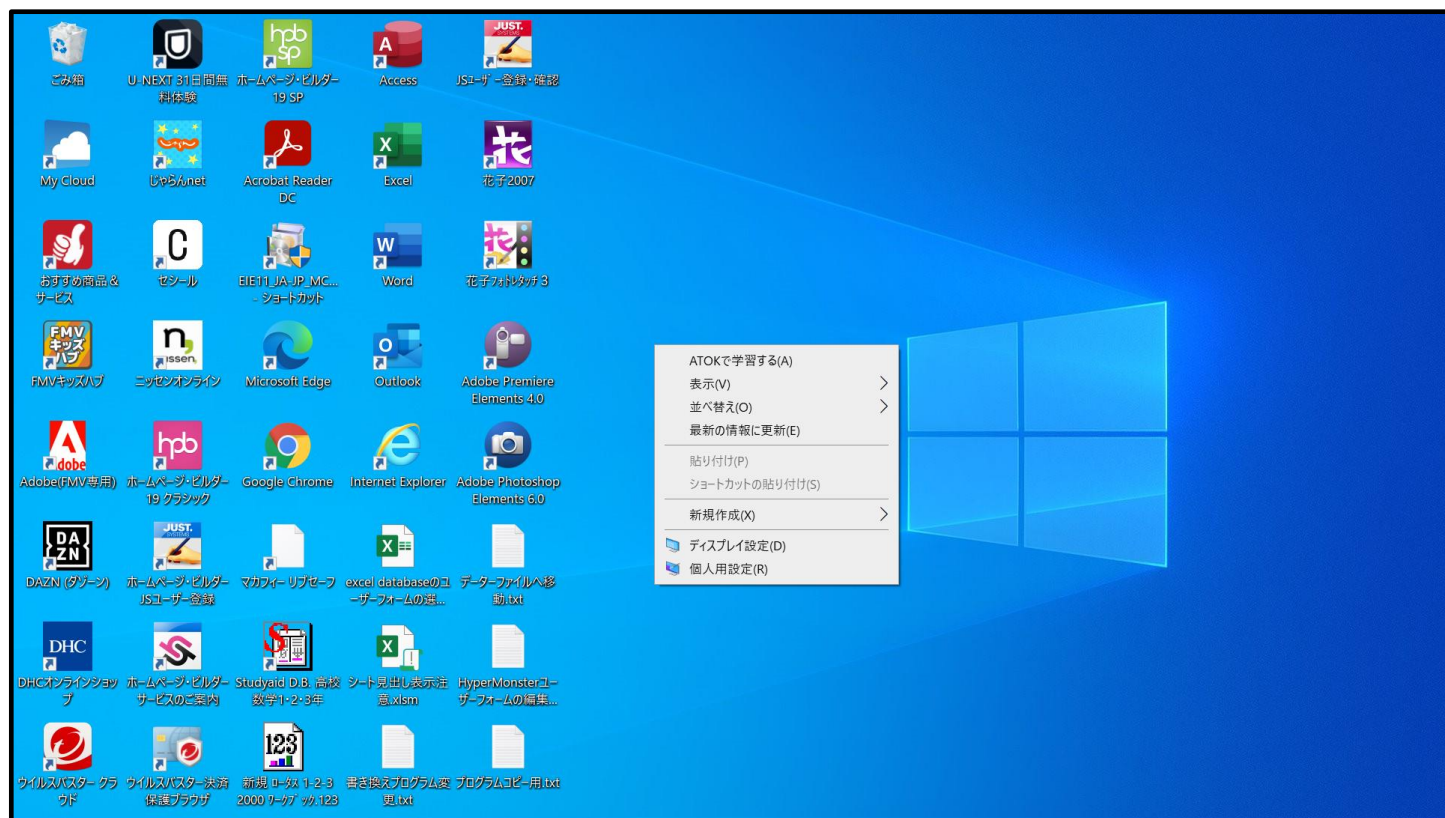
次の〔図7〕画面の私どもが使用している PC のデスクトップの画面です。

〔図7〕



デスクトップで右クリックすると次の[図8]画面のようなメニューが表示されます。

[図8]



上の[図8]画面のメニュー部分を拡大表示すると



のようになっています。このメニューで

ディスプレイ設定(D)

をクリックすると次の[図 9]画

面が表示されます。

[図 9]



上の[図 9]画面の

拡大縮小とレイアウト

テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する

125% (推奨)

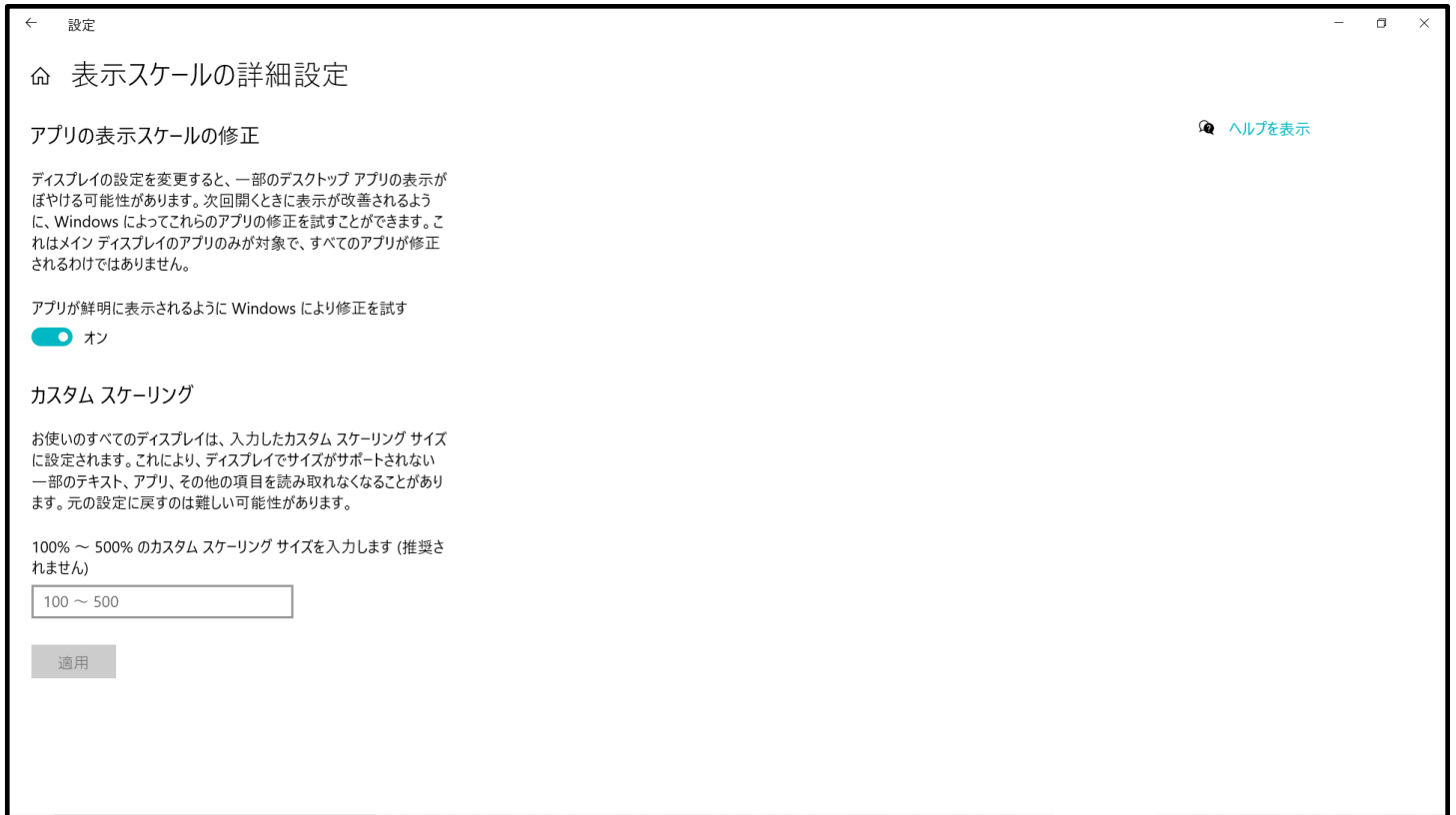
[表示スケールの詳細設定](#)

の部分の

[表示スケールの詳細設定](#)

をクリックすると次の[図 10]画面が表示されます。

[図 10]



上の[図 10]画面の

100 ~ 500

の部分で、

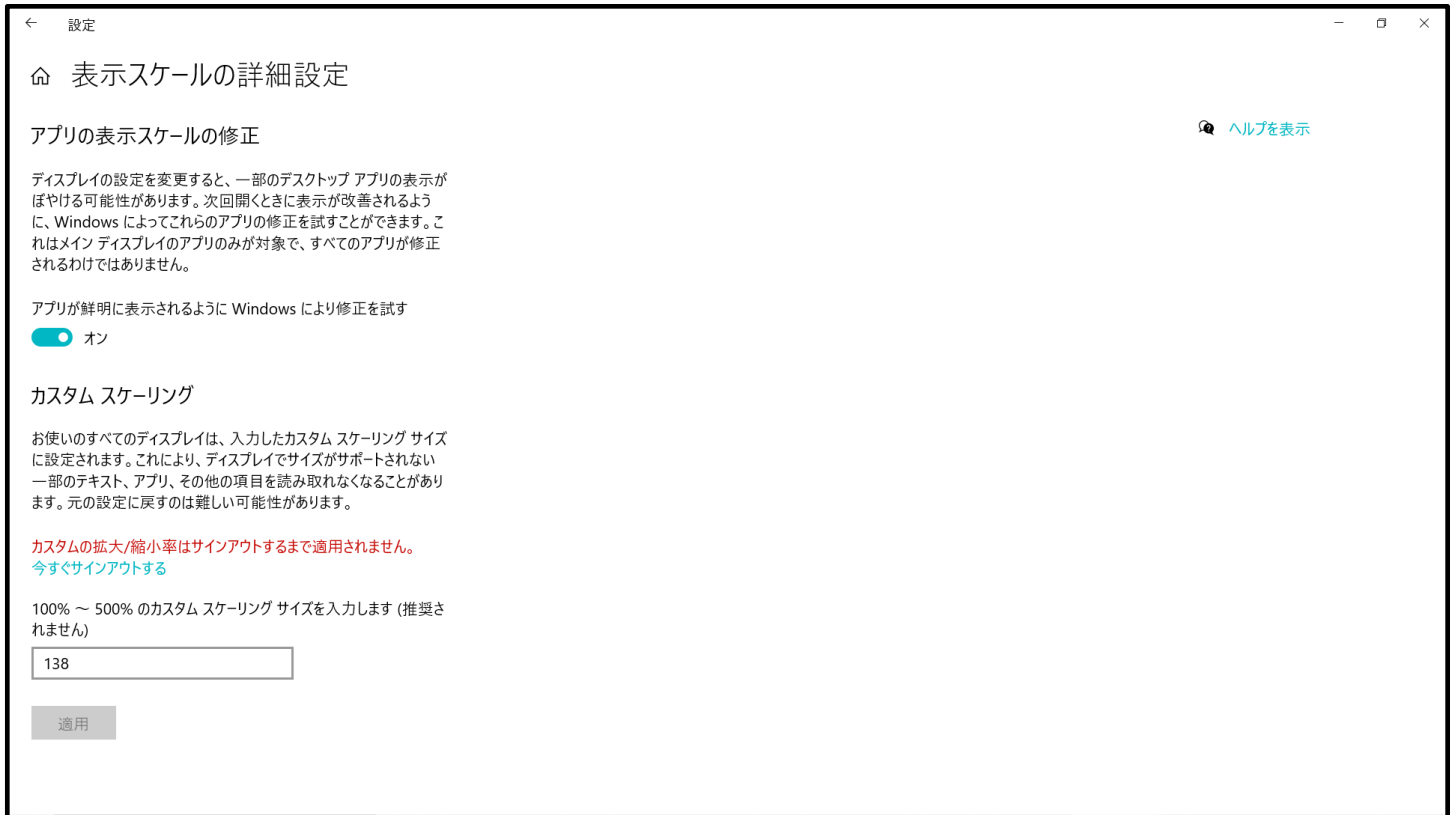
138

と入力して

適用

をクリックすると下の[図11]の画面になります。

[図11]



上の[図11]の画面の

カスタムの拡大/縮小率はサインアウトするまで適用されません。
今すぐサインアウトする

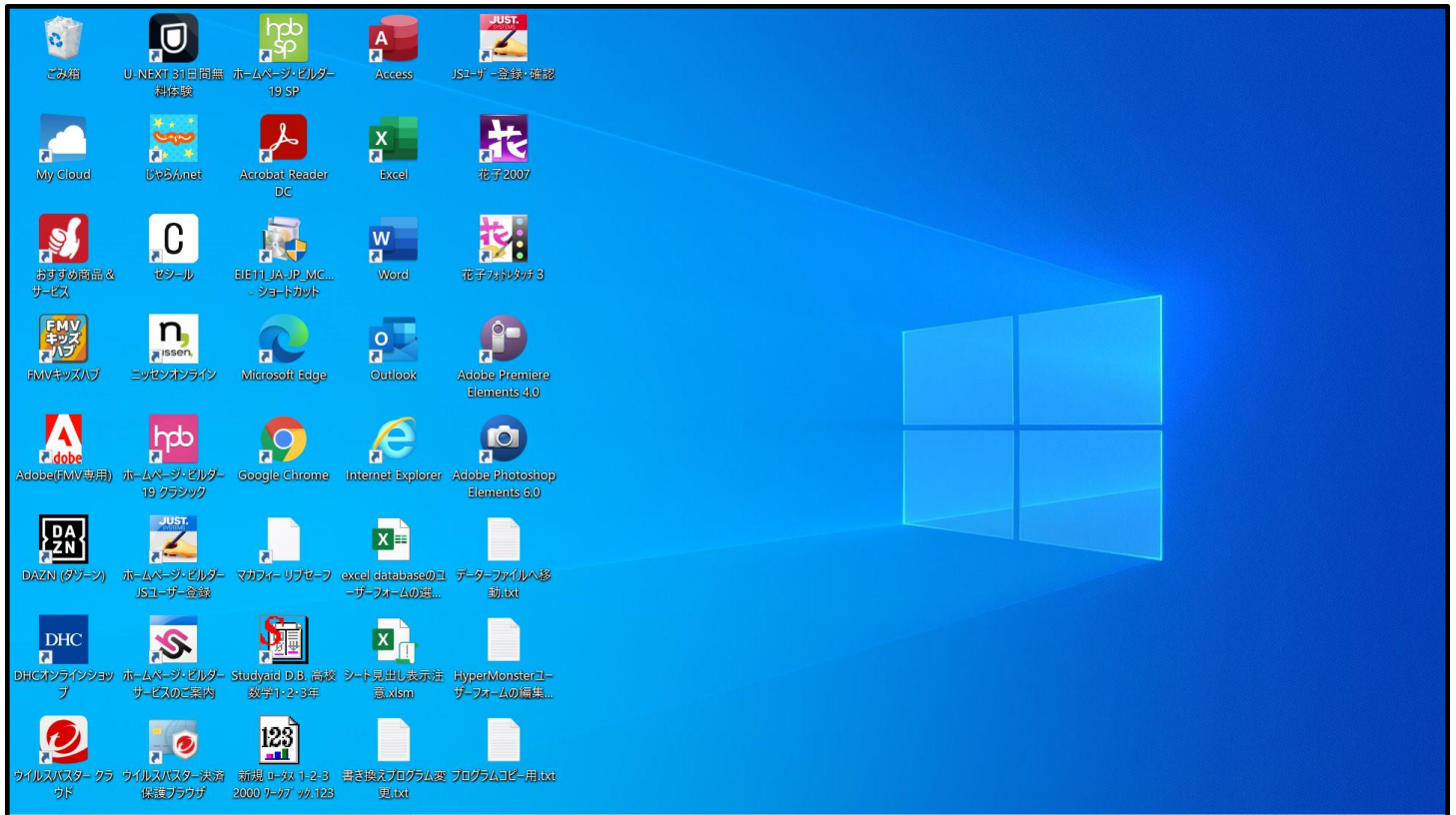
の部分の

今すぐサインアウトする

をクリックし

Pin の値もしくは Mikurosoft のアカウントのパスワードを入力してサインアウトするとデスクとトップの画面になります。私の場合のデスクトップの画面は次の[図 1 2]画面でこの画面に戻りました。

【図 1 2】



(3) マクロのセキュリティ設定等

必ず次のようにマクロのセキュリティ等を設定してください。このように設定しておかないと登録・ファイル名の書き換えが正常に実施できません。しかも登録・ファイル名書き換えを行なうファイル「shiyoubanncvdatabasehyperadvanceVer1kannjikanafilehennkann2019.xlsm.xlsm」が破損されてしまい、2度とこの登録・ファイル名書き換えファイルは使えなくなります。セキュリティの設定を誤って登録・ファイル名書き換え処理を実行してしまうことも考えられますので、ファイル「shiyoubanncvdatabasehyperadvanceVer1kannjikanafilehennkann2019.xlsm.xlsm」は、登録・ファイル名書き換え処理を実行するフォルダーB以外のフォルダーAにも登録・ファイル名書き換え処理を実行する前に必ずコピーして予備とし保存おいてください。

① Excel2021 でおこなう場合

まず、Excel2021 を起動し、**ファイル**→**オプション**→**Excel のオプション**→**リボンのユーザー設定**→

メインタブの「開発」にチェックを入れ**開発タブを表示**させてください。そしたら

タブ**開発**→**マクロのセキュリティ**と選択して「**トラストセンター**」を表示させます。そして、「**トラストセン**

ター」における**信頼できる場所**、**ActiveX の設定**、**マクロの設定**、**保護ビュー**、**メッセージバー**、

外部コンテンツで次のように設定します。

信頼できる場所

新しい場所の追加 (A) をクリック → 参照 をクリック → ボリューム (D:) を選択 → OK をクリック →

パス(P):部分 を D:¥ とする → この場所のサブフォルダーも信頼する (S) にチェック入れて OK をクリック

*このように設定することによって D ドラブおよび D ドライブ内の全てのフォルダーでホームページからダウンロードしたマクロつきエクセルファイルやメールの添付ファイルとして送信されたマクロつきエクセルファイルのマクロを実行することができるようになります。

また、更に 参照 をクリック → ダウンロード) を選択とするとダウンロードフォルダーでもホームページからダウンロードしたマクロつきエクセルファイルのマクロを実行することができるようになります。

ActiveX の設定

トラスト センター	
信頼できる発行元	すべての Office アプリケーションに適用する ActiveX の設定 ☐ 警告を表示せずにすべてのコントロールを無効にする(D) ☐ 先に確認メッセージを表示してから、初期化に危険が伴うコントロールには制限を強化し、初期化しても安全なコントロールには最低限の制限を適用して有効にする(R) ☐ 先に確認メッセージを表示してから、最低限の制限を適用してすべてのコントロールを有効にする(P) ☒ 確認メッセージを表示せずに、すべてのコントロールを制限なしに有効にする (推奨しません。危険なコントロールが実行される可能性があります)(E) ☐ セーフ モード (コンピューターに対するコントロールのアクセスを制限します)(S)

マクロの設定

トラスト センター	
信頼できる発行元	マクロの設定 ☐ 警告を表示せずにすべてのマクロを無効にする(L) ☐ 警告を表示してすべてのマクロを無効にする(D) ☐ デジタル署名されたマクロを除き、すべてのマクロを無効にする(G) ☒ すべてのマクロを有効にする (推奨しません。危険なコードが実行される可能性があります)(E) 開発者向けのマクロ設定 ☒ VBA プロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを信頼する(V)

保護ビュー

トラスト センター

信頼できる発行元

信頼できる場所

信頼済みドキュメント

信頼できるアドイン カタログ

アドイン

ActiveX の設定

マクロの設定

保護ビュー

メッセージ バー

外部コンテンツ

ファイル制限機能の設定

プライバシー オプション

フォームベースのサインイン

保護ビュー

保護ビューでは、セキュリティに関するメッセージを表示せずに、危険性のあるファイルを制限モードで開きます。これは、コンピューターへの悪影響を最小限に抑えるのに役立ちます。保護ビューを無効にすると、コンピューターがセキュリティの脅威にさらされる可能性があります。

☐ インターネットから取得したファイルに対して、保護ビューを有効にする(I)

☐ 安全でない可能性のある場所のファイルに対して、保護ビューを有効にする(L) ^①

☐ Outlook の添付ファイルに対して、保護ビューを有効にする(Q) ^①

信頼できないソースからのテキストベースのファイル (.csv、.dif、.sylk) を開くためのセキュリティ設定

☐ 信頼されたビューで常に信頼関係のないテキストベースのファイル (.csv、dif、sylk) を開く(I)

信頼できないソースからのデータベース ファイル (.dbf) を開くためのセキュリティ設定

☐ 信頼されていないデータベースファイル (.dbf) を常に保護ビューで開く(D)

メッセージバー

トラスト センター

信頼できる発行元

信頼できる場所

信頼済みドキュメント

信頼できるアドイン カタログ

アドイン

ActiveX の設定

マクロの設定

保護ビュー

メッセージ バー

すべての Office アプリケーションに適用するメッセージ バーの設定

メッセージ バーの表示

☐ ActiveX コントロールやマクロなどのアクティブ コンテンツがブロックされた場合、すべてのアプリケーションにメッセージ バーを表示する(S)

☒ ブロックされた内容に関する情報を表示しない(N)

ポリシーのヒント

☐ ポリシー ヒントをメッセージ バーに表示します。これをオフにすると、組織で必要とされる場合を除いて、ポリシー ヒントはすべて無効になります。

外部コンテンツの設定

トラスト センター

信頼できる発行元
信頼できる場所
信頼済みドキュメント
信頼できるアドイン カタログ
アドイン
ActiveX の設定
マクロの設定
保護ビュー
メッセージ バー
外部コンテンツ
ファイル制限機能の設定
プライバシー オプション
フォームベースのサインイン

データ接続のセキュリティ設定

- ☒ すべてのデータ接続を有効にする (推奨しません)(E)
- ☐ データ接続について確認のメッセージを表示する(P)
- ☐ すべてのデータ接続を無効にする(D)

ブック リンクのセキュリティ設定

- ☒ すべてのブック リンクの自動更新を有効にする (推奨しません)(A)
- ☐ ブック リンクの自動更新時に確認のメッセージを表示する(R)
- ☐ ブック リンクの自動更新を無効にする(I)

リンクされたデータ型のセキュリティ設定

- ☒ リンクされたデータ型をすべて有効にする (推奨しません)(N)
- ☐ リンクされたデータ型について確認のメッセージを表示する(Q)
- ☐ リンクされたデータ型をすべて無効にする(S)

動的データ交換のセキュリティ設定

- ☐ 動的データ交換サーバーの検索を有効にする(Y)
- ☐ 動的データ交換の起動を有効にする (推奨しません)(M)

信頼できないソースからの Microsoft Query ファイル (.iqy、.oqy、.dqy、.rqy) を開くためのセキュリティ設定

- ☐ 信頼できない Microsoft クエリファイル (.iqy、.oqy、.dqy および .rqy) の接続を常にブロックする(Q)

② Excel2019 でおこなう場合

まず、Excel2019 を起動し、**ファイル**→**その他**→**オプション**→**Excel のオプション**→**リボンのユーザー設定**→**メインタブ**と選択して行き**メインタブ**の「開発」にチェックを入れ**開発タブを表示**させてください。

そしたらタブ**開発**→**マクロのセキュリティ**と選択して「トラストセンター」を表示させます。そして、「トラストセンター」における**信頼できる場所**、**ActiveX の設定**、**マクロの設定**、**保護ビュー**、**メッセージバー**、**外部コンテンツ**で次のように設定します。

信頼できる場所

新しい場所の追加 (A) をクリック→**参照**をクリック→**ボリューム (D:)**を選択→**OK**をクリック→

パス(P):部分を **D:** とする→**この場所のサブフォルダーも信頼する (S)** にチェック入れて **OK** をクリック

*このように設定することによって **D** ドラブおよび **D** ドライブ内の全てのフォルダーでホームページからダウンロードしたマクロつきエクセルファイルやメールの添付ファイルとして送信されたマクロつきエクセルファイルのマクロを実行することができるようになります。

また、更に**参照**をクリック→**ダウンロード**を選択とするとダウンロードフォルダーでもホームページからダウンロードしたマクロつきエクセルファイルのマクロを実行することができるようになります。

ActiveX の設定

トラスト センター	
信頼できる発行元	
信頼できる場所	
信頼済みドキュメント	
信頼できるアドイン カタログ	
アドイン	
ActiveX の設定	すべての Office アプリケーションに適用する ActiveX の設定
マクロの設定	☐ 警告を表示せずにすべてのコントロールを無効にする(D)
保護ビュー	☐ 先に確認メッセージを表示してから、初期化に危険が伴うコントロールには制限を強化し、初期化しても安全なコントロールには最低限の制限を適用して有効にする(R)
メッセージ バー	☐ 先に確認メッセージを表示してから、最低限の制限を適用してすべてのコントロールを有効にする(P)
外部コンテンツ	☒ 確認メッセージを表示せずに、すべてのコントロールを制限なしに有効にする (推奨しません。危険なコントロールが実行される可能性があります)(E)
ファイル制限機能の設定	
プライバシー オプション	☐ セーフ モード (コンピューターに対するコントロールのアクセスを制限します)(S)
フォームベースのサインイン	

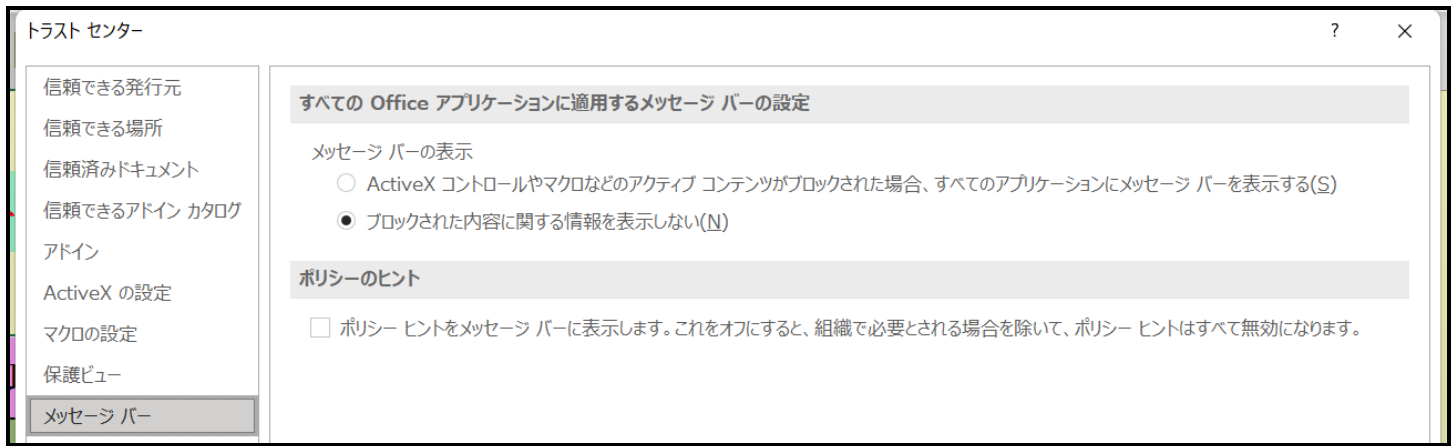
マクロの設定

トラスト センター	
信頼できる発行元	
信頼できる場所	
信頼済みドキュメント	
信頼できるアドイン カタログ	
アドイン	
ActiveX の設定	
マクロの設定	マクロの設定
保護ビュー	☐ 警告を表示せずにすべてのマクロを無効にする(L)
メッセージ バー	☐ 警告を表示してすべてのマクロを無効にする(D)
外部コンテンツ	☐ デジタル署名されたマクロを除き、すべてのマクロを無効にする(G)
ファイル制限機能の設定	☒ すべてのマクロを有効にする (推奨しません。危険なコードが実行される可能性があります)(E)
プライバシー オプション	
フォームベースのサインイン	開発者向けのマクロ設定
	☒ VBA プロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを信頼する(V)

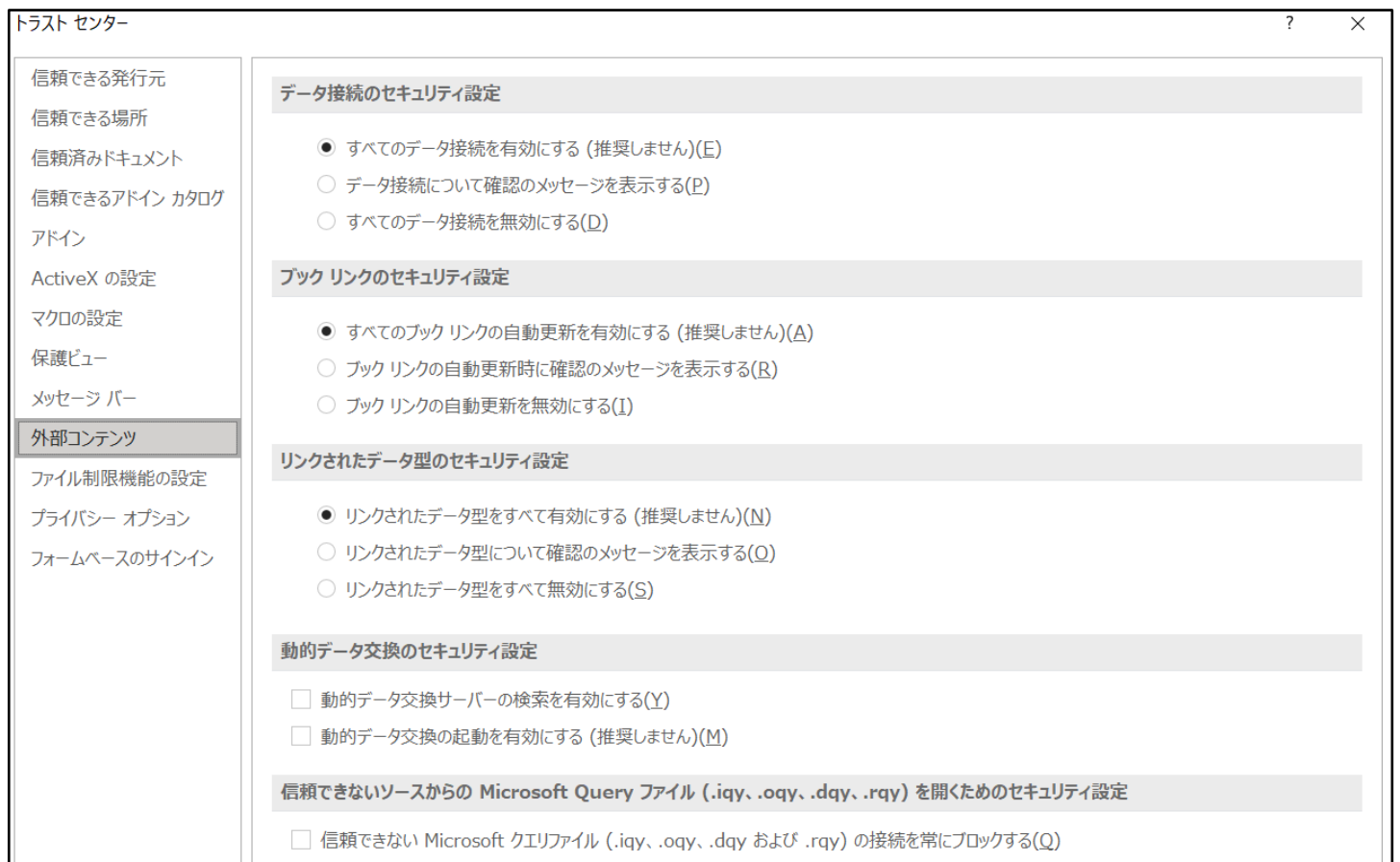
保護ビュー

トラスト センター	
信頼できる発行元	
信頼できる場所	
信頼済みドキュメント	
信頼できるアドイン カタログ	
アドイン	
ActiveX の設定	
マクロの設定	
保護ビュー	保護ビュー
メッセージ バー	保護ビューでは、セキュリティに関するメッセージを表示せずに、危険性のあるファイルを制限モードで開きます。これは、コンピューターへの悪影響を最小限に抑えるのに役立ちます。保護ビューを無効にすると、コンピューターがセキュリティの脅威にさらされる可能性があります。
外部コンテンツ	☐ インターネットから取得したファイルに対して、保護ビューを有効にする(I)
ファイル制限機能の設定	☐ 安全でない可能性のある場所のファイルに対して、保護ビューを有効にする(L) ^①
プライバシー オプション	☐ Outlook の添付ファイルに対して、保護ビューを有効にする(Q) ^①
フォームベースのサインイン	信頼できないソースからのテキストベースのファイル (.csv、.dif、.syk) を開くためのセキュリティ設定
	☐ 信頼されたビューで常に信頼関係のないテキストベースのファイル (.csv、dif、syk) を開く(I)
	信頼できないソースからのデータベース ファイル (.dbf) を開くためのセキュリティ設定
	☐ 信頼されていないデータベースファイル (.dbf) を常に保護ビューで開く(D)

メッセージバー



外部コンテンツ



③ Excel2016 でおこなう場合

まず、Excel2016 起動し、**ファイル**→**その他**→**オプション**→**Excel のオプション**→**リボンのユーザー設定**

→ **メインタブ**と選択して行き**メインタブ**の「開発」にチェックを入れ**開発タブを表示**させてください。

そしたらタブ**開発**→**マクロのセキュリティ**と選択して「トラストセンター」を表示させます。そして、「トラ

ストセンター」における**信頼できる場所**、**ActiveX の設定**、**マクロの設定**、**保護ビュー**、**メッセージバー**、

外部コンテンツで次のように設定します。

信頼できる場所

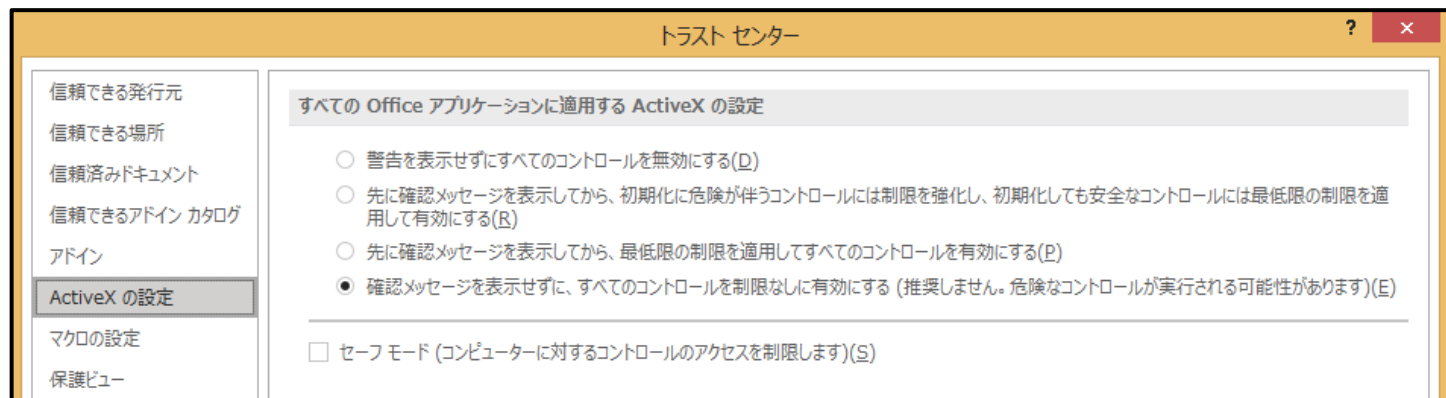
新しい場所の追加 (A) をクリック→参照をクリック→ボリューム (D:)を選択→OKをクリック→

パス(P):部分を D:¥ とする→この場所のサブフォルダーも信頼する (S) にチェック入れて OKをクリック

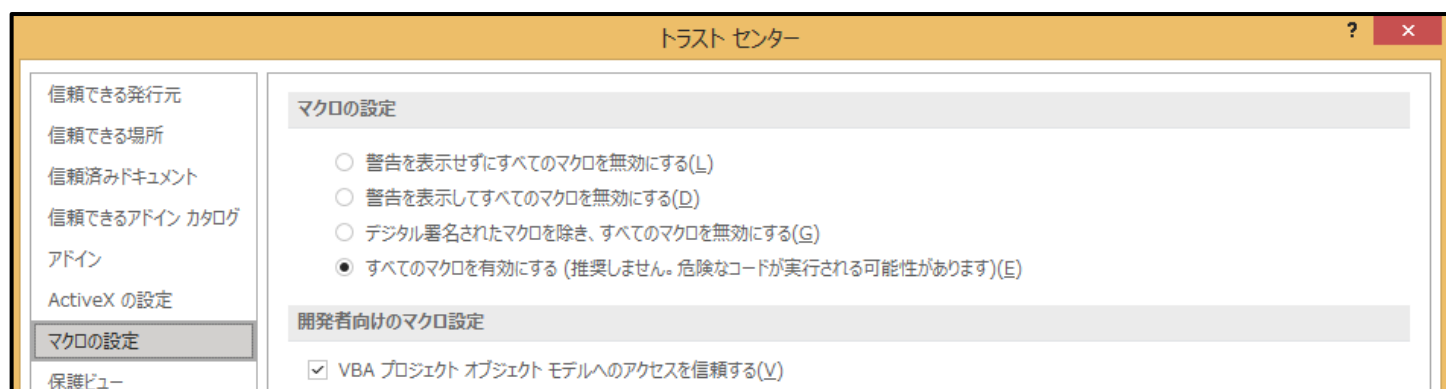
*このように設定することによって D ドラブおよび D ドライブ内の全てのフォルダーでホームページからダウンロードしたマクロつきエクセルファイルやメールの添付ファイルとして送信されたマクロつきエクセルファイルのマクロを実行することができるようになります。

また、更に参照をクリック→ダウンロード)を選択とするとダウンロードフォルダーでもホームページからダウンロードしたマクロつきエクセルファイルのマクロを実行することができるようになります。

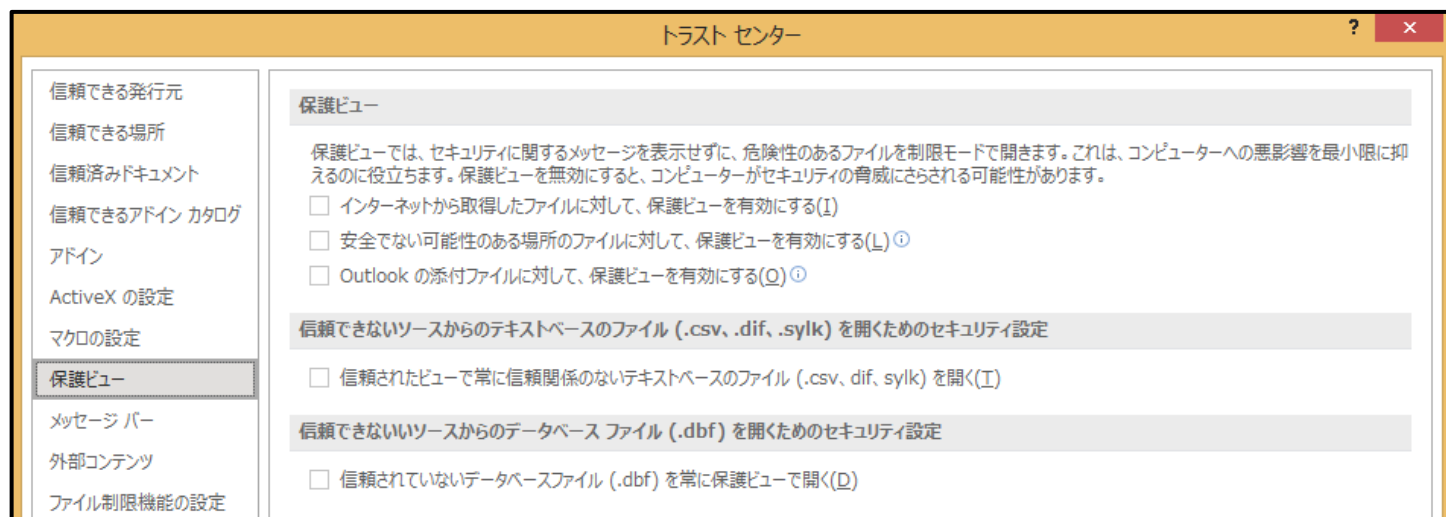
ActiveX の設定



マクロの設定



保護ビュー



メッセージバー

トラスト センター	
信頼できる発行元 信頼できる場所 信頼済みドキュメント 信頼できるアドイン カタログ アドイン ActiveX の設定 マクロの設定 保護ビュー メッセージ バー 外部コンテンツ	すべての Office アプリケーションに適用するメッセージ バーの設定 メッセージ バーの表示 ☐ ActiveX コントロールやマクロなどのアクティブ コンテンツがブロックされた場合、すべてのアプリケーションにメッセージ バーを表示する(S) ☒ ブロックされた内容に関する情報を表示しない(N) ポリシーのヒント ☐ ポリシー ヒントをメッセージ バーに表示します。これをオフにすると、組織で必要とされる場合を除いて、ポリシー ヒントはすべて無効になります。

外部コンテンツ

トラスト センター	
信頼できる発行元 信頼できる場所 信頼済みドキュメント 信頼できるアドイン カタログ アドイン ActiveX の設定 マクロの設定 保護ビュー メッセージ バー 外部コンテンツ ファイル制限機能の設定 プライバシー オプション フォームベースのサインイン	データ接続のセキュリティ設定 ☒ すべてのデータ接続を有効にする (推奨しません)(E) ☐ データ接続について確認のメッセージを表示する(P) ☐ すべてのデータ接続を無効にする(D) ブック リnkのセキュリティ設定 ☒ すべてのブック リnkの自動更新を有効にする (推奨しません)(A) ☐ ブック リnkの自動更新時に確認のメッセージを表示する(R) ☐ ブック リnkの自動更新を無効にする(I) リンクされたデータ型のセキュリティ設定 ☒ リnkされたデータ型をすべて有効にする (推奨しません)(N) ☐ リnkされたデータ型について確認のメッセージを表示する(Q) ☐ リnkされたデータ型をすべて無効にする(S) 動的データ交換のセキュリティ設定 ☒ 動的データ交換サーバーの検索を有効にする(Y) ☒ 動的データ交換の起動を有効にする (推奨しません)(M) 信頼できないソースからの Microsoft Query ファイル (.iqy、.oqy、.dqy、.rqy) を開くためのセキュリティ設定 ☐ 信頼できない Microsoft クエリファイル (.iqy、.oqy、.dqy および .rqy) の接続を常にブロックする(Q)

2. 2019 試用版セットファイル登録書き換え実行手順:

登録・書き換えをおこなう前に、フォルダー「登録・ファイル名書き換え用」内のファイル「shiyoubanncvdatabasehyperadvanceVer1kannjikanafilehennkann2019.xlsm」

を右クリックして「プロパティ」を選択して **全般** をクリックし、下側の

セキュリティ: このファイルは他のコンピューターから取得したものです。このコンピューターを保護するため、このファイルへのアクセスはブロックされる可能性があります。 ☐ 許可する(K)

の部分で

セキュリティ: このファイルは他のコンピューターから取得したものです。このコンピューターを保護するため、このファイルへのアクセスはブロックされる可能性があります。 ☒ 許可する(K)

とチェックを入れて **OK** をクリックして

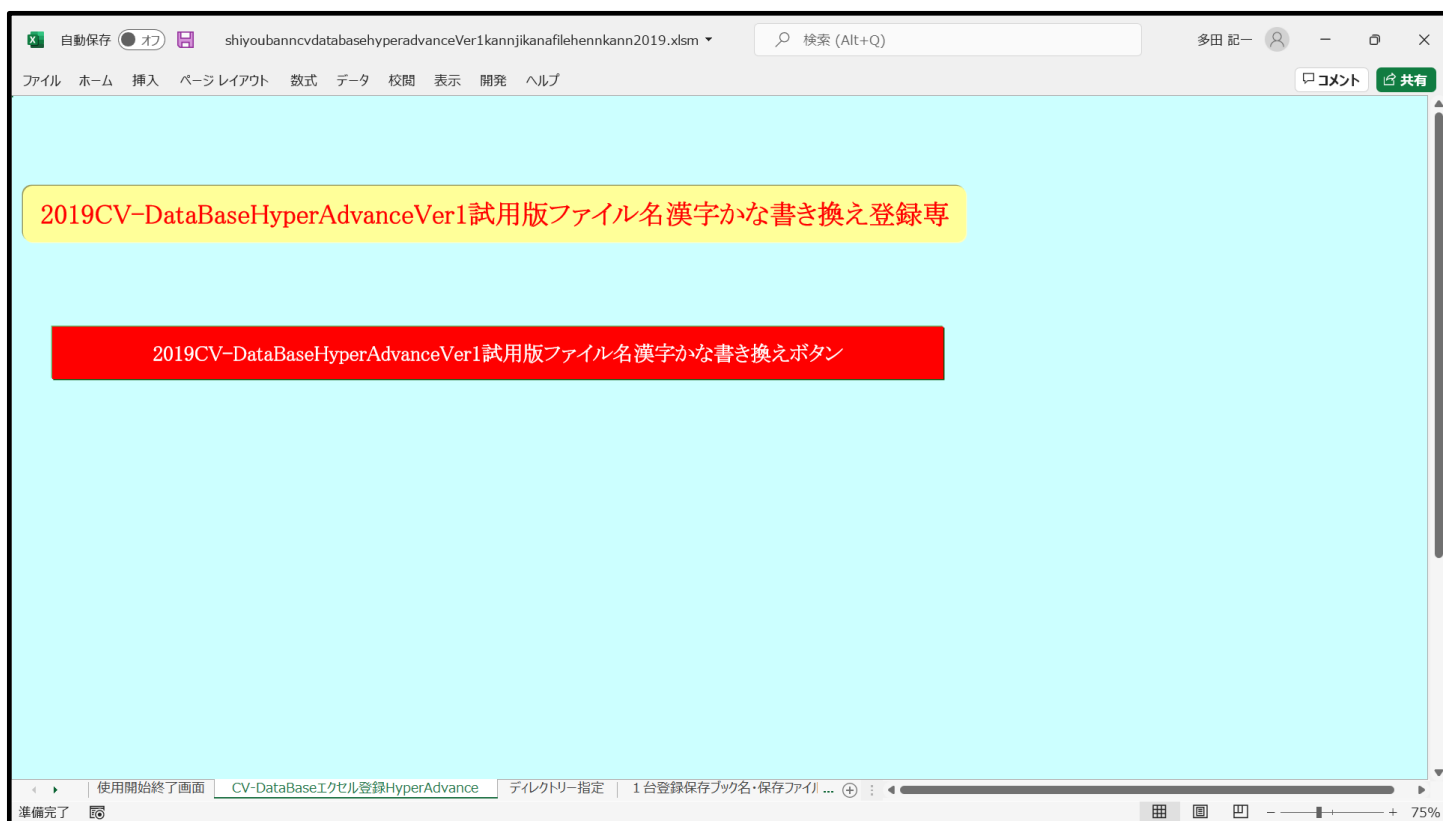
ファイルのマクロのブックスの解除を必ずおこなってください。

上の1の(1)で保存したフォルダー「登録・ファイル名書き換え用」内のファイル

「shiyoubanncvdatabasehyperadvanceVer1kannjikanafilehennkann2019.xlsm」

を開くと次の[図 1 3]の画面になります。

[図 1 3]



上の[図 1 3]の画面のコマンドボタン

2019CV-DataBaseHyperAdvanceVer1試用版ファイル名漢字かな書き換えボタン

をクリックするとマクロによって自動的にファイル名書き換え次々が実行されていきます。

ただ、ファイル名書き換えがおこなわれていく最後の過程で、ファイル

ファイル「2019cvdatabasemonstervollver1siyoubann.xlsm」が呼び出され、途中、選択ボタン

更新する(U)

をクリックして立ち上げ操作を実施していくと、次の[図 4 8]の画面が表示されます。

このファイルの立ち上がり画面である次の[図 1 4]の画面が表示されます。

使用開始

そうしたら[図 1 4]の画面のコマンドボタンをクリックしてください。

[図 1 4]



すると引き続き下の[図 1 5]の画面」がしばらく表示された後、その下の[図 1 6]の画面が表示されます。

[図 1 5]



【図 1 6】



シート名設定

上の【図 1 6】の画面のコマンドボタン **シート名設定** をクリックするとマクロ操作は次のステップへ移り、ファイル「2019cvdatabasemonstervol2ver1siyoubann.xlsm」が呼び出されます。

そして、途中、選択ボタン **更新する(U)** をクリックして立ち上げ操作を実施していくと、このファイルの立ち上がり画面である次の【図 1 7】の画面が表示されます。そうしたら再度【図 1 7】の画面のコマンドボタン

使用開始

をクリックしてください。

〔図 1 7〕



すると引き続き下の〔図 1 8〕の画面」がしばらく表示された後、その下の〔図 1 9〕の画面が表示されます。

〔図 1 8〕



[図 1 9]



シート名設定

上の[図 1 9]の画面のコマンドボタン **シート名設定** をクリックするとマクロ操作は次のステップへ移り、ファイル「2019cvdatabasemonstervol3ver1siyoubann.xlsm」が呼び出されます。

そして、途中、選択ボタン **更新する(U)** をクリックして立ち上げ操作を実施していくと、このファイルの立ち上がり画面である次の[図 2 0]の画面が表示されます。そうしたら再度[図 2 0]の

使用開始

画面のコマンドボタン **使用開始** をクリックしてください。

〔図 2 0〕



すると引き続き下の〔図 2 1〕の画面」 がしばらく表示された後、その下の〔図 2 2〕の画面が表示されます。

〔図 2 1〕



[図 2 2]



上の[図 2 2]の画面のコマンドボタン **シート名設定** をクリックするとマクロ操作は更に次のステップへ移り、ファイル「2019cvdatabasemonstervol4ver1siyoubann.xlsm」

が呼び出されます。そして、途中、選択ボタン **更新する(U)** をクリックして立ち上げ操作を実施していくと、このファイルの立ち上がり画面である下の[図 2 3]の画面が表示されます。そうしたら再び[図 2 3]の画面

のコマンドボタン **使用開始** をクリックしてください。

〔図 2 3〕



すると引き続き下の〔図 2 4〕の画面」 がしばらく表示された後、その下の〔図 2 5〕の画面が表示されます。

〔図 2 4〕



[図 2 5]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

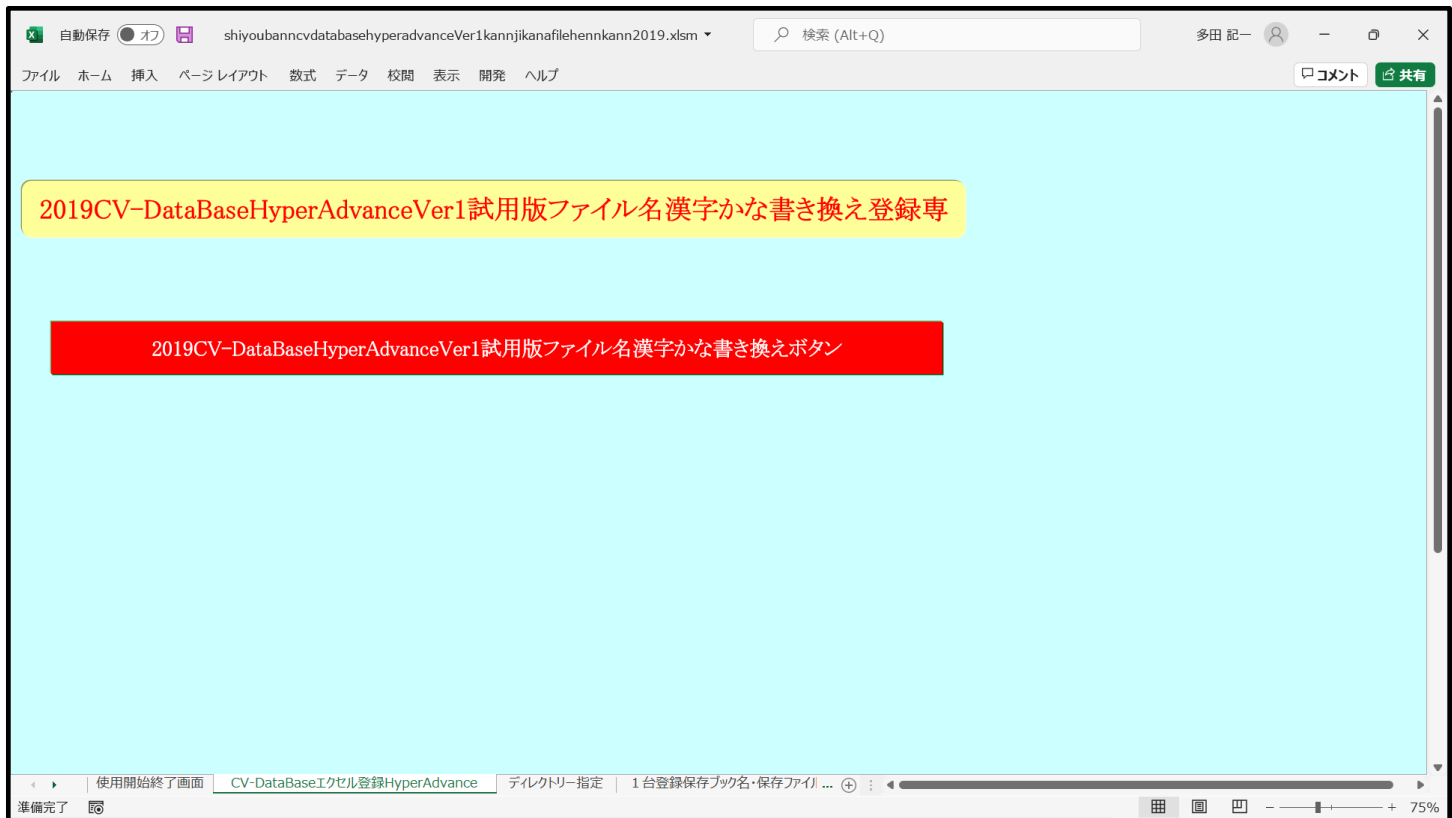
シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BA,BB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
セルの広範囲選択呼出	CV-DataBaseMonster制御	キャンセル	システム終了

上の[図 2 5]の画面のコマンドボタン **シート名設定** をクリックするとマクロ操作は更に次のステップへ移り、さまざまな処理をおこなって、最後に下の[図 2 6]の画面が表示されたら書き換え処理は完了となります。書き換え処理が完了したらこの書き換え処理のためのファイル「shiyoubanncvdatabasehyperadvanceVer1kannjikanafilehennkann2019.xlsm」を閉じてください。閉じる際、ファイルは保存してもしなくても結構です。書き換えの所要時間は、パソコンのスペックにもよりますが、概ね 10 分~30 分前後とお考えください。

[図 2 6]



この書き換え登録処理前のファイル名は下の[図 2 7]のようにアルファベットの小文字と数字混じりになっていますが、この登録書き換え処理後のファイル名は、各 NO に対応して、下の[図 2 8]のように漢字、かな、数字混じりとなります。

NO	システム名
1	2019cvdatabaseadvance40ver1siyoubann.xlsm
2	2019cvdatabaseadvance100ver1siyoubann.xlsm
3	2019cvdatabaseadvance200ver1siyoubann.xlsm
4	2019cvdatabaseadvance400ver1siyoubann.xlsm
5	2019cvdatabaseadvance600ver1siyoubann.xlsm
6	2019cvdatabaseadvance800ver1siyoubann.xlsm
7	2019cvdatabaseadvance1000ver1siyoubann.xlsm
8	2019cvdatabaseadvance2000ver1siyoubann.xlsm
9	2019cvdatabaseadvance4000ver1siyoubann.xlsm
10	2019cvdatabaseadvance8000ver1siyoubann.xlsm
11	2019cvdatabaseadvance16000ver1siyoubann.xlsm
12	2019cvdatabaseadvancekeisou40ver1siyoubann.xlsm
13	2019cvdatabaseadvancekeisou100ver1siyoubann.xlsm
14	2019cvdatabaseadvancekeisou200ver1siyoubann.xlsm
15	2019cvdatabaseadvancekeisou400ver1siyoubann.xlsm
16	2019cvdatabaseadvancecyobidasiinnsatuver1siyoubann.xlsm
17	2019cvdatabaseadvancesuupayobidasiinnsatuver1siyoubann.xlsm
18	2019tyousasyosakuseisystemtouver1siyoubann.xlsm
19	2019heisei28nenndokojinnbetukaikeihoukokugakunennbunnver1siyoubann.xlsm
20	2019cvdatabaseadvance8000onnseitukiver1siyoubann.xlsm
21	2019cvdatabaseadvance16000onnseitukiver1siyoubann.xlsm
22	2019cvdatabasemonstervol1ver1siyoubann.xlsm
23	2019cvdatabasemonstervol2ver1siyoubann.xlsm
24	2019cvdatabasemonstervol3ver1siyoubann.xlsm
25	2019cvdatabasemonstervol4ver1siyoubann.xlsm
26	2019cvdatabasemonstersiyoubanncontrolfile.xlsm

NO	システム名
1	2019CV-DataBaseAdvance40Ver1試用版.xlsm
2	2019CV-DataBaseAdvance100Ver1試用版.xlsm
3	2019CV-DataBaseAdvance200Ver1試用版.xlsm
4	2019CV-DataBaseAdvance400Ver1試用版.xlsm
5	2019CV-DataBaseAdvance600Ver1試用版.xlsm
6	2019CV-DataBaseAdvance800Ver1試用版.xlsm
7	2019CV-DataBaseAdvance1000Ver1試用版.xlsm
8	2019CV-DataBaseAdvance2000Ver1試用版.xlsm
9	2019CV-DataBaseAdvance4000Ver1試用版.xlsm
10	2019CV-DataBaseAdvance8000Ver1試用版.xlsm
11	2019CV-DataBaseAdvance16000Ver1試用版.xlsm
12	2019CV-DataBaseAdvance軽装版40Ver1試用版.xlsm
13	2019CV-DataBaseAdvance軽装版100Ver1試用版.xlsm
14	2019CV-DataBaseAdvance軽装版200Ver1試用版.xlsm
15	2019CV-DataBaseAdvance軽装版400Ver1試用版.xlsm
16	2019CV-DataBaseAdvance呼び出し印刷Ver1試用版.xlsm
17	2019CV-DataBaseAdvanceスーパー呼び出し印刷Ver1試用版.xlsm
18	2019調査書等各種証明書作成システムVer1試用版(CV-DataBase8000Ver1サンプル).xlsm
19	2019平成28年度第3学年個人別会計報告学年分試用版(CV-DataBase100Ver1サンプル).xlsm
20	2019CV-DataBaseAdvance8000Ver1(音声付き)試用版.xlsm
21	2019CV-DataBaseAdvance16000Ver1(音声付き)試用版.xlsm
22	2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1試用版.xlsm
23	2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1試用版.xlsm
24	2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1試用版.xlsm
25	2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1試用版.xlsm
26	2019CV-DataBaseMonster試用制御ファイル.xlsm

なお、登録書き換え処理が済んだ後は、下の

5. 登録書き換え後の「2019CV-DataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルのリンクの編集

の部分をよく見ながら、更にフォルダーB（登録・ファイル名書き換え用）でおこなってください。

そして、必ず1の（1）で述べたフォルダーA内の全てのファイルとフォルダーB（登録・ファイル名書き換え用）内全てのファイルをDVDまたはBRD等にコピーして保存しておきましょう。パソコンにトラブルやファイルの編集作業でトラブルが発生した際、対処できるようにしておくためです。

また、登録書き換え処理が済み各ファイルを開く場合、登録書き換えを実行したフォルダーB内では開かないで、つねに更に別のフォルダーをDドライブに作成し、そこにコピーしてそこで開いてファイルの処理編集をおこなうようにしてください。お元となるフォルダーB（登録・ファイル名書き換え用）のファイルを守るためです。

また、書き換えが済み各ファイルを開く場合、ファイルの書き換えを実行したフォルダーBでは行わず、別のフォルダーをDドライブに作成し、そこに編集したいファイルをコピーしてそこで開くと便利です。試用版は同じファイルは10回までしか開くことができません。同じ種類のファイルを何回も開いてみたい場合、ファイルの書き換えを実行したフォルダーから他のフォルダーへコピーしてそこで開けば何度でも開けるからです。

3. 各エクセルファイルのユーザーフォームの表示設定について

excel database vba|本格的エクセルデータベース（excel database）である「CV-DataBaseAdvance 製品」の各エクセルファイルや試用版のファイルを開いたら、先ず、必ず次のように設定してください。

どのファイルを使用する場合についても同じですので、ファイル「2019CV-DataBaseAdvance16000Ver1 試用版.xlsm」を用いて説明させていただきます

（1）Windows11 または Windows10 の場合

ファイルを立ち上げていくと次の[図29]の画面「シート選択・一覧表付ファイル作成入力設定処理」のタブ「シート選択、処理呼出1」が表示されます。但し、ファイルの種類によってはコマンドボタンの種類や大きさの表示が異なります。

[図29]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択、処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BA, BB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択

シート名設定	行列入力項目A	入力からソートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	ソートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー・行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

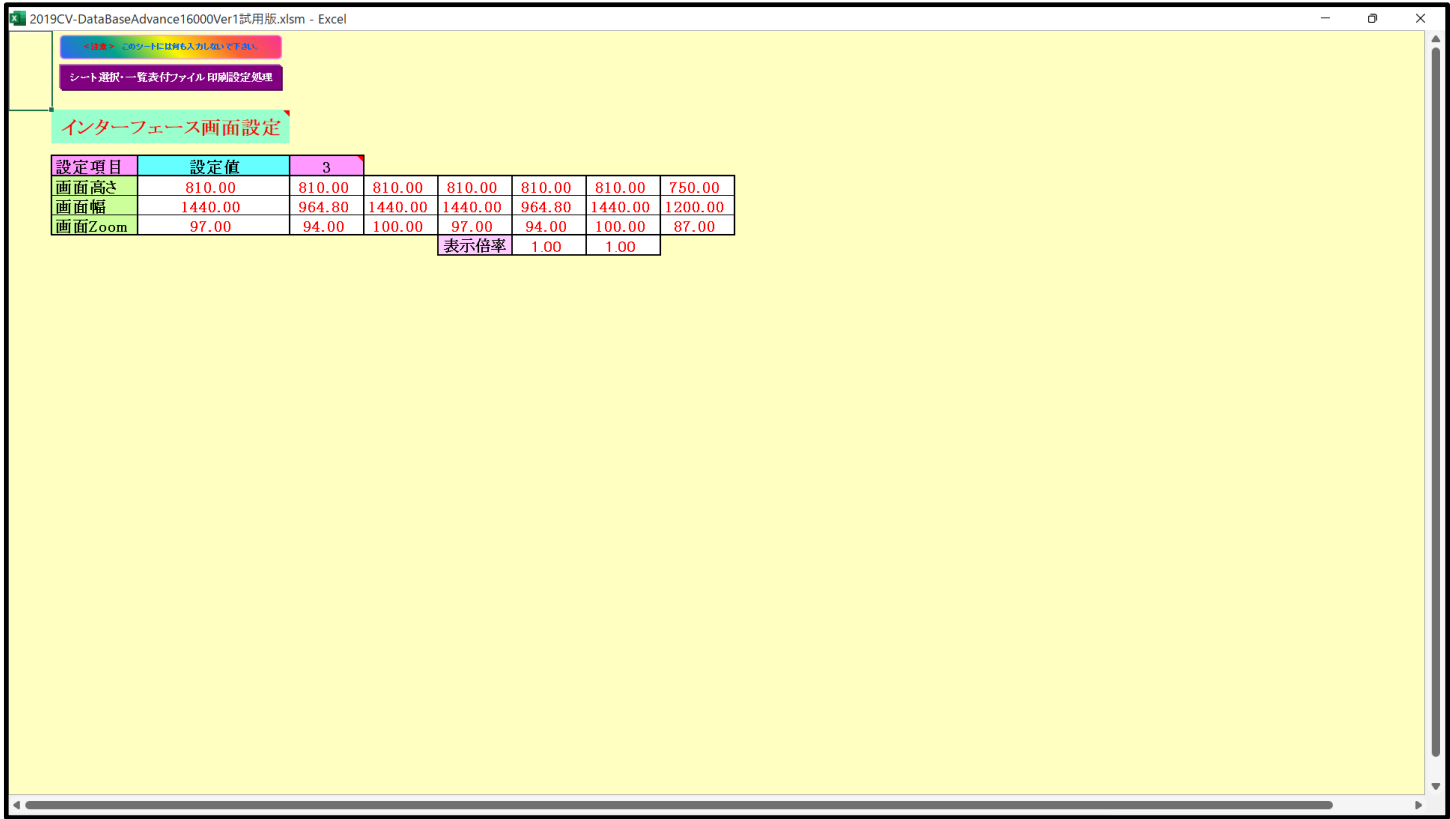
標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
セルの広範囲選択呼出	キャンセル	システム終了	

上の [図 2 9]の画面において

インターフェース画面設定

をクリックするとシート「インターフェース画面設定」が表示され次の[図 3 0]画面のようになります。

[図 3 0]



上の[図 3 0]画面のセル

3

にポインターを近づけると、次の[図 3 1]画面のようになります。

【図 3 1】

2019CV-DataBaseAdvance16000Ver1試用版.xlsm - Excel

このファイルには何も入力していません
シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

インターフェース画面設定

設定項目	設定値	3
画面高さ	810.00	810.00
画面幅	1440.00	964.80
画面Zoom	97.00	94.00

①OSがWindows11またはWindows10のパソコンを使用している場合:
ア) デスプレイサイズが5. 6インチの場合:
まず、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」を138に設定してください。そして、このセルには数値1を入力します。
イ) デスプレイサイズが5. 6インチ以外の場合:
多少手間がかかりますが、まず、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値1を入力します。
それで適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値4を入力し、併せてこの表の左から5番目の数値群の最も下側の「表示倍率」をいろいろ変更してみます。
更にそれでも適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値6を入力し、表の最も右側の数値群の画面の高さ、画面の幅、画面Zoomのそれぞれの数値および下側の表示倍率をいろいろ変更してみます。

①OSがWindows8.1のパソコンを使用している場合:
ア) デスプレイサイズが5. 6インチの場合:
まず、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」の「カスタムサイズ変更オプション」で倍率を100%に設定しておきます(通常は100%になっています)。そして、このセルには数値2を入力します。
イ) デスプレイサイズが5. 6インチ以外の場合:
多少手間がかかりますが、まず、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値2を入力してください。
それで適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値4を入力し、併せてこの表の左から5番目の数値群の最も下側の「表示倍率」をいろいろ変更してみます。
更にそれでも適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値6を入力し、表の最も右側の数値群の画面の高さ、画面の幅、画面Zoomのそれぞれの数値をいろいろ変更してみます。

このファイルをOSが各Windows11、Windows10、Windows8.1のパソコンで編集することが考えられます。その場合は、いったん3を入力してこのファイル保存し、保存したファイルをUSB等の記憶媒体を介して他のパソコンに移動させ、移動させた先のパソコンのOSが各Windows11、Windows10、Windows8.1に対して、上の①、②の各ア)、イ)の区分に応じた設定で適切に表示できるようにするとやりやすくなります。適切に表示できるようになったらこのファイルを一旦保存してください。このファイルを同一のPCで編集する場合は変更は不要です。

となり、コメント

①OSがWindows11またはWindows10のパソコンを使用している場合:
ア) デスプレイサイズが5. 6インチの場合:
まず、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」を138に設定してください。そして、このセルには数値1を入力します。
イ) デスプレイサイズが5. 6インチ以外の場合:
多少手間がかかりますが、まず、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値1を入力します。
それで適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値4を入力し、併せてこの表の左から5番目の数値群の最も下側の「表示倍率」をいろいろ変更してみます。
更にそれでも適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値6を入力し、表の最も右側の数値群の画面の高さ、画面の幅、画面Zoomのそれぞれの数値および下側の表示倍率をいろいろ変更してみます。

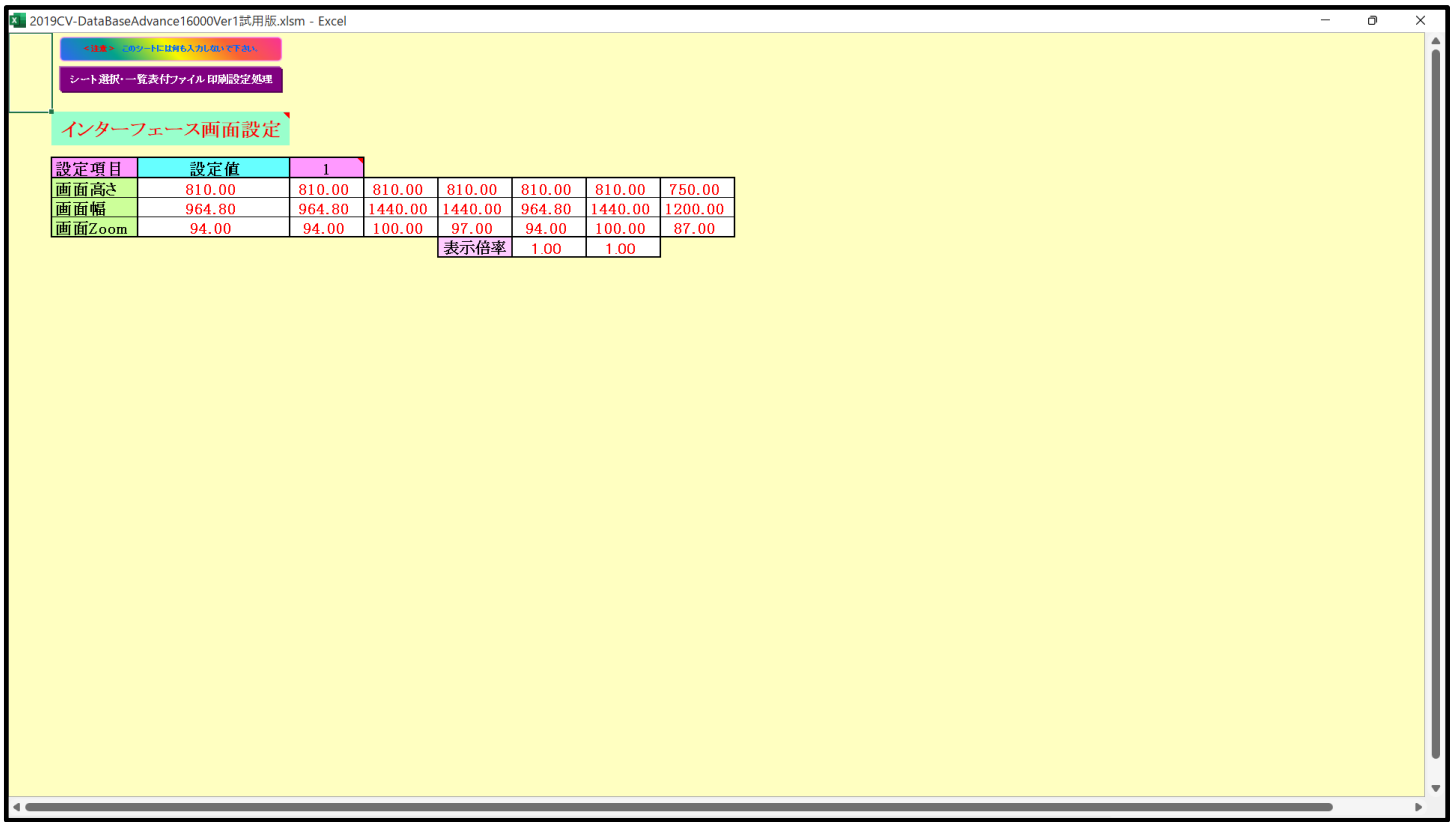
①OSがWindows8.1のパソコンを使用している場合:
ア) デスプレイサイズが5. 6インチの場合:
まず、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」の「カスタムサイズ変更オプション」で倍率を100%に設定しておきます(通常は100%になっています)。そして、このセルには数値2を入力します。
イ) デスプレイサイズが5. 6インチ以外の場合:
多少手間がかかりますが、まず、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値2を入力してください。
それで適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値4を入力し、併せてこの表の左から5番目の数値群の最も下側の「表示倍率」をいろいろ変更してみます。
更にそれでも適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値6を入力し、表の最も右側の数値群の画面の高さ、画面の幅、画面Zoomのそれぞれの数値をいろいろ変更してみます。

このファイルをOSが各Windows11、Windows10、Windows8.1のパソコンで編集することが考えられます。その場合は、いったん3を入力してこのファイル保存し、保存したファイルをUSB等の記憶媒体を介して他のパソコンに移動させ、移動させた先のパソコンのOSが各Windows11、Windows10、Windows8.1に対して、上の①、②の各ア)、イ)の区分に応じた設定で適切に表示できるようにするとやりやすくなります。適切に表示できるようになったらこのファイルを一旦保存してください。このファイルを同一のPCで編集する場合は変更は不要です。

が表示されます。

上の[図 3 1]画面のセル **3** の値を **1** に変更し、次の[図 3 2]の画面ようにします。

[図 3 2]



上の[図 3 2]の画面の状況でコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックすると次の[図 3 3]の画面ようになり、正常なユーザーフォームの表示となります。

【図 3 3】

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA、AB、BA、BB選択 | 入力シートCA、CB、DA、DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択 | 追加 |

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示 全画面表示 シート見出し表示 シート見出し非表示

セルの広範囲選択呼出 キャンセル システム終了

更に上の【図 3 2】の画面セル **1** の値を **2** に変更し、次の【図 3 4】の画面のようになります。

【図 3 4】

2019CV-DataBaseAdvance16000Ver1試用版.xlsm - Excel

1. 設定値をシートに入力してください
シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

インターフェース画面設定

設定項目	設定値	2					
画面高さ	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	750.00
画面幅	1440.00	964.80	1440.00	1440.00	964.80	1440.00	1200.00
画面Zoom	100.00	94.00	100.00	97.00	94.00	100.00	87.00
				表示倍率	1.00	1.00	

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

上の次の[図 3 4]の画面の状況でコマンドボタンをクリックする、次の[図 3 5]の画面のようになります。

[図 3 5]

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BA, BG選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択 | 3

シート名設定	行列入力項目A	入力からソートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	ソートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示

全画面表示

シート見出し表示

シート見出し非表示

セルの広範囲選択呼出

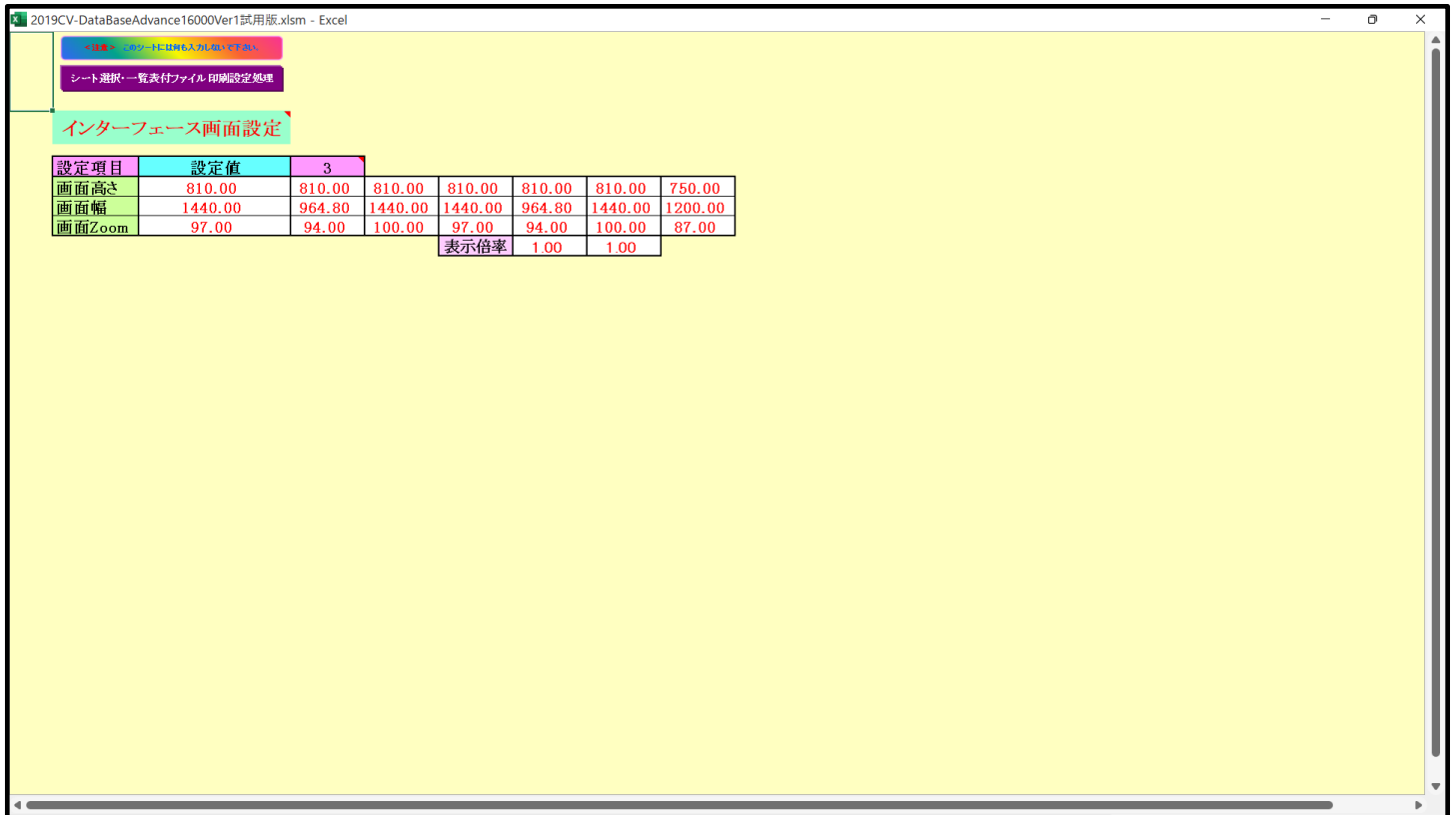
キャンセル

システム終了

上の[図 3 5]の画面では正常なユーザーフォームの表示よりもかなり大きめの表示となってしまいます。

そして、次に上の[図 3 4]の画面のセル **2** の値を **3** に変更し、次の[図 3 6]の画面のようになっています。

【図 3 6】



シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

上の【図 3 6】の画面の状況でコマンドボタンをクリックすると、次の【図 3 7】の画面のようになります。

【図 3 7】



上の【図 3 7】の画面は正常なユーザーフォームの表示よりもやや大きめの表示となりますが、正常なユーザーフォ

ームの表示にかなり近い表示となります。デフォルトではこのような設定になっています。

(2) Windopws8.1 の場合
ファイルを立ち上げていくと、次の[図 3 8]の画面「シート選択・一覧表付ファイル作成入力設定処理」のタブ「シート選択、処理呼出 1」が表示されます。

[図 3 8]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択、処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA、AB、BABB選択 | 入力シートCA、CB、DA、DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ

シート名設定	行列入力項目A	入力からソートデーターへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	ソートデーターから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データー削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示

セルの広範囲選択呼出

全画面表示

キャンセル

シート見出し表示

システム終了

シート見出し非表示

上の[図 3 8]画面において、コマンドボタン **インターフェース画面設定** をクリックすると、シート「インターフェース画面設定」が表示され次の[図 3 9]画面のようになります。

【図 3 9】

2019CV-DataBaseAdvance16000Ver1試用版.xlsm - Excel

このファイルは、このワークシートには何も入力していません。

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

インターフェース画面設定

設定項目	設定値	3
画面高さ	810.00	810.00
画面幅	1440.00	964.80
画面Zoom	97.00	94.00

810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	750.00
1440.00	1440.00	964.80	1440.00	1440.00	1200.00
97.00	94.00	100.00	97.00	94.00	87.00
表示倍率	1.00	1.00			

3

上の【図 3 9】画面のセル

【図 4 0】

2019CV-DataBaseAdvance16000Ver1試用版.xlsm - Excel

このファイルは、このワークシートには何も入力していません。

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

インターフェース画面設定

設定項目	設定値	3
画面高さ	810.00	810.00
画面幅	1440.00	964.80
画面Zoom	97.00	94.00

①OSがWindows11またはWindows10のパソコンを使用している場合:

ア) デスプレイサイズが5. 6 インチの場合:

まず、「ディスプレイ設定」の「すべての項目サイズを変更する」の「カスタムサイズ変更オプション」で倍率を100%に設定しておきます(通常は100%になっています)。そして、このセルには数値1を入力します。

イ) デスプレイサイズが5. 6 インチ以外の場合:

多少手間がかかりますが、まず、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値1を入力します。

それで適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値4を入力し、併せてこの表の左から5番目の数値群の最も下側の「表示倍率」をいろいろ変更してみます。

更にそれでも適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値6を入力し、表の最も右側の数値群の画面の高さ、画面の幅、画面Zoomのそれぞれの数値および下側の表示倍率をいろいろ変更してみます。

①OSがWindows8.1のパソコンを使用している場合:

ア) デスプレイサイズが5. 6 インチの場合:

まず、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」の「カスタムサイズ変更オプション」で倍率を100%に設定しておきます(通常は100%になっています)。そして、このセルには数値2を入力します。

イ) デスプレイサイズが5. 6 インチ以外の場合:

多少手間がかかりますが、まず、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値2を入力してください。

それで適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値4を入力し、併せてこの表の左から5番目の数値群の最も下側の「表示倍率」をいろいろ変更してみます。

更にそれでも適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値6を入力し、表の最も右側の数値群の画面の高さ、画面の幅、画面Zoomのそれぞれの数値をいろいろ変更してみます。

このファイルをOSが各Windows11、Windows10、Windows8.1のパソコンで編集することが考えられます。その場合は、いったん3を入力してこのファイル保存し、保存したファイルをUSB等の記憶媒体を介して他のパソコンに移動させ、移動させた先のパソコンのOSが各Windows11、Windows10、Windows8.1に対して、上の①、②の各ア)、イ)の区分に応じた設定で適切に表示できるようにするとやりやすくなります。適切に表示できるようになったらこのファイルを一旦保存してください。このファイルを同一のPCで編集する場合は変更は不要です。

となりコメント

①OSがWindows11またはWindows10のパソコンを使用している場合:

ア)ディスプレイサイズが5.6インチの場合:

まず、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」を138に設定してください。そして、このセルには数値1を入力します。

イ)ディスプレイサイズが5.6インチ以外の場合:

多少手間がかかりますが、まず、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値1を入力します。

それで適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値4を入力し、併せてこの表の左から5番目の数値群の最も下側の「表示倍率」をいろいろ変更してみます。

更にそれでも適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値6を入力し、表の最も右側の数値群の画面の高さ、画面の幅、画面Zoomのそれぞれの数値および下側の表示倍率をいろいろ変更してみます。

①OSがWindows8.1のパソコンを使用している場合:

ア)ディスプレイサイズが5.6インチの場合:

まず、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」の「カスタムサイズ変更オプション」で倍率を100%に設定しておきます(通常は100%になっています)。そして、このセルには数値2を入力します。

イ)ディスプレイサイズが5.6インチ以外の場合:

多少手間がかかりますが、まず、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値2を入力してください。

それで適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値4を入力し、併せてこの表の左から5番目の数値群の最も下側の「表示倍率」をいろいろ変更してみます。

更にそれでも適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値6を入力し、表の最も右側の数値群の画面の高さ、画面の幅、画面Zoomのそれぞれの数値をいろいろ変更してみます。

このファイルをOSが各Windows11、Windows10、Windows8.1のパソコンで編集することが考えられます。その場合は、いったん3を入力してこのファイル保存し、保存したファイルをUSB等の記憶媒体を介して他のパソコンに移動させ、移動させた先のパソコンのOSが各Windows11、Windows10、Windows8.1に対して、上の①、②の各ア)、イ)の区分に応じた設定で適切に表示できるようにするとやりやすくなります。適切に表示できるようになったらこのファイルを一旦保存してください。このファイルを同一のPCで編集する場合は変更は不要です。

が表示されます。

次に上の[図39]画面のセル

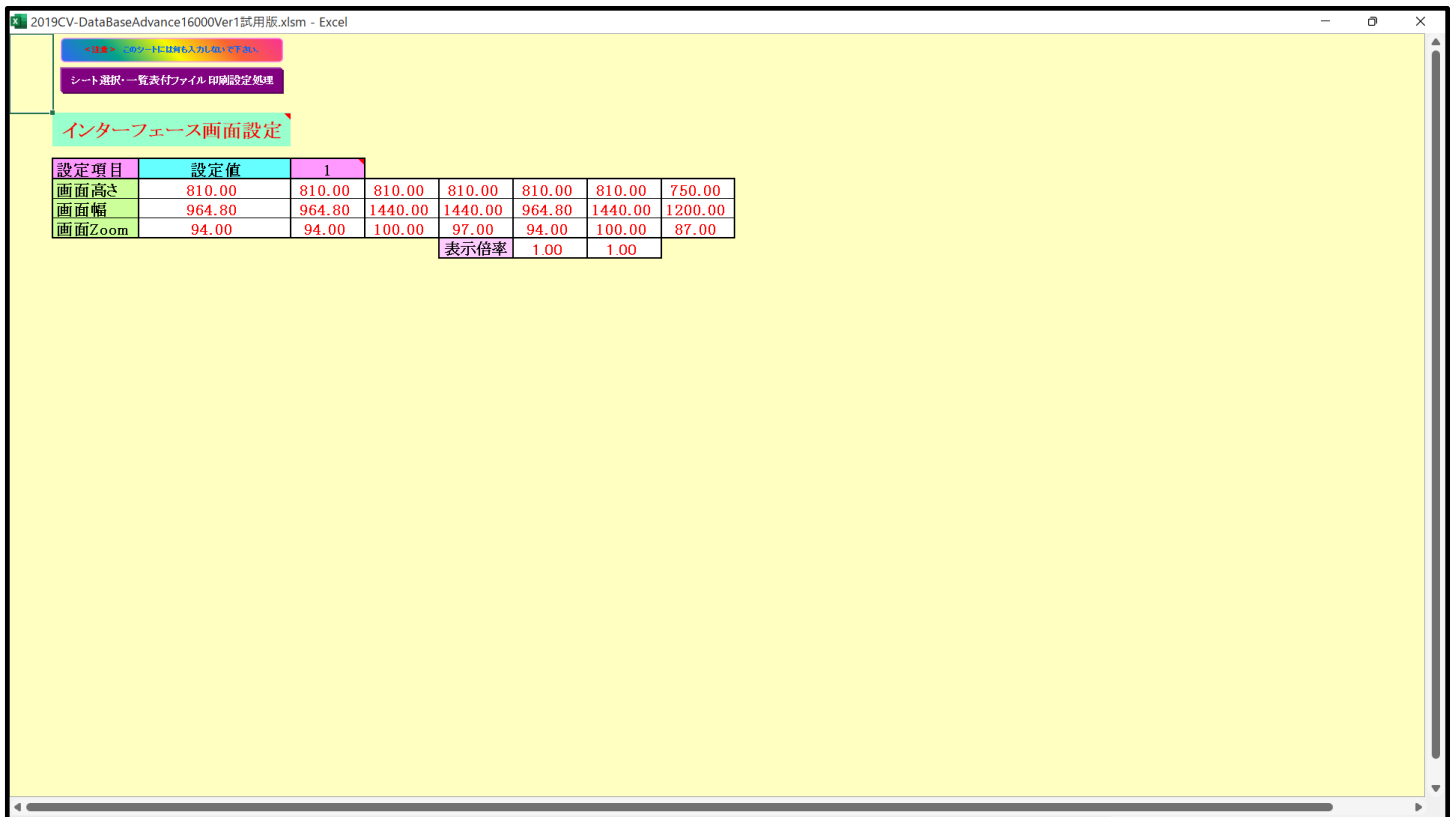
3

 の値を

1

 に変更し、次の[図41]画面ようにしてみます。

[図 4 1]



シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

上の[図 4 1]画面の状況でコマンドボタン「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」をクリックすると、次の[図 4 2]画面のようになってしまいます。

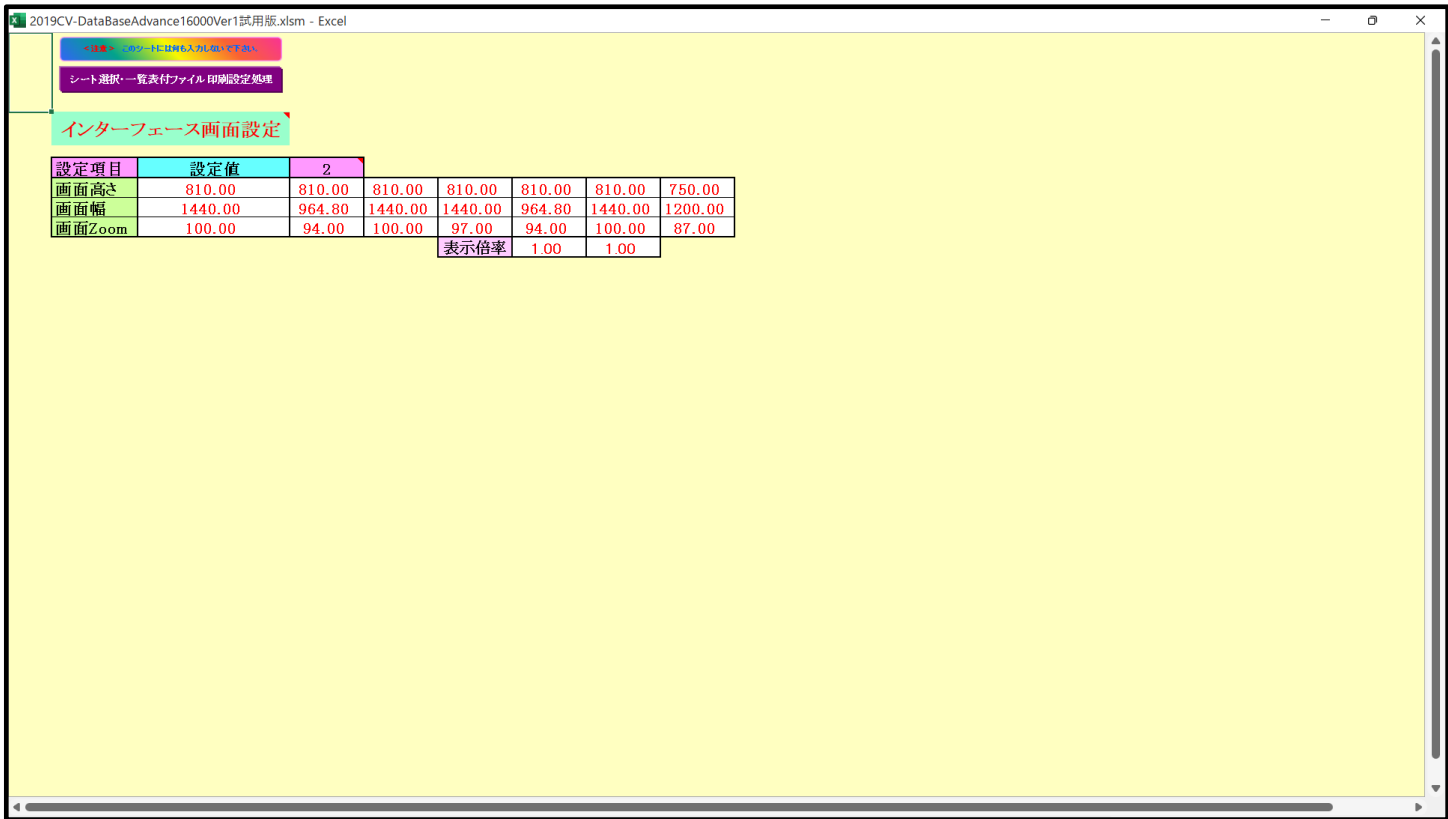
[図 4 2]



上の[図 4 2]画面ではユーザーフォームの横幅がかなり狭くなっており、編集しづらくなってしまいます。

更に、[図 4 1]画面のセル **1** の値を **2** に変更し、次の[図 4 3]画面のようにします。

[図 4 3]



上の[図 4 3]画面の状況で[図 4 3]画面の**シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理**をクリックすると、次の[図 4 4]画面のようになります。

[図 4 4]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BABB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択 |

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示 全画面表示 シート見出し表示 シート見出し非表示

セルの広範囲選択呼出 キャンセル システム終了

上の[図 4 4]画面のユーザーフォームの表示は正常なります。

そして更に、上の[図 4 3]画面のセル 2 の値を 3 に変更し、次の[図 4 5]画面のようにします。

[図 4 5]

2019CV-DataBaseAdvance16000Ver1試用版.xlsm - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

インターフェース画面設定

設定項目	設定値	3					
画面高さ	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	750.00
画面幅	1440.00	964.80	1440.00	1440.00	964.80	1440.00	1200.00
画面Zoom	97.00	94.00	100.00	97.00	94.00	100.00	87.00
				表示倍率	1.00	1.00	

上の[図4 5]の画面の状況で、[図4 5]の画面のコマンドボタンをクリックすると、次の[図4 6]の画面のようになります。

[図4 6]

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示 全画面表示 シート見出し表示 シート見出し非表示

セルの広範囲選択呼出 キャンセル システム終了

上の[図4 6]の画面のユーザーフォームの表示は、正常な表示よりもやや小さいですが、それでもかなり正常な表示に近い表示となります。デフォルトではこのような設定になっています。

4. 2019 試用版セットファイル登録書き換え実行後の

「2019CV-DataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルの開き方

上の2. 2019 試用版セットファイル登録書き換え実行後の5個のファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」

はセットで使用するファイルで同じフォルダーにコピーして使用する必要があります。

とくに

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

の4個のファイルは相互にワークシート関数でリンクされており、4個を同時に開いて編集・印刷等の処理をおこなって本来の威力発揮できるシステムです。そして、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」

は上の相互にワークシート関数でリンクされた4個のファイルの開閉、選択等をおこなうためのファイルです。

上の相互にワークシート関数でリンクされた4個のファイルは、個々に1つずつ開いて編集する

こともできますが、必ずファイル「2019CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」を立ち上げ、このファイルを介して開いて編集等の処理をおこなってください。

それでは、ファイルの開き方について説明してまいります。
まず、ファイル「2019CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsx」を立ち上げると、次の[図 4 7]の画面が表示されます。

[図 4 7]



(1) 4 個のファイルを個々に開く方法

上の[図 4 7]の画面の 2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1試用版.xlsx を開く で囲まれたコマンドボタンをクリックするとクリックしたコマンドボタンに表示されたファイルが開きます。

まず、コマンドボタン

2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1試用版.xlsx を開く

をクリックするとファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsx」

が呼び出され、途中、選択ボタン

更新する(U)

をクリックして立ち上げ操作を実施していくと、次の

[図 4 8]の画面が表示されます。

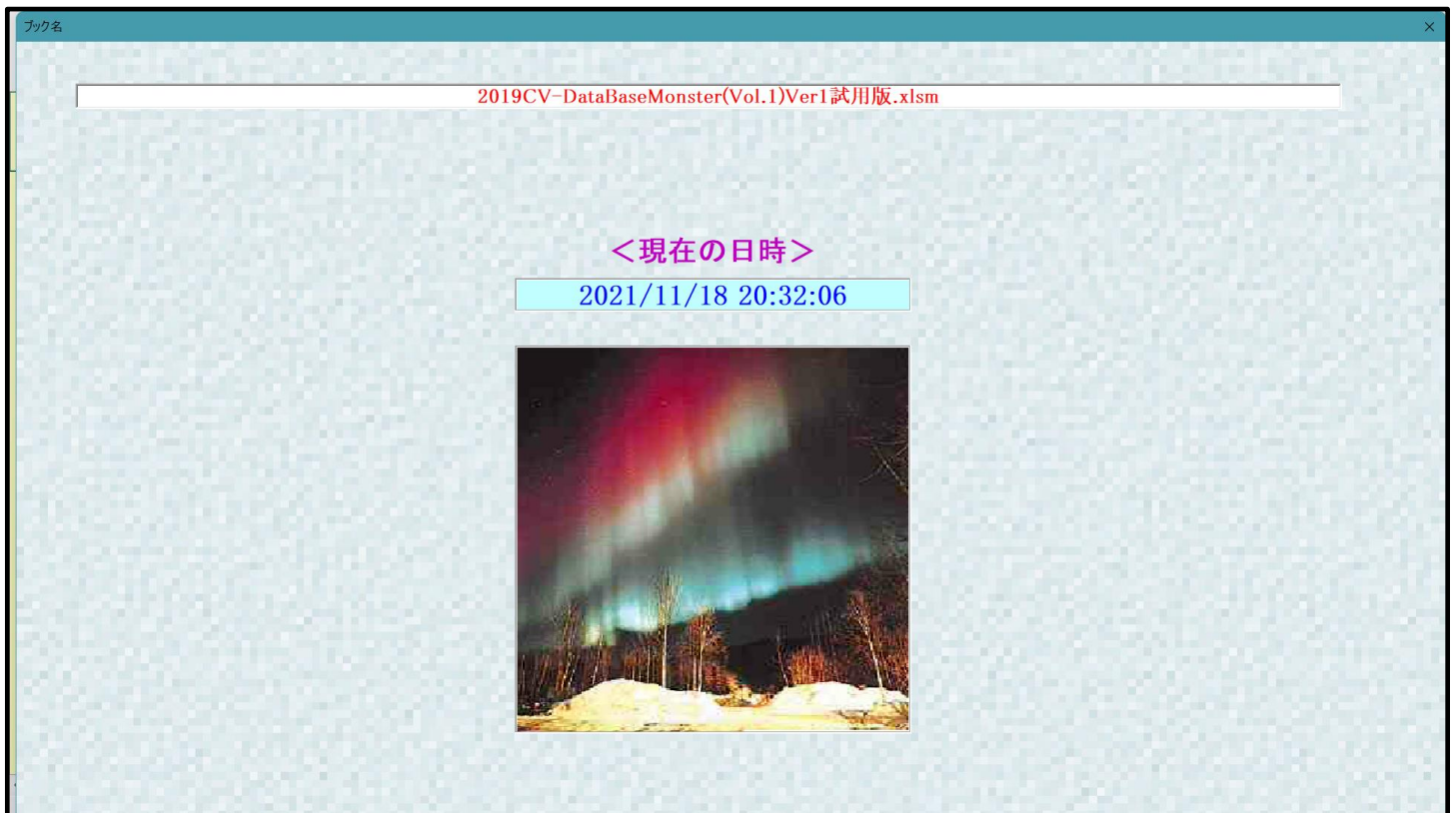
[図 4 8]



使用開始

上の[図 4 8]の画面のcommandボタンをクリックすると、引き続き下の[図 4 9]の画面がしばらく表示された後、その下の[図 5 0]の画面が表示されます。

[図 4 9]



[図 5 0]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BABB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択 | 進1

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
セルの広範囲選択呼出	CV-DataBaseMonster制御	キャンセル	システム終了

シート名設定

そして、上の[図 5 0]の画面のコマンドボタン「**シート名設定**」をクリックすると、下の[図 5 1]の画面がしばらく表示された後、[図 5 2]の画面が表示され、さらに[図 5 3]の画面が表示されたら、ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」を開く操作は完了します。

[図 5 1]

2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1試用版.xlsm - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

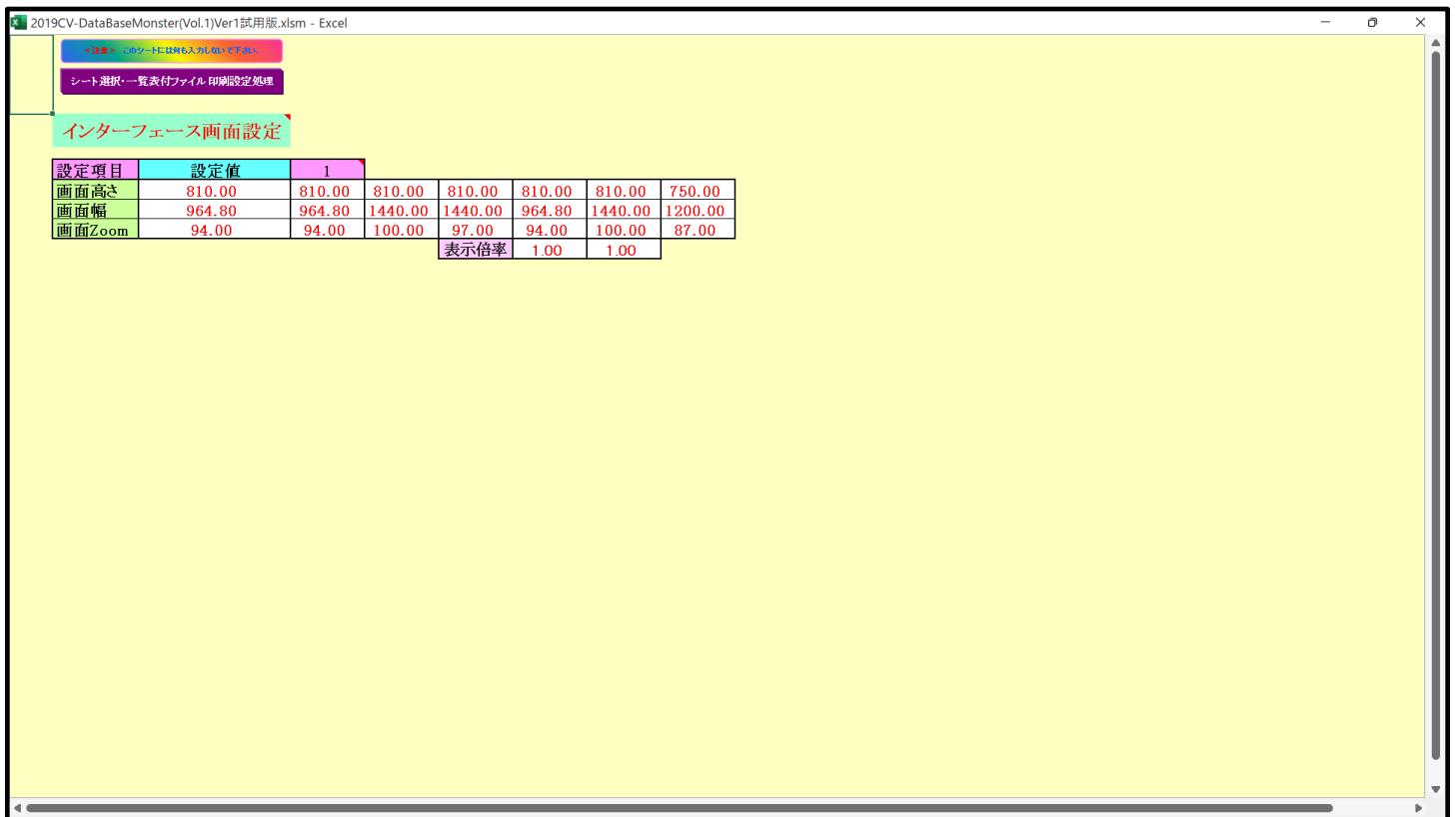
シート名設定

<注意> 変更するシート等の名前を入力した後は、直ちに上の「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」をクリックし、名前変更に対応したコマンドボタンを必ずクリックするかまたはシートのシート名変更NOの該当のセルを必ずダブルクリックして下さい。これを怠るとプログラムが誤作動し、システムが破壊される恐れがあります。
また、同じ名前や空白を入力した場合及びシート名が無入力状態の場合もシステムが壊れる恐れもありますのでくれぐれもご注意下さい。
なお、「保護セル」のコメントが付いているセルには入力出来ませんのでご承知下さい。

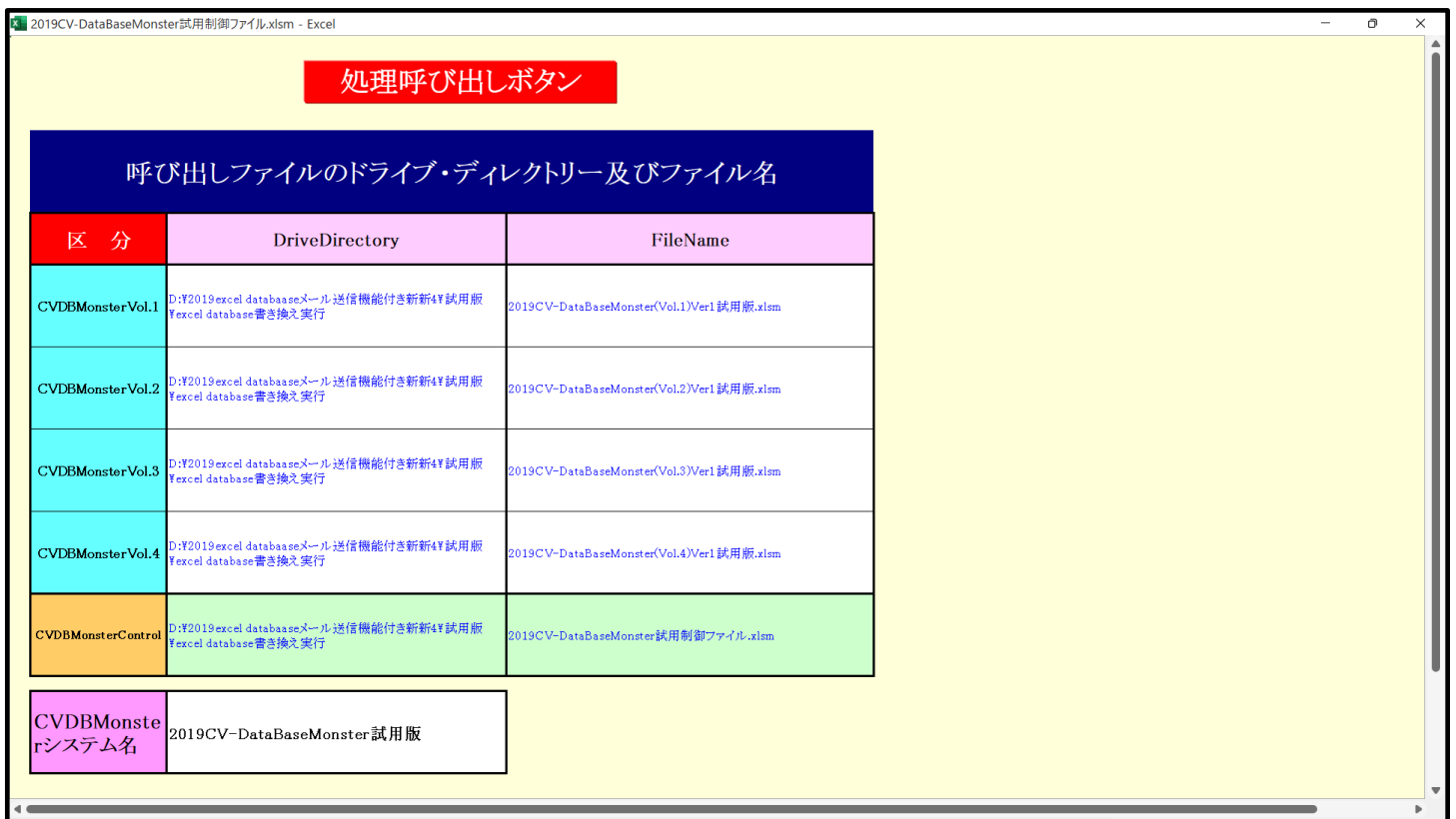
<注意> 追加項目表示

NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名
1	シート名設定	51	入力AE3	101	入力DA3	151	印刷フォーム3ノードデータ
2	項目表示入力A	52	入力AE4	102	入力DA4	152	印刷フォーム4ノードデータ
3	項目表示入力B	53	入力AE5	103	入力DA5	153	印刷フォーム5ノードデータ
4	項目表示入力C	54	入力AE6	104	入力DA6	154	印刷フォーム6ノードデータ
5	項目表示入力D	55	入力AE7	105	入力DA7	155	印刷フォーム7ノードデータ
6	項目表示作成A	56	入力AE8	106	入力DA8	156	印刷フォーム8ノードデータ
7	項目表示作成B	57	入力AE9	107	入力DA9	157	印刷フォーム9ノードデータ
8	項目表示作成C	58	入力AE10	108	入力DA10	158	印刷フォーム10ノードデータ
9	項目表示作成D	59	入力BA1	109	入力DB1	159	印刷フォーム11ノードデータ
10	行列入力項目A	60	入力BA2	110	入力DB2	160	印刷フォーム12ノードデータ
11	行列入力項目B	61	入力BA3	111	入力DB3	161	印刷フォーム13ノードデータ
12	行列入力項目C	62	入力BA4	112	入力DB4	162	印刷フォーム14ノードデータ
13	行列入力項目D	63	入力BA5	113	入力DB5	163	印刷フォーム15ノードデータ
14	一覧表付ファイル作成入力設定1	64	入力BA6	114	入力DB6	164	印刷フォーム16ノードデータ
15	一覧表付ファイル作成入力設定2	65	入力BA7	115	入力DB7	165	印刷フォーム17ノードデータ
16	一覧表付ファイル作成入力設定3	66	入力BA8	116	入力DB8	166	印刷フォーム18ノードデータ
17	一覧表付ファイル作成入力設定4	67	入力BA9	117	入力DB9	167	印刷フォーム19ノードデータ
18	一覧表付ファイル作成入力設定5	68	入力BA10	118	入力DB10	168	印刷フォーム20ノードデータ
19	一覧表付ファイル作成入力設定6	69	入力BE1	119	印刷フォーム1	169	印刷フォーム21ノードデータ
20	一覧表付ファイル作成入力設定7	70	入力BE2	120	印刷フォーム2	170	印刷フォーム22ノードデータ
21	一覧表付ファイル作成入力設定8	71	入力BE3	121	印刷フォーム3	171	印刷フォーム23ノードデータ
22	一覧表付ファイル作成入力設定9	72	入力BE4	122	印刷フォーム4	172	印刷フォーム24ノードデータ
23	一覧表付ファイル作成入力設定10	73	入力BE5	123	印刷フォーム5	173	印刷フォーム25ノードデータ
24	一覧表付ファイル作成入力設定11	74	入力BE6	124	印刷フォーム6	174	印刷フォーム26ノードデータ
25	一覧表付ファイル作成入力設定12	75	入力BE7	125	印刷フォーム7	175	印刷フォーム27ノードデータ
26	一覧表付ファイル作成入力設定13	76	入力BE8	126	印刷フォーム8	176	印刷フォーム28ノードデータ
27	一覧表付ファイル作成入力設定14	77	入力BE9	127	印刷フォーム9	177	印刷フォーム29ノードデータ
28	一覧表付ファイル作成入力設定15	78	入力BE10	128	印刷フォーム10	178	印刷フォーム30ノードデータ
29	一覧表付ファイル作成入力設定16	79	入力CA1	129	印刷フォーム11	179	一覧表付ファイル作成入力設定1
30	一覧表付ファイル作成入力設定17	80	入力CA2	130	印刷フォーム12	180	一覧表付ファイル作成入力設定2
31	一覧表付ファイル作成入力設定18	81	入力CA3	131	印刷フォーム13	181	一覧表付ファイル作成入力設定3
32	一覧表付ファイル作成入力設定19	82	入力CA4	132	印刷フォーム14	182	一覧表付ファイル作成入力設定4
33	一覧表付ファイル作成入力設定20	83	入力CA5	133	印刷フォーム15	183	一覧表付ファイル作成入力設定5
34	4結合ファイル作成コピー用	84	入力CA6	134	印刷フォーム16	184	一覧表付ファイル作成入力設定6
35	ファイル作成コピー用A	85	入力CA7	135	印刷フォーム17	185	一覧表付ファイル作成入力設定7
36	ファイル作成コピー用B	86	入力CA8	136	印刷フォーム18	186	一覧表付ファイル作成入力設定8
37	ファイル作成コピー用C	87	入力CA9	137	印刷フォーム19	187	一覧表付ファイル作成入力設定9

【図 5 2】



【図 5 3】



次にファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

を開きますが、まず、上の【図 5 3】の画面のコマンドボタン

処理呼び出しボタン

をクリックすると再び次の[図 5 4]の画面が表示されます。

[図 5 4]



上の[図 5 4]の画面でコマンドボタン

2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1試用版.xlsm を開く

をクリックするとファイル

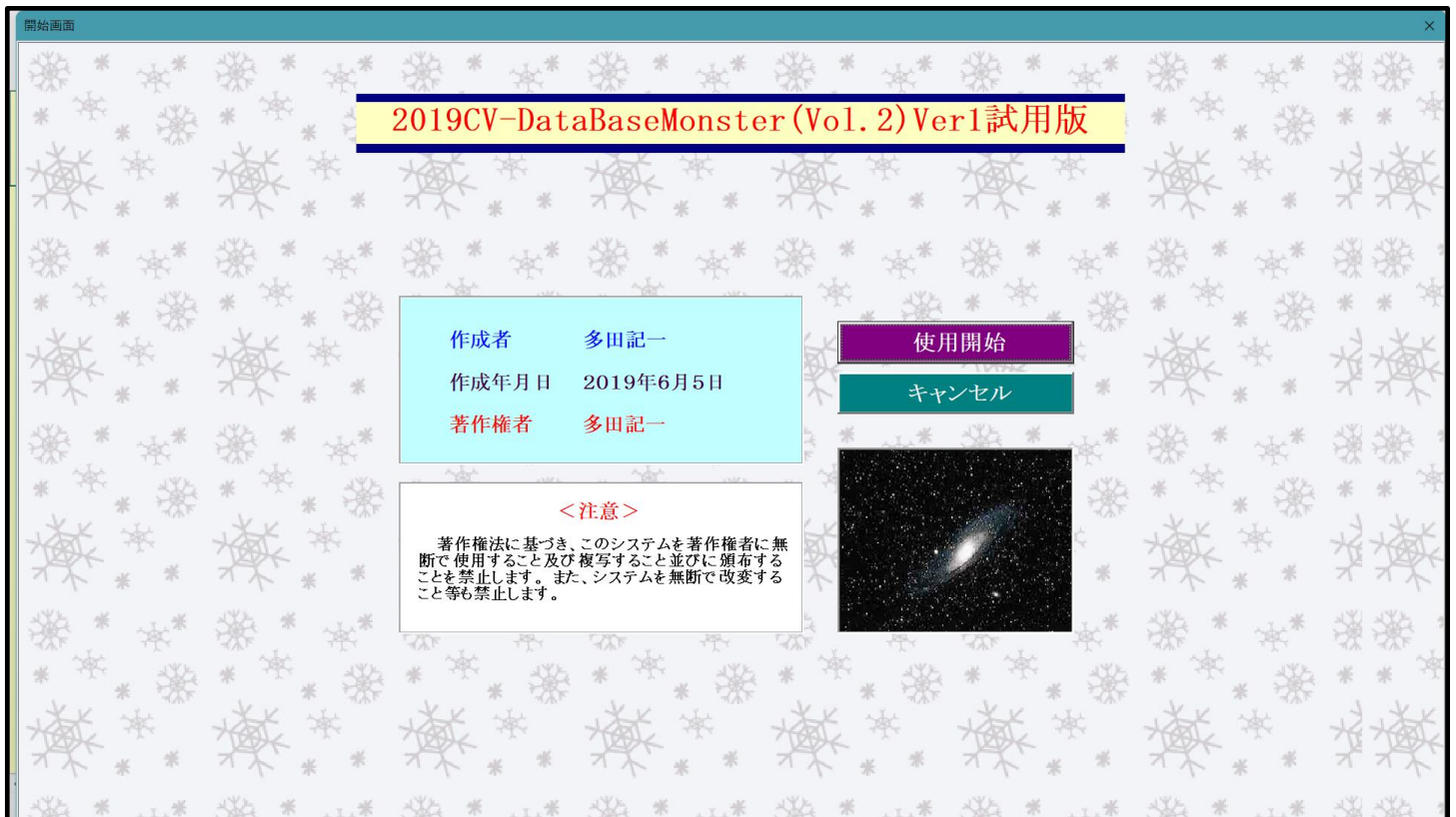
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

の呼出しが開始されます。途中、選択ボタン

更新する(U)

をクリックして立ち上げ操作を実施していくと、次の[図 5 5]の画面が表示されます。

[図 5 5]



使用開始

上の[図 5 5]の画面のコマンドボタン「使用開始」をクリックすると、引き続き下の[図 5 6]の画面」がしばらく表示された後、その下の[図 5 7]の画面が表示されます。

[図 5 6]



【図 5 7】

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BABB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択 | 進 |

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
セルの広範囲選択呼出	CV-DataBaseMonster制御	キャンセル	システム終了

そして、上の【図 5 7】の画面の Command ボタン **シート名設定** をクリックすると、下の【図 5 8】の画面がしばらく表示された後、【図 5 9】の画面が表示され、さらに【図 6 0】の画面が表示されたら、ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」を開く操作は完了します。

【図 5 8】

2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1試用版.xlsm - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

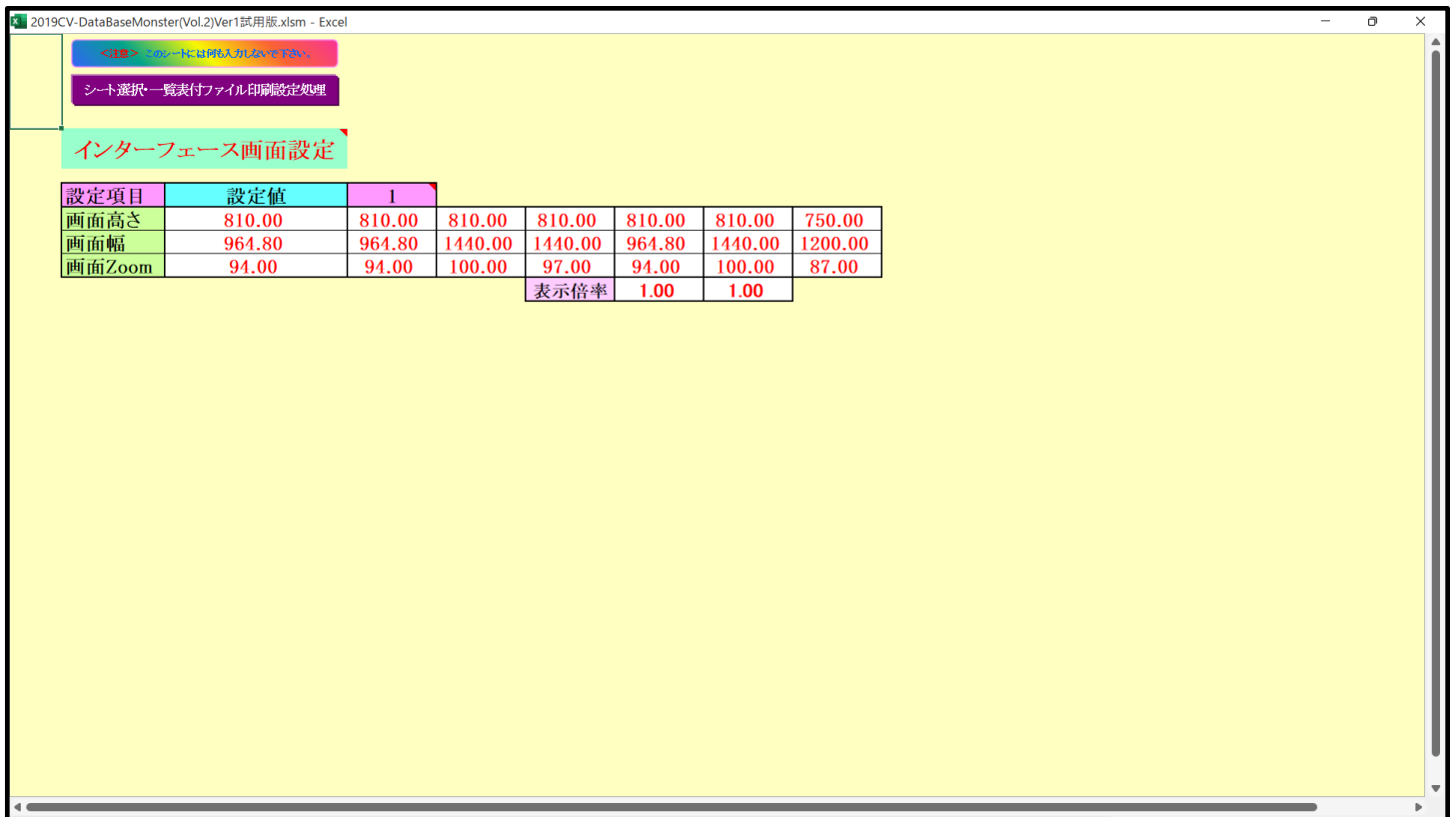
シート名設定

<注意> 変更するシート等の名前を入力した後は、直ちに上の「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」をクリックし、名前変更に対応した Command ボタンを必ずクリックするかまたはシートのシート名変更 NO の該当のセルを必ずダブルクリックして下さい。これを怠るとプログラムが誤作動し、システムが破壊される恐れがあります。
また、同じ名前や空白を入力した場合及びシート名が無入力状態の場合もシステムが壊れる恐れもありますのでくれぐれもご注意下さい。
なお、「保護セル」のコメントが付いているセルには入力出来ませんのでご承知下さい。

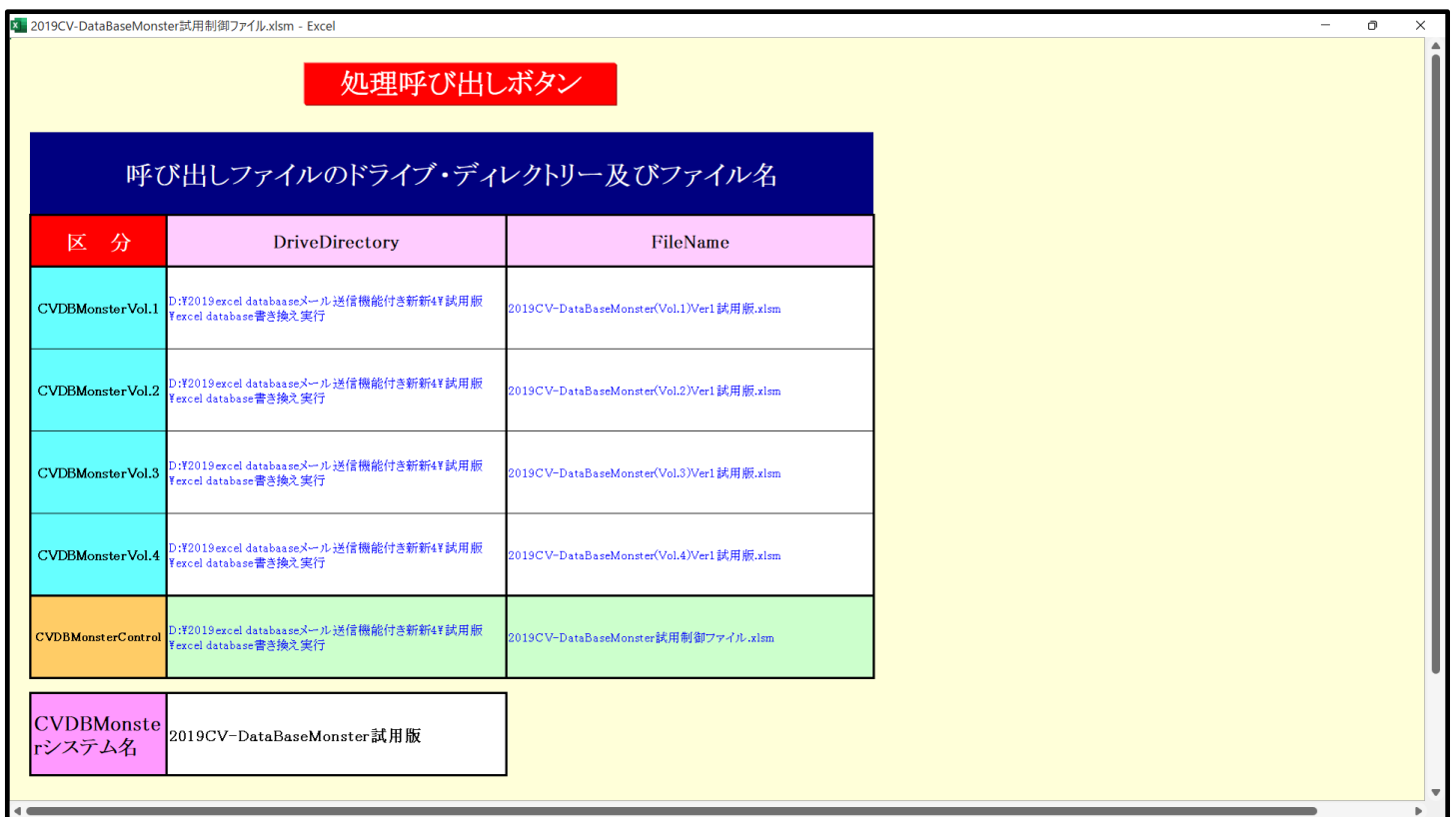
<注意> 追加項目表示

NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名
1	シート名設定	51	入力AE3	101	入力DA3	151	印刷フォーム3ノードデータ
2	項目表示入力A	52	入力AE4	102	入力DA4	152	印刷フォーム4ノードデータ
3	項目表示入力B	53	入力AE5	103	入力DA5	153	印刷フォーム5ノードデータ
4	項目表示入力C	54	入力AE6	104	入力DA6	154	印刷フォーム6ノードデータ
5	項目表示入力D	55	入力AE7	105	入力DA7	155	印刷フォーム7ノードデータ
6	項目表示作成A	56	入力AE8	106	入力DA8	156	印刷フォーム8ノードデータ
7	項目表示作成B	57	入力AE9	107	入力DA9	157	印刷フォーム9ノードデータ
8	項目表示作成C	58	入力AE10	108	入力DA10	158	印刷フォーム10ノードデータ
9	項目表示作成D	59	入力BA1	109	入力DB1	159	印刷フォーム11ノードデータ
10	行列入力項目A	60	入力BA2	110	入力DB2	160	印刷フォーム12ノードデータ
11	行列入力項目B	61	入力BA3	111	入力DB3	161	印刷フォーム13ノードデータ
12	行列入力項目C	62	入力BA4	112	入力DB4	162	印刷フォーム14ノードデータ
13	行列入力項目D	63	入力BA5	113	入力DB5	163	印刷フォーム15ノードデータ
14	一覧表付ファイル作成入力設定1	64	入力BA6	114	入力DB6	164	印刷フォーム16ノードデータ
15	一覧表付ファイル作成入力設定2	65	入力BA7	115	入力DB7	165	印刷フォーム17ノードデータ
16	一覧表付ファイル作成入力設定3	66	入力BA8	116	入力DB8	166	印刷フォーム18ノードデータ
17	一覧表付ファイル作成入力設定4	67	入力BA9	117	入力DB9	167	印刷フォーム19ノードデータ
18	一覧表付ファイル作成入力設定5	68	入力BA10	118	入力DB10	168	印刷フォーム20ノードデータ
19	一覧表付ファイル作成入力設定6	69	入力BE1	119	印刷フォーム1	169	印刷フォーム21ノードデータ
20	一覧表付ファイル作成入力設定7	70	入力BE2	120	印刷フォーム2	170	印刷フォーム22ノードデータ
21	一覧表付ファイル作成入力設定8	71	入力BE3	121	印刷フォーム3	171	印刷フォーム23ノードデータ
22	一覧表付ファイル作成入力設定9	72	入力BE4	122	印刷フォーム4	172	印刷フォーム24ノードデータ
23	一覧表付ファイル作成入力設定10	73	入力BE5	123	印刷フォーム5	173	印刷フォーム25ノードデータ
24	一覧表付ファイル作成入力設定11	74	入力BE6	124	印刷フォーム6	174	印刷フォーム26ノードデータ
25	一覧表付ファイル作成入力設定12	75	入力BE7	125	印刷フォーム7	175	印刷フォーム27ノードデータ
26	一覧表付ファイル作成入力設定13	76	入力BE8	126	印刷フォーム8	176	印刷フォーム28ノードデータ
27	一覧表付ファイル作成入力設定14	77	入力BE9	127	印刷フォーム9	177	印刷フォーム29ノードデータ
28	一覧表付ファイル作成入力設定15	78	入力BE10	128	印刷フォーム10	178	印刷フォーム30ノードデータ
29	一覧表付ファイル作成入力設定16	79	入力CA1	129	印刷フォーム11	179	一覧表付ファイル作成入力設定1
30	一覧表付ファイル作成入力設定17	80	入力CA2	130	印刷フォーム12	180	一覧表付ファイル作成入力設定2
31	一覧表付ファイル作成入力設定18	81	入力CA3	131	印刷フォーム13	181	一覧表付ファイル作成入力設定3
32	一覧表付ファイル作成入力設定19	82	入力CA4	132	印刷フォーム14	182	一覧表付ファイル作成入力設定4
33	一覧表付ファイル作成入力設定20	83	入力CA5	133	印刷フォーム15	183	一覧表付ファイル作成入力設定5
34	4結合ファイル作成コピー用	84	入力CA6	134	印刷フォーム16	184	一覧表付ファイル作成入力設定6
35	ファイル作成コピー用A	85	入力CA7	135	印刷フォーム17	185	一覧表付ファイル作成入力設定7
36	ファイル作成コピー用B	86	入力CA8	136	印刷フォーム18	186	一覧表付ファイル作成入力設定8
37	ファイル作成コピー用C	87	入力CA9	137	印刷フォーム19	187	一覧表付ファイル作成入力設定9

[図 5 9]



[図 6 0]



そして更にファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」を開きますが、まず、上の[図 6 0]のコマンドボタン

処理呼び出しボタン

をクリックすると再び次の[図 6 1]の画面が表示されます。

[図 6 1]



上の[図 6 1]の画面でコマンドボタン

2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1試用版.xlsm を開く

をクリックするとファイル

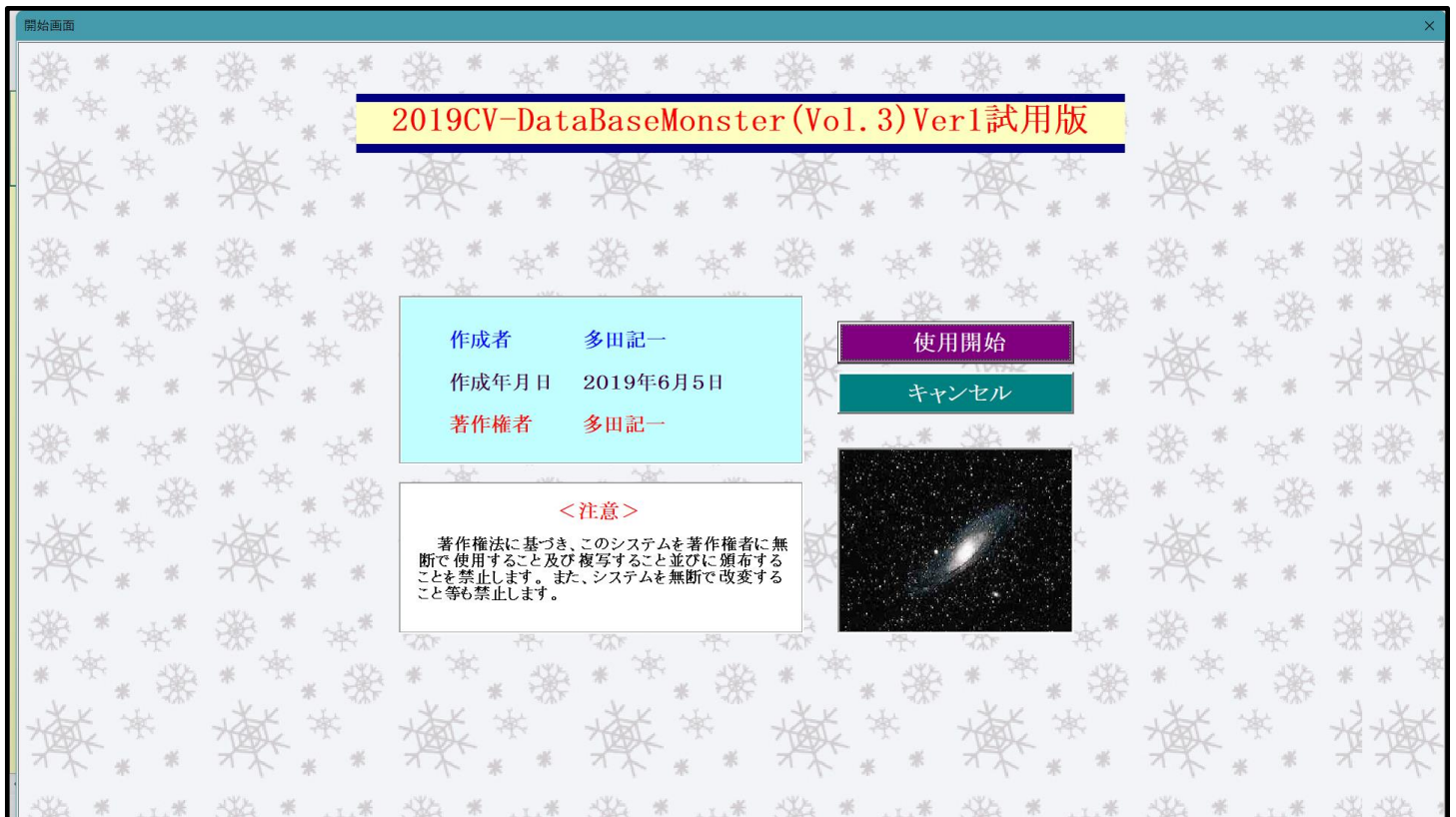
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」

の呼出しが開始されます。途中、選択ボタン

更新する(U)

をクリックして立ち上げ操作を実施していくと、次の[図 6 2]の画面が表示されます。

[図 6 2]



使用開始

上の[図 6 2]の画面の Command ボタン をクリックすると、引き続き下の[図 6 3]の画面 がしばらく表示された後、その下の[図 6 4]の画面が表示されます。

[図 6 3]



[図 6 4]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BABB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択 | 進1

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
セルの広範囲選択呼出	CV-DataBaseMonster制御	キャンセル	システム終了

シート名設定

そして、上の[図 6 4]の画面のコマンドボタンをクリックすると、下の[図 6 5]の画面がしばらく表示された後、[図 6 6]の画面が表示され、さらに[図 6 7]の画面が表示されたら、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」

を開く操作は完了します。

[図 6 5]

2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1試用版.xlsm - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

シート名設定

<注意> 変更するシート等の名前を入力した後は、直ちに上の「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」をクリックし、名前変更に対応したコマンドボタンを必ずクリックするかまたはシートのシート名変更NOの該当のセルを必ずダブルクリックして下さい。これを怠るとプログラムが誤作動し、システムが破壊される恐れがあります。

また、同じ名前や空白を入力した場合及びシート名が無入力状態の場合もシステムが壊れる恐れもありますのでくれぐれもご注意下さい。

なお、「保護セル」のコメントが付いているセルには入力出来ませんのでご承知下さい。

<注意> 追加項目表示

NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名
1	シート名設定	保護セル E3	101	入力DA3	151	印刷フォーム3シートデータ	
2	項目表示入力A	52 入力AE4	102	入力DA4	152	印刷フォーム4シートデータ	
3	項目表示入力B	53 入力AE5	103	入力DA5	153	印刷フォーム5シートデータ	
4	項目表示入力C	54 入力AE6	104	入力DA6	154	印刷フォーム6シートデータ	
5	項目表示入力D	55 入力AE7	105	入力DA7	155	印刷フォーム7シートデータ	
6	項目表示作成A	56 入力AE8	106	入力DA8	156	印刷フォーム8シートデータ	
7	項目表示作成B	57 入力AE9	107	入力DA9	157	印刷フォーム9シートデータ	
8	項目表示作成C	58 入力AE10	108	入力DA10	158	印刷フォーム10シートデータ	
9	項目表示作成D	59 入力BA1	109	入力DB1	159	印刷フォーム11シートデータ	
10	行列入力項目A	60 入力BA2	110	入力DB2	160	印刷フォーム12シートデータ	
11	行列入力項目B	61 入力BA3	111	入力DB3	161	印刷フォーム13シートデータ	
12	行列入力項目C	62 入力BA4	112	入力DB4	162	印刷フォーム14シートデータ	
13	行列入力項目D	63 入力BA5	113	入力DB5	163	印刷フォーム15シートデータ	
14	一覧表付ファイル作成入力設定1	64 入力BA6	114	入力DB6	164	印刷フォーム16シートデータ	
15	一覧表付ファイル作成入力設定2	65 入力BA7	115	入力DB7	165	印刷フォーム17シートデータ	
16	一覧表付ファイル作成入力設定3	66 入力BA8	116	入力DB8	166	印刷フォーム18シートデータ	
17	一覧表付ファイル作成入力設定4	67 入力BA9	117	入力DB9	167	印刷フォーム19シートデータ	
18	一覧表付ファイル作成入力設定5	68 入力BA10	118	入力DB10	168	印刷フォーム20シートデータ	
19	一覧表付ファイル作成入力設定6	69 入力BE1	119	印刷フォーム1	169	印刷フォーム21シートデータ	
20	一覧表付ファイル作成入力設定7	70 入力BE2	120	印刷フォーム2	170	印刷フォーム22シートデータ	
21	一覧表付ファイル作成入力設定8	71 入力BE3	121	印刷フォーム3	171	印刷フォーム23シートデータ	
22	一覧表付ファイル作成入力設定9	72 入力BE4	122	印刷フォーム4	172	印刷フォーム24シートデータ	
23	一覧表付ファイル作成入力設定10	73 入力BE5	123	印刷フォーム5	173	印刷フォーム25シートデータ	
24	一覧表付ファイル作成入力設定11	74 入力BE6	124	印刷フォーム6	174	印刷フォーム26シートデータ	
25	一覧表付ファイル作成入力設定12	75 入力BE7	125	印刷フォーム7	175	印刷フォーム27シートデータ	
26	一覧表付ファイル作成入力設定13	76 入力BE8	126	印刷フォーム8	176	印刷フォーム28シートデータ	
27	一覧表付ファイル作成入力設定14	77 入力BE9	127	印刷フォーム9	177	印刷フォーム29シートデータ	
28	一覧表付ファイル作成入力設定15	78 入力BE10	128	印刷フォーム10	178	印刷フォーム30シートデータ	
29	一覧表付ファイル作成入力設定16	79 入力CA1	129	印刷フォーム11	179	一覧表付ファイル作成入力設定1	
30	一覧表付ファイル作成入力設定17	80 入力CA2	130	印刷フォーム12	180	一覧表付ファイル作成入力設定2	
31	一覧表付ファイル作成入力設定18	81 入力CA3	131	印刷フォーム13	181	一覧表付ファイル作成入力設定3	
32	一覧表付ファイル作成入力設定19	82 入力CA4	132	印刷フォーム14	182	一覧表付ファイル作成入力設定4	
33	一覧表付ファイル作成入力設定20	83 入力CA5	133	印刷フォーム15	183	一覧表付ファイル作成入力設定5	
34	4結合ファイル作成コピー用	84 入力CA6	134	印刷フォーム16	184	一覧表付ファイル作成入力設定6	
35	ファイル作成コピー用A	85 入力CA7	135	印刷フォーム17	185	一覧表付ファイル作成入力設定7	
36	ファイル作成コピー用B	86 入力CA8	136	印刷フォーム18	186	一覧表付ファイル作成入力設定8	
37	ファイル作成コピー用C	87 入力CA9	137	印刷フォーム19	187	一覧表付ファイル作成入力設定9	

[図 6 6]

2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1試用版.xlsm - Excel

<対象のシートに値を入力してください>

シート選択一覧表付ファイル印刷設定処理

インターフェース画面設定

設定項目	設定値	I					
画面高さ	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	750.00
画面幅	964.80	964.80	1440.00	1440.00	964.80	1440.00	1200.00
画面Zoom	94.00	94.00	100.00	97.00	94.00	100.00	87.00
			表示倍率	1.00	1.00		

[図 6 7]

2019CV-DataBaseMonster試用制御ファイル.xlsm - Excel

処理呼び出しボタン

呼び出しファイルのドライブ・ディレクトリー及びファイル名

区 分	DriveDirectory	FileName
CVDBMonsterVol.1	D:\2019excel databaseメール送信機能付き新新4Y試用版 ¥excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm
CVDBMonsterVol.2	D:\2019excel databaseメール送信機能付き新新4Y試用版 ¥excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm
CVDBMonsterVol.3	D:\2019excel databaseメール送信機能付き新新4Y試用版 ¥excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm
CVDBMonsterVol.4	D:\2019excel databaseメール送信機能付き新新4Y試用版 ¥excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm
CVDBMonsterControl	D:\2019excel databaseメール送信機能付き新新4Y試用版 ¥excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster試用制御ファイル.xlsm
CVDBMonsterシステム名	2019CV-DataBaseMonster試用版	

そして最後にファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

を開きますが、まず、上の[図 6 7]のコマンドボタン

をクリックすると再び次の[図 6 8]の画面が表示されます。

処理呼び出しボタン

[図 6 8]



上の[図 6 8]の画面でコマンドボタン

2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1試用版.xlsm を開く

をクリックするとファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

の呼出しが開始されます。呼出しを実施していくと、このファイルの立ち上がり画面である次の[図 6 9]の画面が表示されます。

[図 6 9]



使用開始

上の[図 6 9]の画面の Command ボタン をクリックすると、引き続き下の [図 7 0] の画面 がしばらく表示された後、その下の [図 7 1] の画面が表示されます。

[図 7 0]



【図 7 1】

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BABB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択 | 追加項目表示

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
セルの広範囲選択呼出	CV-DataBaseMonster制御	キャンセル	システム終了

シート名設定

そして、上の【図 7 1】の画面の Command ボタン **シート名設定** をクリックすると、下の【図 7 2】の画面がしばらく表示された後、【図 7 3】の画面が表示され、さらに【図 7 4】の画面が表示されたら、ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」を開く操作は完了します。

【図 7 2】

2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1試用版.xlsm - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

シート名設定

<注意> 変更するシート等の名前を入力した後は、直ちに上の「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」をクリックし、名前変更に対応した Command ボタンを必ずクリックするかまたはシートのシート名変更NOの該当のセルを必ずダブルクリックして下さい。これを怠るとプログラムが誤作動し、システムが破壊される恐れがあります。
また、同じ名前や空白を入力した場合及びシート名が無入力状態の場合もシステムが壊れる恐れもありますのでご注意ください。
なお、「保護セル」のコメントが付いているセルには入力出来ませんのでご承知下さい。

<注意> 追加項目表示

NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名
1	シート名設定	51	入力AE3	101	入力DA3	151	印刷フォーム3シートデータ
2	項目表示入力A	52	入力AE4	102	入力DA4	152	印刷フォーム4シートデータ
3	項目表示入力B	53	入力AE5	103	入力DA5	153	印刷フォーム5シートデータ
4	項目表示入力C	54	入力AE6	104	入力DA6	154	印刷フォーム6シートデータ
5	項目表示入力D	55	入力AE7	105	入力DA7	155	印刷フォーム7シートデータ
6	項目表示作成A	56	入力AE8	106	入力DA8	156	印刷フォーム8シートデータ
7	項目表示作成B	57	入力AE9	107	入力DA9	157	印刷フォーム9シートデータ
8	項目表示作成C	58	入力AE10	108	入力DA10	158	印刷フォーム10シートデータ
9	項目表示作成D	59	入力BA1	109	入力DE1	159	印刷フォーム11シートデータ
10	行列入力項目A	60	入力BA2	110	入力DE2	160	印刷フォーム12シートデータ
11	行列入力項目B	61	入力BA3	111	入力DE3	161	印刷フォーム13シートデータ
12	行列入力項目C	62	入力BA4	112	入力DE4	162	印刷フォーム14シートデータ
13	行列入力項目D	63	入力BA5	113	入力DE5	163	印刷フォーム15シートデータ
14	一覧表付ファイル作成入力設定1	64	入力BA6	114	入力DE6	164	印刷フォーム16シートデータ
15	一覧表付ファイル作成入力設定2	65	入力BA7	115	入力DE7	165	印刷フォーム17シートデータ
16	一覧表付ファイル作成入力設定3	66	入力BA8	116	入力DE8	166	印刷フォーム18シートデータ
17	一覧表付ファイル作成入力設定4	67	入力BA9	117	入力DE9	167	印刷フォーム19シートデータ
18	一覧表付ファイル作成入力設定5	68	入力BA10	118	入力DE10	168	印刷フォーム20シートデータ
19	一覧表付ファイル作成入力設定6	69	入力BB1	119	印刷フォーム21シートデータ	169	印刷フォーム21シートデータ
20	一覧表付ファイル作成入力設定7	70	入力BB2	120	印刷フォーム22シートデータ	170	印刷フォーム22シートデータ
21	一覧表付ファイル作成入力設定8	71	入力BB3	121	印刷フォーム23シートデータ	171	印刷フォーム23シートデータ
22	一覧表付ファイル作成入力設定9	72	入力BB4	122	印刷フォーム24シートデータ	172	印刷フォーム24シートデータ
23	一覧表付ファイル作成入力設定10	73	入力BB5	123	印刷フォーム25シートデータ	173	印刷フォーム25シートデータ
24	一覧表付ファイル作成入力設定11	74	入力BB6	124	印刷フォーム26シートデータ	174	印刷フォーム26シートデータ
25	一覧表付ファイル作成入力設定12	75	入力BB7	125	印刷フォーム27シートデータ	175	印刷フォーム27シートデータ
26	一覧表付ファイル作成入力設定13	76	入力BB8	126	印刷フォーム28シートデータ	176	印刷フォーム28シートデータ
27	一覧表付ファイル作成入力設定14	77	入力BB9	127	印刷フォーム29シートデータ	177	印刷フォーム29シートデータ
28	一覧表付ファイル作成入力設定15	78	入力BB10	128	印刷フォーム30シートデータ	178	印刷フォーム30シートデータ
29	一覧表付ファイル作成入力設定16	79	入力CA1	129	印刷フォーム31シートデータ	179	一覧表付ファイル作成入力設定
30	一覧表付ファイル作成入力設定17	80	入力CA2	130	印刷フォーム32シートデータ	180	一覧表付ファイル作成入力設定
31	一覧表付ファイル作成入力設定18	81	入力CA3	131	印刷フォーム33シートデータ	181	一覧表付ファイル作成入力設定
32	一覧表付ファイル作成入力設定19	82	入力CA4	132	印刷フォーム34シートデータ	182	一覧表付ファイル作成入力設定
33	一覧表付ファイル作成入力設定20	83	入力CA5	133	印刷フォーム35シートデータ	183	一覧表付ファイル作成入力設定
34	4結合ファイル作成コピー用	84	入力CA6	134	印刷フォーム36シートデータ	184	一覧表付ファイル作成入力設定
35	ファイル作成コピー用A	85	入力CA7	135	印刷フォーム37シートデータ	185	一覧表付ファイル作成入力設定
36	ファイル作成コピー用B	86	入力CA8	136	印刷フォーム38シートデータ	186	一覧表付ファイル作成入力設定
37	ファイル作成コピー用C	87	入力CA9	137	印刷フォーム39シートデータ	187	一覧表付ファイル作成入力設定

[図 7 3]

2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1試用版.xlsm - Excel

「2019CV-DataBaseMonster」には何も入力しないでください。

シート選択→一覧表付ファイル印刷設定処理

インターフェース画面設定

設定項目	設定値	1
画面高さ	810.00	810.00
画面幅	964.80	964.80
画面Zoom	94.00	94.00
		表示倍率
		1.00

[図 7 4]

2019CV-DataBaseMonster試用制御ファイル.xlsm - Excel

処理呼び出しボタン

呼び出しファイルのドライブ・ディレクトリー及びファイル名		
区 分	DriveDirectory	FileName
CVDBMonsterVol.1	D:\2019excel database\メール送信機能付き新新4\試用版 Fexcel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1試用版.xlsm
CVDBMonsterVol.2	D:\2019excel database\メール送信機能付き新新4\試用版 Fexcel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1試用版.xlsm
CVDBMonsterVol.3	D:\2019excel database\メール送信機能付き新新4\試用版 Fexcel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1試用版.xlsm
CVDBMonsterVol.4	D:\2019excel database\メール送信機能付き新新4\試用版 Fexcel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1試用版.xlsm
CVDBMonsterControl	D:\2019excel database\メール送信機能付き新新4\試用版 Fexcel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster試用制御ファイル.xlsm
CVDBMonster システム名	2019CV-DataBaseMonster 試用版	

以上のようにして4個のファイル
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」
が全て開かれます。

処理呼び出しボタン

なお、[図 7 4]においてコマンドボタンをクリックすると、ユーザーフォーム「処理・シート選択」が起動し、次の[図 7 5]の画面になります。

[図 7 5]

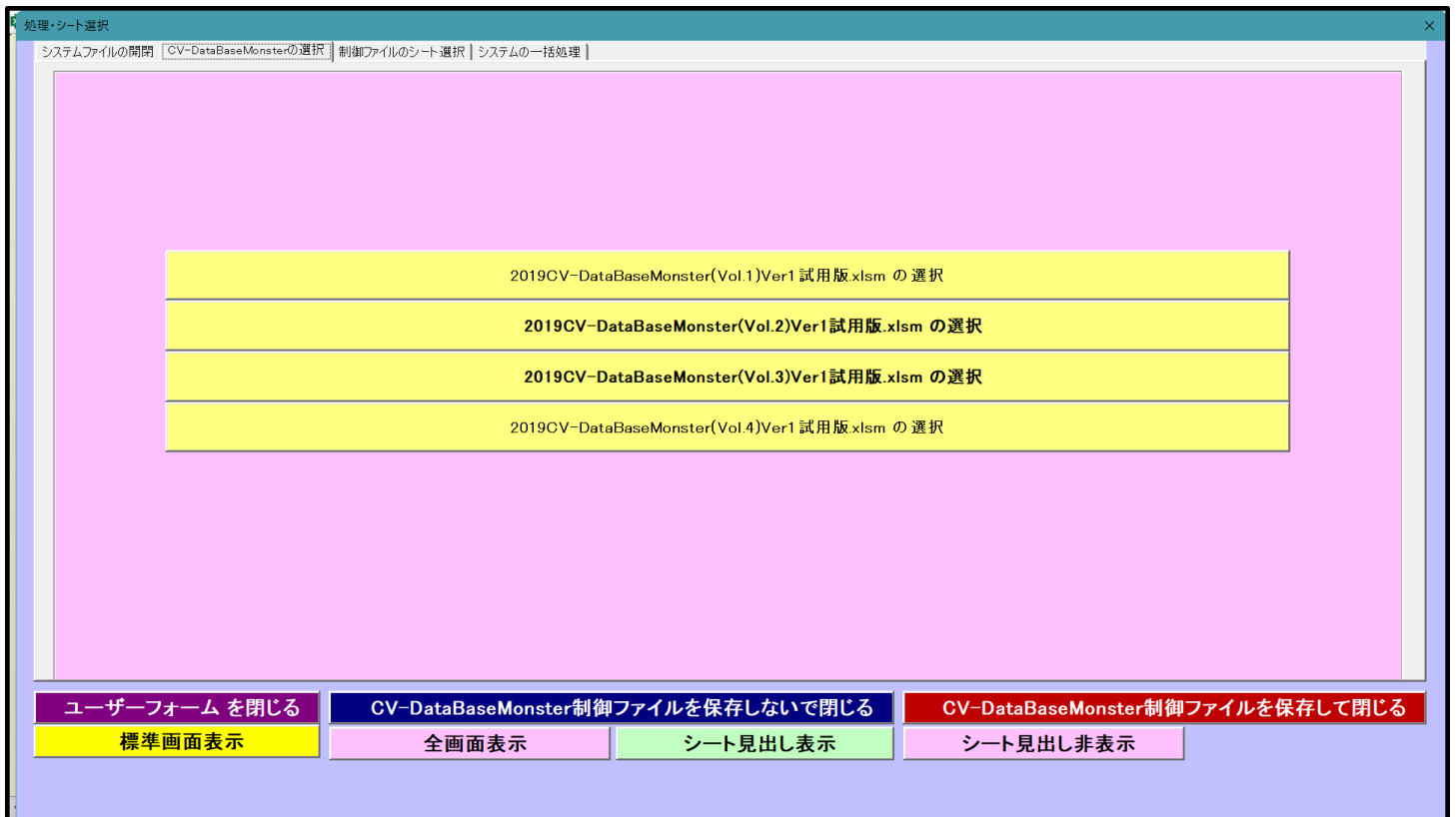
上の[図 7 5]の画面でタブ「CV-DataBaseMonsterの選択」を選択すると、下の[図 7 6]の画面になります。

この[図 7 6]の画面で、開いた 4 個のファイル

- 「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」
- 「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」
- 「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」
- 「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

のうち、編集等をおこないたいファイルを、コマンドボタンをクリックして選択することができます。

[図 7 6]



(2) 4 個のファイルを一括して開く方法

ファイル「2019CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」をダブルクリックして立ち上げると、次の[図 7 7]の画面が表示されてまいります。

[図 7 7]



上の[図 7 7]の画面のコマンドボタン

上記ファイル(2019CV-DataBaseMonster試用版Vol.1～4)全てを開く

をクリックすると4個のファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

が上から順に呼び出されます。実際コマンドボタンをクリックすると、途中、選択ボタンをクリックして立ち上げ操作を実施していくと、次の[図78]の画面が表示されます。

更新する(U)

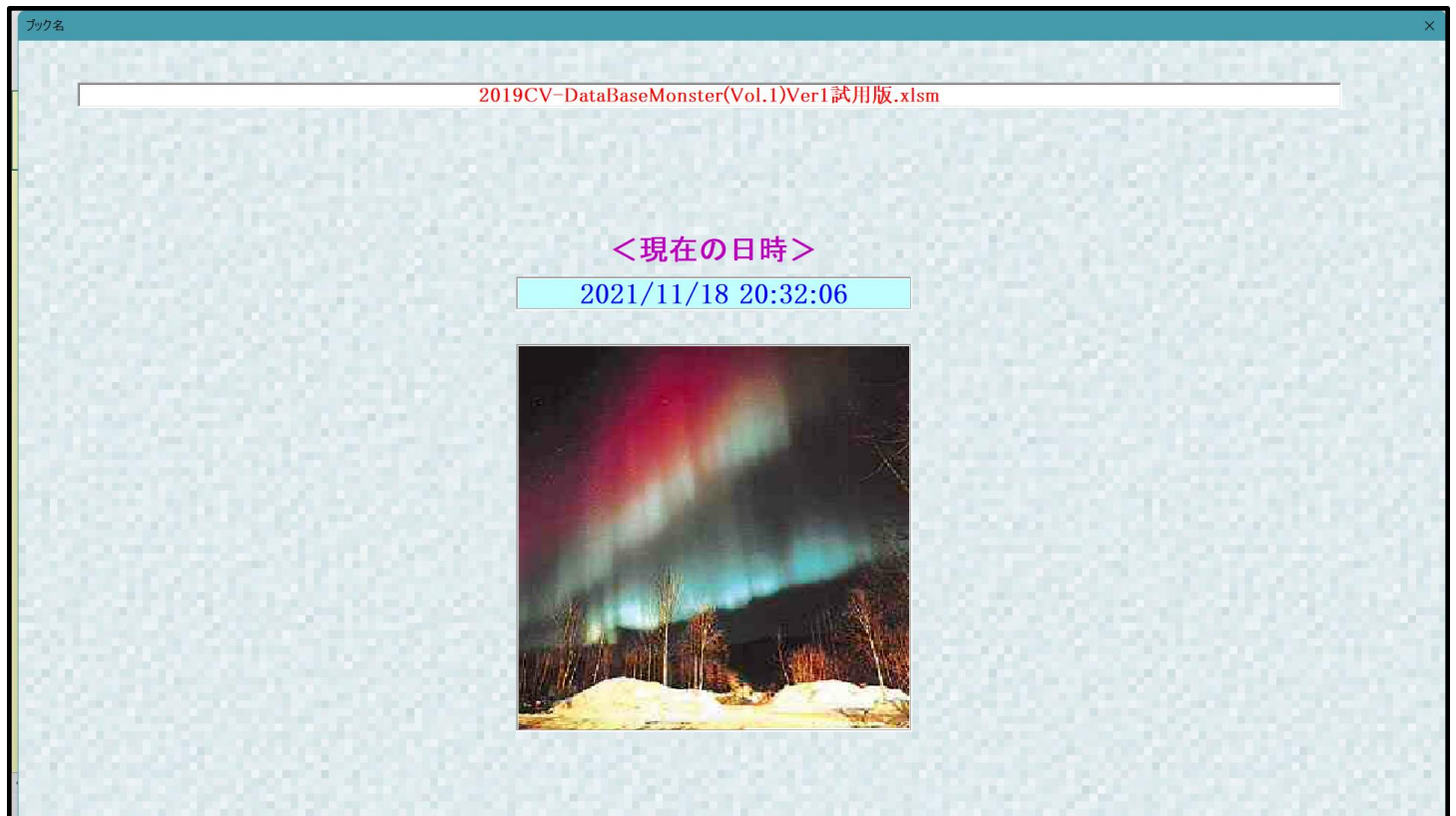
[図78]



使用開始

ここで上の[図78]の画面でコマンドボタン「使用開始」をクリックすると、引き続き下の[図79]の画面がしばらく表示された後、その下の[図80]の画面が表示されます。

[図 7 9]



[図 8 0]



シート名設定

そして、上の[図 8 0]の画面のコマンドボタンをクリックすると、下の[図 8 1]の画面がしばらく表示された後、[図 8 2]の画面が表示され、さらに[図 8 3]の画面が表示されたら、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」を開く操作が完了し、すぐに次のファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

を開く操作が開始されます。

[図 8 1]

2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1試用版.xism - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

シート名設定

<注意> 変更するシート等の名前を入力した後は、直ちに上の「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」をクリックし、名前変更に対応したコマンドボタンを必ずクリックするかまたはシートのシート名変更NOの該当のセルを必ずダブルクリックして下さい。これを怠るとプログラムが誤作動し、システムが破壊される恐れがあります。
また、同名名前や空白入力した場合及びシート名が無入力状態の場合もシステムが壊れる恐れもありますのでくれぐれもご注意下さい。
なお、「保護セル」のコメントが付けられているセルには入力出来ませんのでご承知下さい。

<注意> 追加項目表示

NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名
1	シート名設定	51	入力AB3	101	入力DA3	151	印刷フォーム3シートデータ
2	項目表示入力A	52	入力AB4	102	入力DA4	152	印刷フォーム4シートデータ
3	項目表示入力B	53	入力AB5	103	入力DA5	153	印刷フォーム5シートデータ
4	項目表示入力C	54	入力AB6	104	入力DA6	154	印刷フォーム6シートデータ
5	項目表示入力D	55	入力AB7	105	入力DA7	155	印刷フォーム7シートデータ
6	項目表示作成A	56	入力AB8	106	入力DA8	156	印刷フォーム8シートデータ
7	項目表示作成B	57	入力AB9	107	入力DA9	157	印刷フォーム9シートデータ
8	項目表示作成C	58	入力AB10	108	入力DA10	158	印刷フォーム10シートデータ
9	項目表示作成D	59	入力BA1	109	入力DB1	159	印刷フォーム11シートデータ
10	行列入力項目A	60	入力BA2	110	入力DB2	160	印刷フォーム12シートデータ
11	行列入力項目B	61	入力BA3	111	入力DB3	161	印刷フォーム13シートデータ
12	行列入力項目C	62	入力BA4	112	入力DB4	162	印刷フォーム14シートデータ
13	行列入力項目D	63	入力BA5	113	入力DB5	163	印刷フォーム15シートデータ
14	一覧表付ファイル作成入力設定1	64	入力BA6	114	入力DB6	164	印刷フォーム16シートデータ
15	一覧表付ファイル作成入力設定2	65	入力BA7	115	入力DB7	165	印刷フォーム17シートデータ
16	一覧表付ファイル作成入力設定3	66	入力BA8	116	入力DB8	166	印刷フォーム18シートデータ
17	一覧表付ファイル作成入力設定4	67	入力BA9	117	入力DB9	167	印刷フォーム19シートデータ
18	一覧表付ファイル作成入力設定5	68	入力BA10	118	入力DB10	168	印刷フォーム20シートデータ
19	一覧表付ファイル作成入力設定6	69	入力BB1	119	印刷フォーム1	169	印刷フォーム21シートデータ
20	一覧表付ファイル作成入力設定7	70	入力BB2	120	印刷フォーム2	170	印刷フォーム22シートデータ
21	一覧表付ファイル作成入力設定8	71	入力BB3	121	印刷フォーム3	171	印刷フォーム23シートデータ
22	一覧表付ファイル作成入力設定9	72	入力BB4	122	印刷フォーム4	172	印刷フォーム24シートデータ
23	一覧表付ファイル作成入力設定10	73	入力BB5	123	印刷フォーム5	173	印刷フォーム25シートデータ
24	一覧表付ファイル作成入力設定11	74	入力BB6	124	印刷フォーム6	174	印刷フォーム26シートデータ
25	一覧表付ファイル作成入力設定12	75	入力BB7	125	印刷フォーム7	175	印刷フォーム27シートデータ
26	一覧表付ファイル作成入力設定13	76	入力BB8	126	印刷フォーム8	176	印刷フォーム28シートデータ
27	一覧表付ファイル作成入力設定14	77	入力BB9	127	印刷フォーム9	177	印刷フォーム29シートデータ
28	一覧表付ファイル作成入力設定15	78	入力BB10	128	印刷フォーム10	178	印刷フォーム30シートデータ
29	一覧表付ファイル作成入力設定16	79	入力CA1	129	印刷フォーム11	179	一覧表付ファイル作成入力設定1
30	一覧表付ファイル作成入力設定17	80	入力CA2	130	印刷フォーム12	180	一覧表付ファイル作成入力設定2
31	一覧表付ファイル作成入力設定18	81	入力CA3	131	印刷フォーム13	181	一覧表付ファイル作成入力設定3
32	一覧表付ファイル作成入力設定19	82	入力CA4	132	印刷フォーム14	182	一覧表付ファイル作成入力設定4
33	一覧表付ファイル作成入力設定20	83	入力CA5	133	印刷フォーム15	183	一覧表付ファイル作成入力設定5
34	4結合ファイル作成コピー用	84	入力CA6	134	印刷フォーム16	184	一覧表付ファイル作成入力設定6
35	ファイル作成コピー用A	85	入力CA7	135	印刷フォーム17	185	一覧表付ファイル作成入力設定7
36	ファイル作成コピー用B	86	入力CA8	136	印刷フォーム18	186	一覧表付ファイル作成入力設定8
37	ファイル作成コピー用C	87	入力CA9	137	印刷フォーム19	187	一覧表付ファイル作成入力設定9

[図 8 2]

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理							
インターフェース画面設定							
設定項目	設定値	1					
画面高さ	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	750.00
画面幅	964.80	964.80	1440.00	1440.00	964.80	1440.00	1200.00
画面Zoom	94.00	94.00	100.00	97.00	94.00	100.00	87.00
表示倍率				1.00	1.00		

[図 8 3]

2019CV-DataBaseMonster試用制御ファイル.xlsm - Excel		
処理呼び出しボタン		
呼び出しファイルのドライブ・ディレクトリー及びファイル名		
区 分	DriveDirectory	FileName
CVDBMonsterVol.1	D:\2019excel databaseメール送信機能付き新新4用試用版 Fexcel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1試用版.xlsm
CVDBMonsterVol.2	D:\2019excel databaseメール送信機能付き新新4用試用版 Fexcel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1試用版.xlsm
CVDBMonsterVol.3	D:\2019excel databaseメール送信機能付き新新4用試用版 Fexcel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1試用版.xlsm
CVDBMonsterVol.4	D:\2019excel databaseメール送信機能付き新新4用試用版 Fexcel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1試用版.xlsm
CVDBMonsterControl	D:\2019excel databaseメール送信機能付き新新4用試用版 Fexcel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster試用制御ファイル.xlsm
CVDBMonsterシステム名	2019CV-DataBaseMonster試用版	

ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

を開く操作が開始されて、途中、選択ボタン

更新する(U)

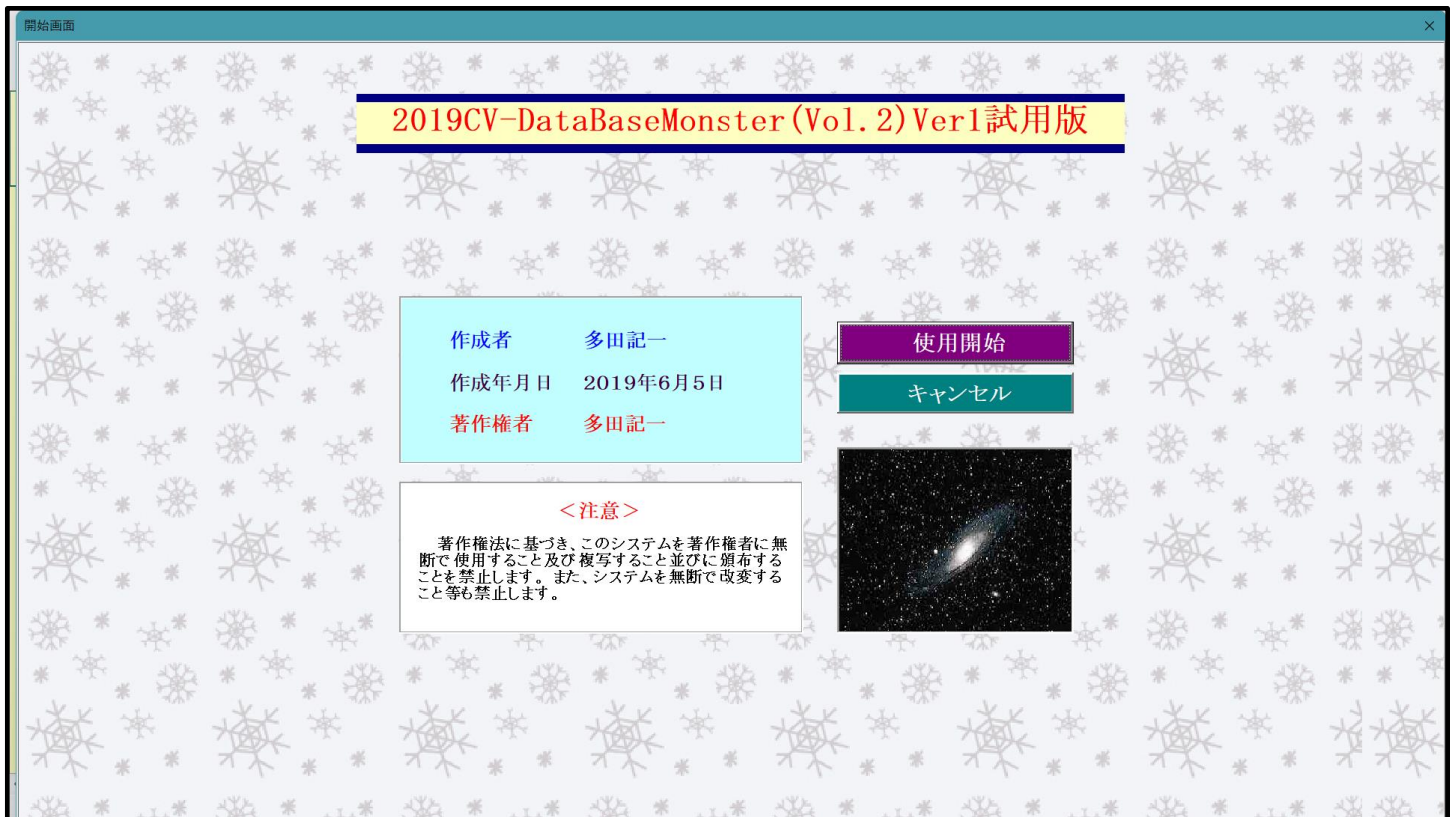
をクリックして立ち上げ操作を実施していくと、

ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

の立ち上がり画面である次の[図 8 4]の画面が表示されます。

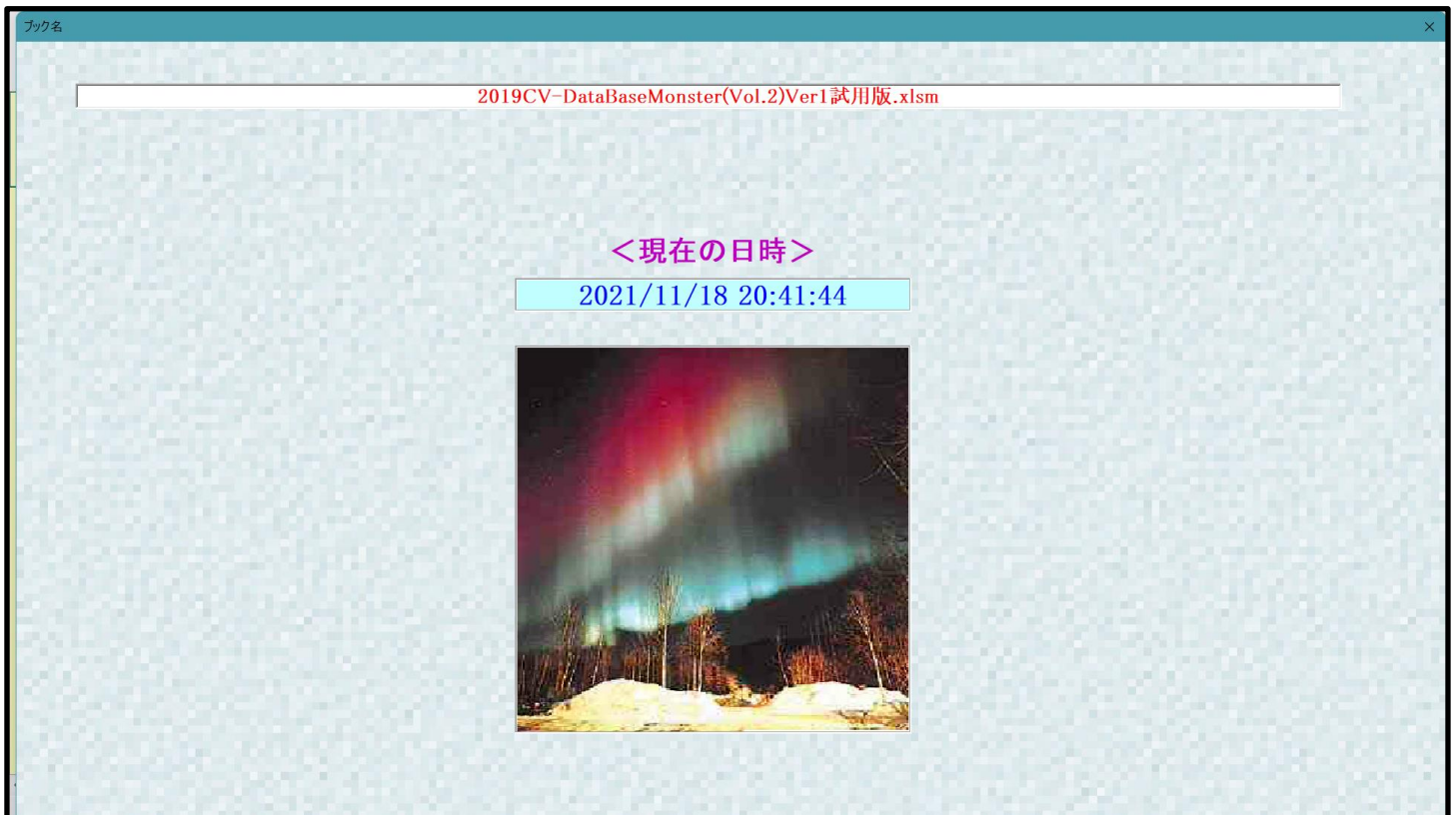
[図 8 4]



使用開始

上の[図 8 4]の画面のコマンドボタン「使用開始」をクリックすると、引き続き下の[図 8 5]の画面「**2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm**」がしばらく表示された後、その下の[図 8 6]の画面が表示されます。

[図 8 5]



[図 8 6]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BABB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択 | 進

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示

全画面表示

シート見出し表示

シート見出し非表示

セルの広範囲選択呼出

CV-DataBaseMonster制御

キャンセル

システム終了

そして、上の[図 8 6]の画面の Command ボタン **シート名設定** をクリックすると、下の[図 8 7]の画面がしばらく表示された後、[図 8 8]の画面が表示され、さらに[図 8 9]の画面が表示されたら、ファイル

「2019V-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

を開く処理が完了し、次のファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」

を開く処理が開始されます。

【図 8 7】

2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1試用版.xlsm - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

シート名設定

<注意> 変更するシート等の名前を入力した後は、直ちに上の「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」をクリックし、名前変更に対応したコマンドボタンを必ずクリックするかまたはシートのシート名変更NOの該当のセルを必ずダブルクリックして下さい。これを怠るとプログラムが誤作動し、システムが破壊される恐れがあります。
また、同じ名前や空白を入力した場合及びシート名が無入力状態の場合もシステムが壊れる恐れもありますのでくれぐれもご注意下さい。
なお、「保護セル」のコメントが付いているセルには入力出来ませんのでご承知下さい。

<注意> 追加項目表示

NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名
1	シート名設定	51	入力AE3	101	入力DA3	151	印刷フォーム3ノットデータ
2	項目表示入力A	52	入力AE4	102	入力DA4	152	印刷フォーム4ノットデータ
3	項目表示入力B	53	入力AE5	103	入力DA5	153	印刷フォーム5ノットデータ
4	項目表示入力C	54	入力AE6	104	入力DA6	154	印刷フォーム6ノットデータ
5	項目表示入力D	55	入力AE7	105	入力DA7	155	印刷フォーム7ノットデータ
6	項目表示作成A	56	入力AE8	106	入力DA8	156	印刷フォーム8ノットデータ
7	項目表示作成B	57	入力AE9	107	入力DA9	157	印刷フォーム9ノットデータ
8	項目表示作成C	58	入力AE10	108	入力DA10	158	印刷フォーム10ノットデータ
9	項目表示作成D	59	入力BA1	109	入力DB1	159	印刷フォーム11ノットデータ
10	行別入力項目A	60	入力BA2	110	入力DB2	160	印刷フォーム12ノットデータ
11	行別入力項目B	61	入力BA3	111	入力DB3	161	印刷フォーム13ノットデータ
12	行別入力項目C	62	入力BA4	112	入力DB4	162	印刷フォーム14ノットデータ
13	行別入力項目D	63	入力BA5	113	入力DB5	163	印刷フォーム15ノットデータ
14	一覧表付ファイル作成入力設定1	64	入力BA6	114	入力DB6	164	印刷フォーム16ノットデータ
15	一覧表付ファイル作成入力設定2	65	入力BA7	115	入力DB7	165	印刷フォーム17ノットデータ
16	一覧表付ファイル作成入力設定3	66	入力BA8	116	入力DB8	166	印刷フォーム18ノットデータ
17	一覧表付ファイル作成入力設定4	67	入力BA9	117	入力DB9	167	印刷フォーム19ノットデータ
18	一覧表付ファイル作成入力設定5	68	入力BA10	118	入力DB10	168	印刷フォーム20ノットデータ
19	一覧表付ファイル作成入力設定6	69	入力BB1	119	印刷フォーム1	169	印刷フォーム21ノットデータ
20	一覧表付ファイル作成入力設定7	70	入力BB2	120	印刷フォーム2	170	印刷フォーム22ノットデータ
21	一覧表付ファイル作成入力設定8	71	入力BB3	121	印刷フォーム3	171	印刷フォーム23ノットデータ
22	一覧表付ファイル作成入力設定9	72	入力BB4	122	印刷フォーム4	172	印刷フォーム24ノットデータ
23	一覧表付ファイル作成入力設定10	73	入力BB5	123	印刷フォーム5	173	印刷フォーム25ノットデータ
24	一覧表付ファイル作成入力設定11	74	入力BB6	124	印刷フォーム6	174	印刷フォーム26ノットデータ
25	一覧表付ファイル作成入力設定12	75	入力BB7	125	印刷フォーム7	175	印刷フォーム27ノットデータ
26	一覧表付ファイル作成入力設定13	76	入力BB8	126	印刷フォーム8	176	印刷フォーム28ノットデータ
27	一覧表付ファイル作成入力設定14	77	入力BB9	127	印刷フォーム9	177	印刷フォーム29ノットデータ
28	一覧表付ファイル作成入力設定15	78	入力BB10	128	印刷フォーム10	178	印刷フォーム30ノットデータ
29	一覧表付ファイル作成入力設定16	79	入力CA1	129	印刷フォーム11	179	一覧表付ファイル作成入力設定
30	一覧表付ファイル作成入力設定17	80	入力CA2	130	印刷フォーム12	180	一覧表付ファイル作成入力設定
31	一覧表付ファイル作成入力設定18	81	入力CA3	131	印刷フォーム13	181	一覧表付ファイル作成入力設定
32	一覧表付ファイル作成入力設定19	82	入力CA4	132	印刷フォーム14	182	一覧表付ファイル作成入力設定
33	一覧表付ファイル作成入力設定20	83	入力CA5	133	印刷フォーム15	183	一覧表付ファイル作成入力設定
34	4結合ファイル作成コピー用	84	入力CA6	134	印刷フォーム16	184	一覧表付ファイル作成入力設定
35	ファイル作成コピー用A	85	入力CA7	135	印刷フォーム17	185	一覧表付ファイル作成入力設定
36	ファイル作成コピー用B	86	入力CA8	136	印刷フォーム18	186	一覧表付ファイル作成入力設定
37	ファイル作成コピー用C	87	入力CA9	137	印刷フォーム19	187	一覧表付ファイル作成入力設定

【図 8 8】

2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1試用版.xlsm - Excel

<注意> シートのシート名には何も入力しないで下さい。

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

インターフェース画面設定

設定項目	設定値	1					
画面高さ	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	750.00
画面幅	964.80	964.80	1440.00	1440.00	964.80	1440.00	1200.00
画面Zoom	94.00	94.00	100.00	97.00	94.00	100.00	87.00
				表示倍率	1.00	1.00	

[図 8 9]

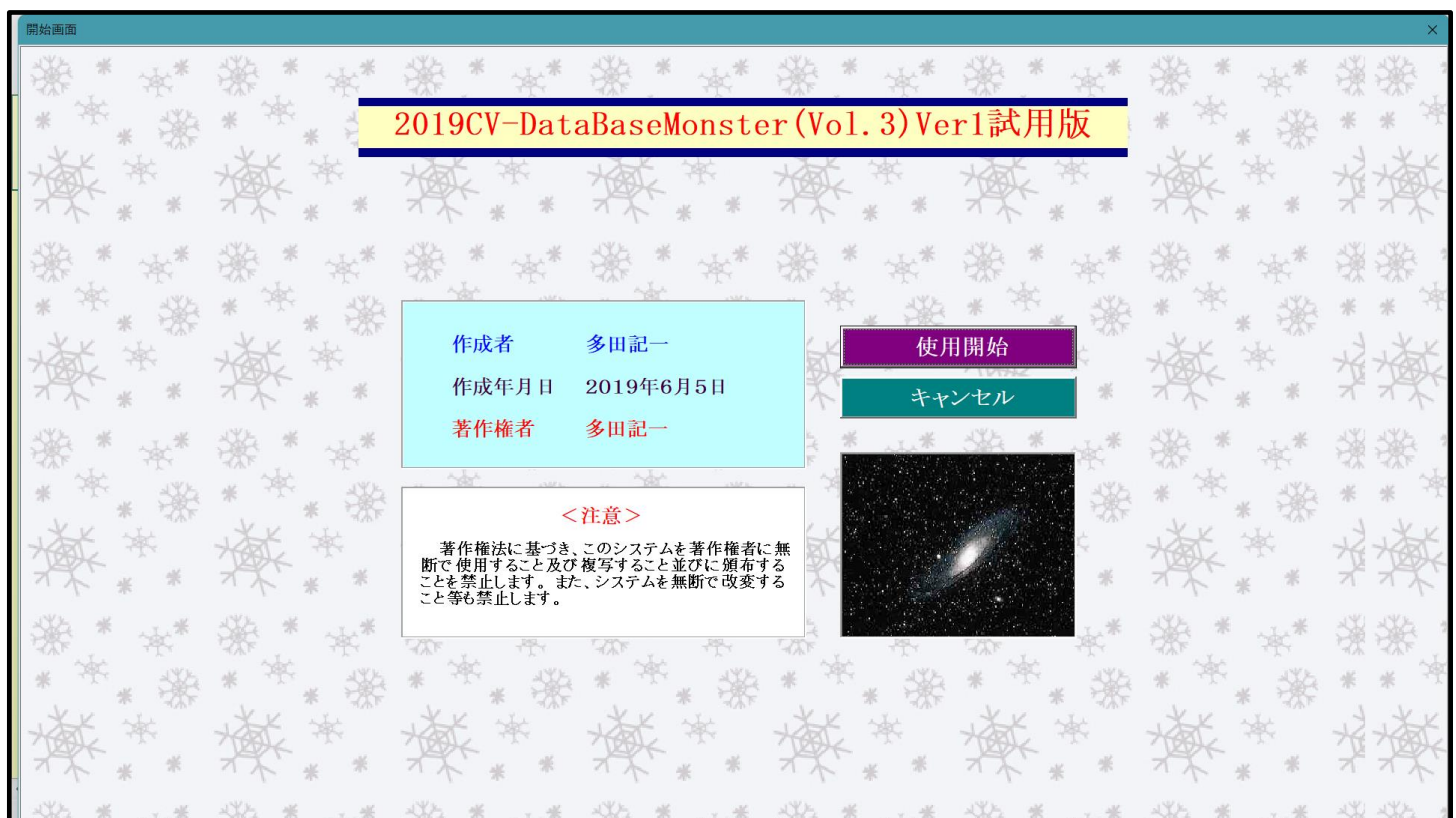
2019CV-DataBaseMonster試用制御ファイル.xlsm - Excel		
処理呼び出しボタン		
呼び出しファイルのドライブ・ディレクトリー及びファイル名		
区 分	DriveDirectory	FileName
CVDBMonsterVol.1	D:\2019excel database\メール送信機能付き新新4用試用版 Fexcel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1試用版.xlsm
CVDBMonsterVol.2	D:\2019excel database\メール送信機能付き新新4用試用版 Fexcel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1試用版.xlsm
CVDBMonsterVol.3	D:\2019excel database\メール送信機能付き新新4用試用版 Fexcel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1試用版.xlsm
CVDBMonsterVol.4	D:\2019excel database\メール送信機能付き新新4用試用版 Fexcel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1試用版.xlsm
CVDBMonsterControl	D:\2019excel database\メール送信機能付き新新4用試用版 Fexcel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster試用制御ファイル.xlsm
CVDBMonster システム名	2019CV-DataBaseMonster 試用版	

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」

を開く操作が開始されて、途中、選択ボタン **更新する(U)** をクリックして立ち上げ操作を実施していくと、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」
の立ち上がり画面である次の[図 9 0]面が表示されます。

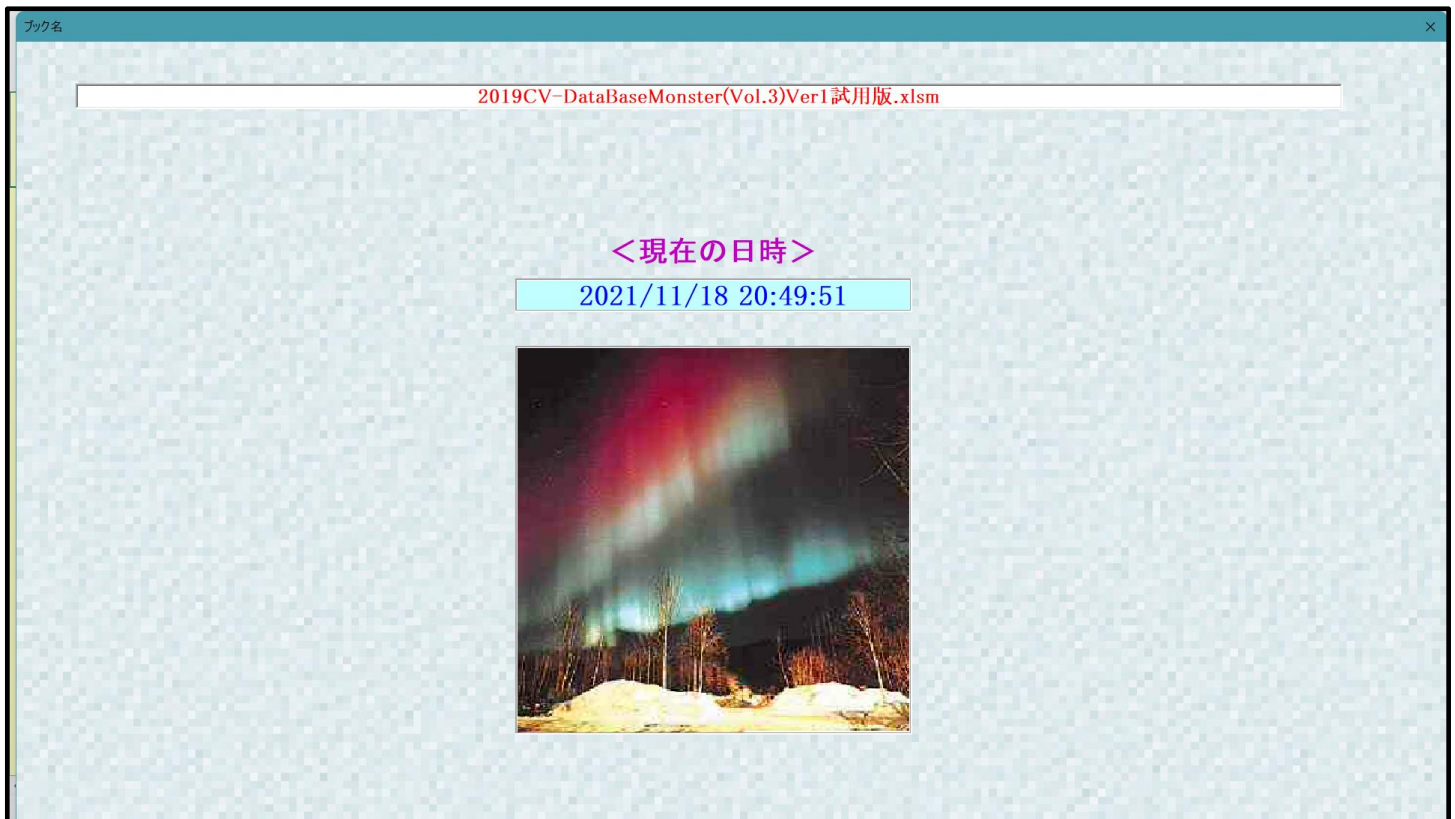
[図 9 0]



使用開始

ここで、上の[図 9 0]の画面でコマンドボタンをクリックすると、引き続き下の[図 9 1]の画面がしばらく表示された後、その下の[図 9 2]の画面が表示されます。

[図 9 1]



[図 9 2]



シート名設定

そして、上の[図 9 2]の画面のコマンドボタンをクリックすると、下の[図 9 3]の画面がしばらく表示された後、[図 9 4]の画面が表示され、さらに[図 9 5]の画面が表示されたら、ファイル

「2019V-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」

を開く処理が完了し、次のファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

を開く処理が開始されます。

[図 9 3]

2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

シート名設定

<注意> 変更するシート等の名前を入力した後は、直ちに上の「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」をクリックし、名前変更に対応したコマンドボタンを必ずクリックするかまたはシートのシート名変更NOの該当のセルを必ずダブルクリックして下さい。これを怠るとプログラムが誤作動し、システムが破壊される恐れがあります。

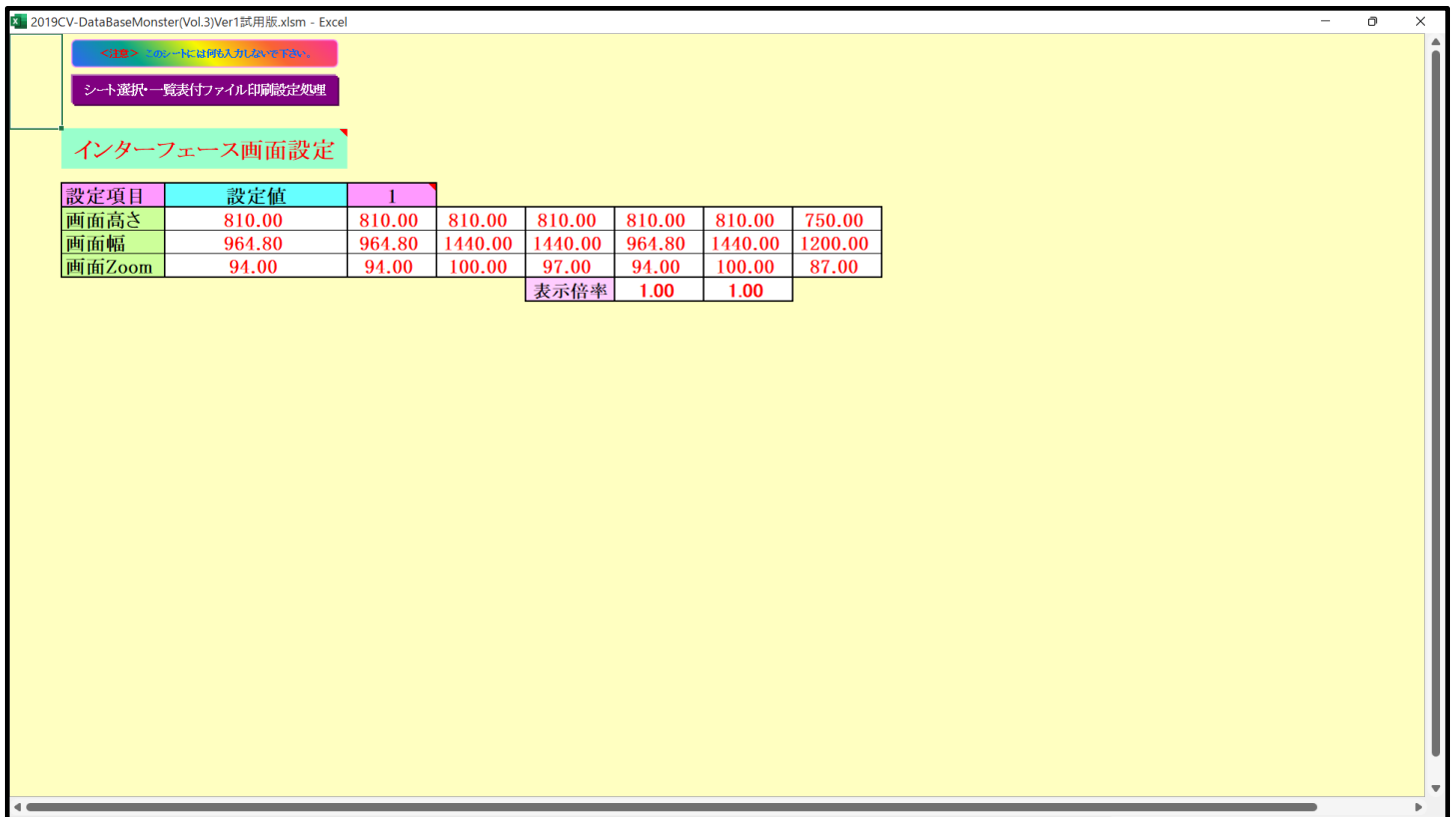
また、同じ名前や空白入力した場合及びシート名が無入力状態の場合もシステムが壊れる恐れもありますのでくれぐれもご注意下さい。

なお、「保護セル」のコメントが付いているセルには入力出来ませんのでご承知下さい。

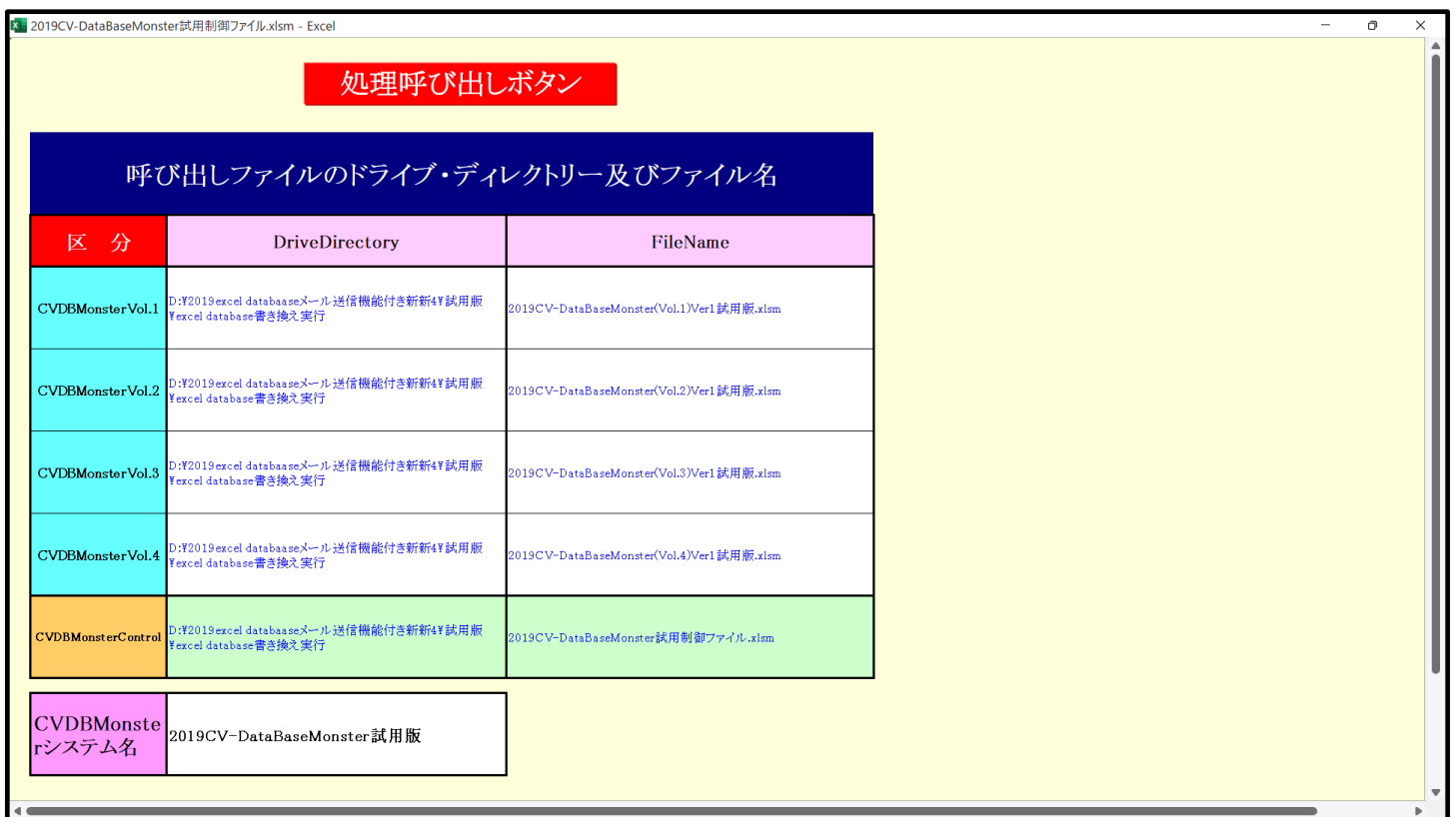
<注意> 追加項目表示

NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェース
1	シート名設定	52	入力AE4	101	入力DA3	151	印刷フォームシートデータ
2	項目表示入力A	53	入力AE5	102	入力DA4	152	印刷フォーム4シートデータ
3	項目表示入力B	54	入力AE6	103	入力DA5	153	印刷フォーム5シートデータ
4	項目表示入力C	55	入力AE7	104	入力DA6	154	印刷フォーム6シートデータ
5	項目表示入力D	56	入力AE8	105	入力DA7	155	印刷フォーム7シートデータ
6	項目表示作成A	57	入力AE9	106	入力DA8	156	印刷フォーム8シートデータ
7	項目表示作成B	58	入力AE10	107	入力DA9	157	印刷フォーム9シートデータ
8	項目表示作成C	59	入力BA1	108	入力DA10	158	印刷フォーム10シートデータ
9	項目表示作成D	60	入力BA2	109	入力DB1	159	印刷フォーム11シートデータ
10	行列入力項目A	61	入力BA3	110	入力DB2	160	印刷フォーム12シートデータ
11	行列入力項目B	62	入力BA4	111	入力DB3	161	印刷フォーム13シートデータ
12	行列入力項目C	63	入力BA5	112	入力DB4	162	印刷フォーム14シートデータ
13	行列入力項目D	64	入力BA6	113	入力DB5	163	印刷フォーム15シートデータ
14	一覧表付ファイル作成入力設定1	65	入力BA7	114	入力DB6	164	印刷フォーム16シートデータ
15	一覧表付ファイル作成入力設定2	66	入力BA8	115	入力DB7	165	印刷フォーム17シートデータ
16	一覧表付ファイル作成入力設定3	67	入力BA9	116	入力DB8	166	印刷フォーム18シートデータ
17	一覧表付ファイル作成入力設定4	68	入力BA10	117	入力DB9	167	印刷フォーム19シートデータ
18	一覧表付ファイル作成入力設定5	69	入力BB1	118	入力DB10	168	印刷フォーム20シートデータ
19	一覧表付ファイル作成入力設定6	70	入力BB2	119	印刷フォーム1	169	印刷フォーム21シートデータ
20	一覧表付ファイル作成入力設定7	71	入力BB3	120	印刷フォーム2	170	印刷フォーム22シートデータ
21	一覧表付ファイル作成入力設定8	72	入力BB4	121	印刷フォーム3	171	印刷フォーム23シートデータ
22	一覧表付ファイル作成入力設定9	73	入力BB5	122	印刷フォーム4	172	印刷フォーム24シートデータ
23	一覧表付ファイル作成入力設定10	74	入力BB6	123	印刷フォーム5	173	印刷フォーム25シートデータ
24	一覧表付ファイル作成入力設定11	75	入力BB7	124	印刷フォーム6	174	印刷フォーム26シートデータ
25	一覧表付ファイル作成入力設定12	76	入力BB8	125	印刷フォーム7	175	印刷フォーム27シートデータ
26	一覧表付ファイル作成入力設定13	77	入力BB9	126	印刷フォーム8	176	印刷フォーム28シートデータ
27	一覧表付ファイル作成入力設定14	78	入力BB10	127	印刷フォーム9	177	印刷フォーム29シートデータ
28	一覧表付ファイル作成入力設定15	79	入力CA1	128	印刷フォーム10	178	印刷フォーム30シートデータ
29	一覧表付ファイル作成入力設定16	80	入力CA2	129	印刷フォーム11	179	一覧表付ファイル作成入力
30	一覧表付ファイル作成入力設定17	81	入力CA3	130	印刷フォーム12	180	一覧表付ファイル作成入力
31	一覧表付ファイル作成入力設定18	82	入力CA4	131	印刷フォーム13	181	一覧表付ファイル作成入力
32	一覧表付ファイル作成入力設定19	83	入力CA5	132	印刷フォーム14	182	一覧表付ファイル作成入力
33	一覧表付ファイル作成入力設定20	84	入力CA6	133	印刷フォーム15	183	一覧表付ファイル作成入力
34	4結合ファイル作成コピー用	85	入力CA7	134	印刷フォーム16	184	一覧表付ファイル作成入力
35	ファイル作成コピー用A	86	入力CA8	135	印刷フォーム17	185	一覧表付ファイル作成入力
36	ファイル作成コピー用B	87	入力CA9	136	印刷フォーム18	186	一覧表付ファイル作成入力
37	ファイル作成コピー用C			137	印刷フォーム19	187	一覧表付ファイル作成入力

[図 9 4]



[図 9 5]



そして、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

が開くと、このファイルの立ち上がり画面である下の[図 9 6]の画面が表示されます。

[図 9 6]



使用開始

上の[図 9 6]の画面のコマンドボタン「使用開始」をクリックすると、引き続き下の[図 9 7]の画面「**2019CV-DataBaseMonster (Vol. 4) Ver1 試用版.xlsm**」がしばらく表示された後、その下の[図 9 8]の画面が表示されます。

[図 9 7]



【図 9 8】

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BABB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択 | 進

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
セルの広範囲選択呼出	CV-DataBaseMonster制御	キャンセル	システム終了

シート名設定

そして、上の【図 9 8】の画面のコマンドボタン「シート名設定」をクリックすると、下の【図 9 9】の画面がしばらく表示された後、【図 1 0 0】の画面が表示され、さらに【図 1 0 1】の画面が表示されたら、ファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」を開く処理が完了します。

【図 9 9】

2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1試用版.xlsm - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

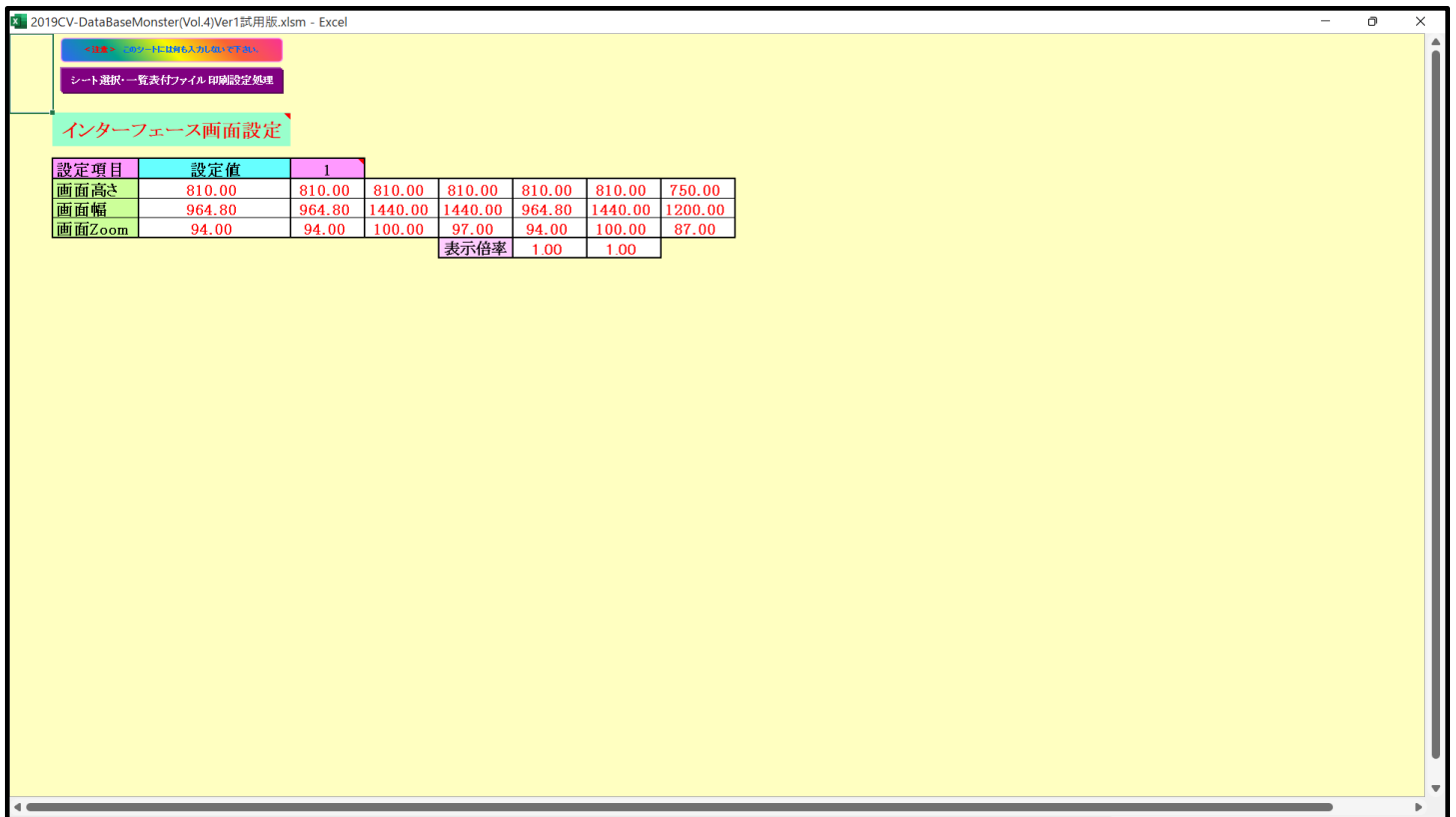
シート名設定

<注意> 変更するシート等の名前を入力した後は、直ちに上の「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」をクリックし、名前変更に対応したコマンドボタンを必ずクリックするかまたはシートのシート名変更NOの該当のセルを必ずダブルクリックして下さい。これを怠るとプログラムが誤作動し、システムが破壊される恐れがあります。
また、同じ名前や空白を入力した場合及びシート名が無入力状態の場合もシステムが壊れる恐れもありますのでくれぐれもご注意下さい。
なお、「保護セル」のコメントが付いているセルには入力出来ませんのでご承知下さい。

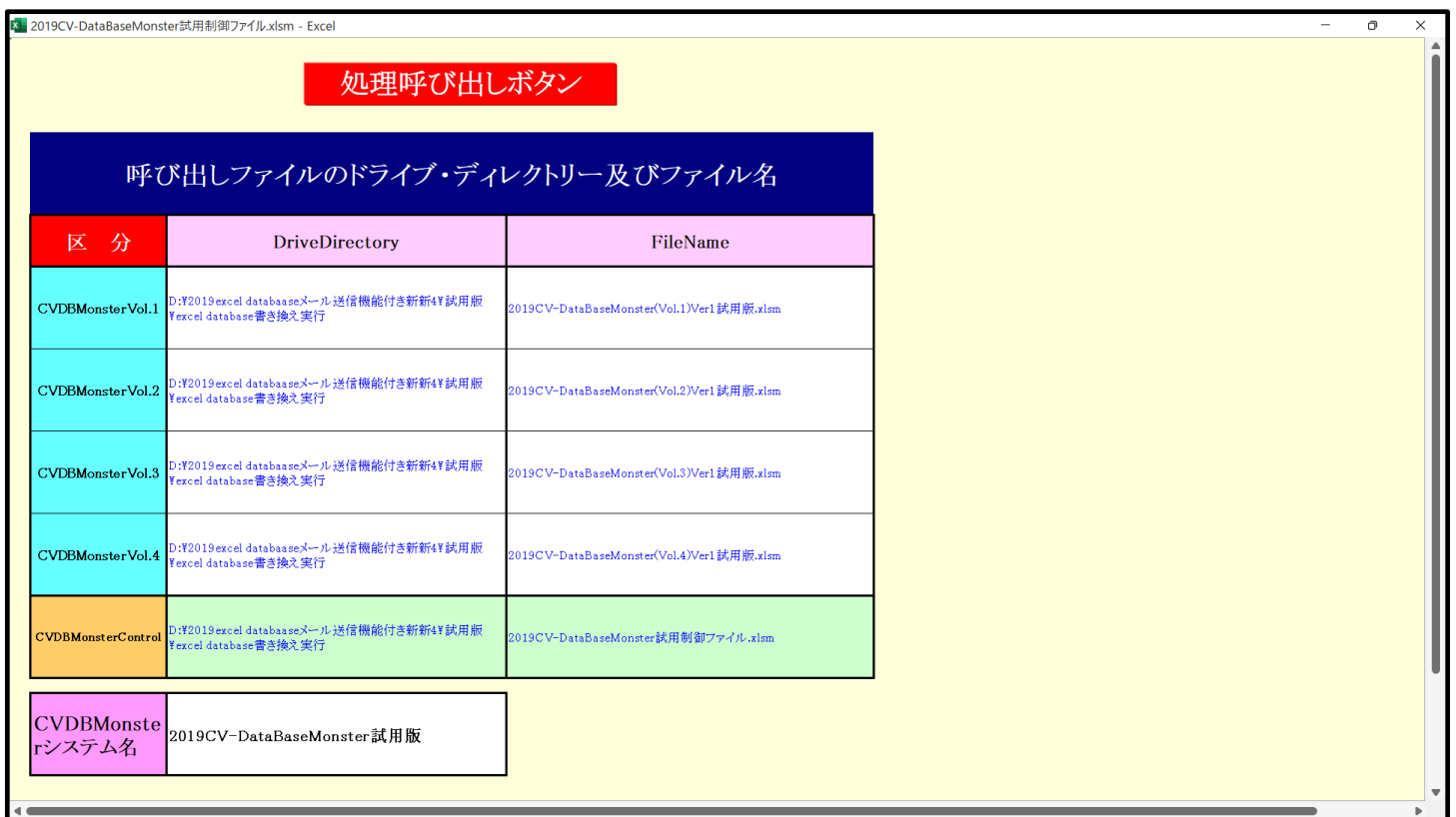
<注意> 追加項目表示

NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名
1	シート名設定	51	入力AE3	101	入力DA3	151	印刷フォーム3ノードデータ
2	項目表示入力A	52	入力AE4	102	入力DA4	152	印刷フォーム4ノードデータ
3	項目表示入力B	53	入力AE5	103	入力DA5	153	印刷フォーム5ノードデータ
4	項目表示入力C	54	入力AE6	104	入力DA6	154	印刷フォーム6ノードデータ
5	項目表示入力D	55	入力AE7	105	入力DA7	155	印刷フォーム7ノードデータ
6	項目表示作成A	56	入力AE8	106	入力DA8	156	印刷フォーム8ノードデータ
7	項目表示作成B	57	入力AE9	107	入力DA9	157	印刷フォーム9ノードデータ
8	項目表示作成C	58	入力AE10	108	入力DA10	158	印刷フォーム10ノードデータ
9	項目表示作成D	59	入力BA1	109	入力DB1	159	印刷フォーム11ノードデータ
10	行列入力項目A	60	入力BA2	110	入力DB2	160	印刷フォーム12ノードデータ
11	行列入力項目B	61	入力BA3	111	入力DB3	161	印刷フォーム13ノードデータ
12	行列入力項目C	62	入力BA4	112	入力DB4	162	印刷フォーム14ノードデータ
13	行列入力項目D	63	入力BA5	113	入力DB5	163	印刷フォーム15ノードデータ
14	一覧表付ファイル作成入力設定1	64	入力BA6	114	入力DB6	164	印刷フォーム16ノードデータ
15	一覧表付ファイル作成入力設定2	65	入力BA7	115	入力DB7	165	印刷フォーム17ノードデータ
16	一覧表付ファイル作成入力設定3	66	入力BA8	116	入力DB8	166	印刷フォーム18ノードデータ
17	一覧表付ファイル作成入力設定4	67	入力BA9	117	入力DB9	167	印刷フォーム19ノードデータ
18	一覧表付ファイル作成入力設定5	68	入力BA10	118	入力DB10	168	印刷フォーム20ノードデータ
19	一覧表付ファイル作成入力設定6	69	入力BE1	119	印刷フォーム1	169	印刷フォーム21ノードデータ
20	一覧表付ファイル作成入力設定7	70	入力BE2	120	印刷フォーム2	170	印刷フォーム22ノードデータ
21	一覧表付ファイル作成入力設定8	71	入力BE3	121	印刷フォーム3	171	印刷フォーム23ノードデータ
22	一覧表付ファイル作成入力設定9	72	入力BE4	122	印刷フォーム4	172	印刷フォーム24ノードデータ
23	一覧表付ファイル作成入力設定10	73	入力BE5	123	印刷フォーム5	173	印刷フォーム25ノードデータ
24	一覧表付ファイル作成入力設定11	74	入力BE6	124	印刷フォーム6	174	印刷フォーム26ノードデータ
25	一覧表付ファイル作成入力設定12	75	入力BE7	125	印刷フォーム7	175	印刷フォーム27ノードデータ
26	一覧表付ファイル作成入力設定13	76	入力BE8	126	印刷フォーム8	176	印刷フォーム28ノードデータ
27	一覧表付ファイル作成入力設定14	77	入力BE9	127	印刷フォーム9	177	印刷フォーム29ノードデータ
28	一覧表付ファイル作成入力設定15	78	入力BE10	128	印刷フォーム10	178	印刷フォーム30ノードデータ
29	一覧表付ファイル作成入力設定16	79	入力CA1	129	印刷フォーム11	179	一覧表付ファイル作成入力設定1
30	一覧表付ファイル作成入力設定17	80	入力CA2	130	印刷フォーム12	180	一覧表付ファイル作成入力設定2
31	一覧表付ファイル作成入力設定18	81	入力CA3	131	印刷フォーム13	181	一覧表付ファイル作成入力設定3
32	一覧表付ファイル作成入力設定19	82	入力CA4	132	印刷フォーム14	182	一覧表付ファイル作成入力設定4
33	一覧表付ファイル作成入力設定20	83	入力CA5	133	印刷フォーム15	183	一覧表付ファイル作成入力設定5
34	4結合ファイル作成コピー用	84	入力CA6	134	印刷フォーム16	184	一覧表付ファイル作成入力設定6
35	ファイル作成コピー用A	85	入力CA7	135	印刷フォーム17	185	一覧表付ファイル作成入力設定7
36	ファイル作成コピー用B	86	入力CA8	136	印刷フォーム18	186	一覧表付ファイル作成入力設定8
37	ファイル作成コピー用C	87	入力CA9	137	印刷フォーム19	187	一覧表付ファイル作成入力設定9

【図 1 0 0】



【図 1 0 1】



以上で 4 個のファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

を連続的に一括して開く操作が完了します。

5. 登録書き換え後の「2019CV-DataBaseMonsterVer1 試用版の
セットファイル」のリンクの編集
4 個のファイル

- 「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」
- 「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」
- 「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」
- 「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

は関数でリンクされています。これらのこれら 4 個の「2019CV-DataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルはファイル「2019CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」を用いて全て開いて利用する際、初回開いた段階でリンクの編集をおこなう必要があります。

リンクの編集をおこなう場合、能率よく短時間で済ませるために、ファイル「2019CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」を用いて上の 4 個のファイル全て開いたうえで済ませてください。上のファイルを個別に開いてリンクの編集をおこなうと、膨大な時間が必要となります。

次の[図 1 0 2]はファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」のシート「4結合ファイル作成コピー用」の画面で、シート「4結合ファイル作成コピー用」は3個のファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」とシート関数によってリンクされています。

[図 1 0 2]

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

<注意> このシートには入力できません。

4結合ファイル作成コピー用

シート保護解除

入力項目表示とデータ表示の切替 →

1

入力項目表示は1、データ表示は2を入力

1

対象1

Vol	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13
Vol.1	行1	内容1.1	内容1.2	内容1.3	内容1.4	内容1.5	内容1.6	内容1.7	内容1.8	内容1.9	内容1.10	内容1.11	内容1.12
Vol.1	行2	内容2.1	内容2.2	内容2.3	内容2.4	内容2.5	内容2.6	内容2.7	内容2.8	内容2.9	内容2.10	内容2.11	内容2.12
Vol.1	行3	内容3.1	内容3.2	内容3.3	内容3.4	内容3.5	内容3.6	内容3.7	内容3.8	内容3.9	内容3.10	内容3.11	内容3.12
Vol.1	行4	内容4.1	内容4.2	内容4.3	内容4.4	内容4.5	内容4.6	内容4.7	内容4.8	内容4.9	内容4.10	内容4.11	内容4.12
Vol.1	行5	内容5.1	内容5.2	内容5.3	内容5.4	内容5.5	内容5.6	内容5.7	内容5.8	内容5.9	内容5.10	内容5.11	内容5.12
Vol.1	行6	内容6.1	内容6.2	内容6.3	内容6.4	内容6.5	内容6.6	内容6.7	内容6.8	内容6.9	内容6.10	内容6.11	内容6.12
Vol.1	行7	内容7.1	内容7.2	内容7.3	内容7.4	内容7.5	内容7.6	内容7.7	内容7.8	内容7.9	内容7.10	内容7.11	内容7.12
Vol.1	行8	内容8.1	内容8.2	内容8.3	内容8.4	内容8.5	内容8.6	内容8.7	内容8.8	内容8.9	内容8.10	内容8.11	内容8.12
Vol.1	行9	内容9.1	内容9.2	内容9.3	内容9.4	内容9.5	内容9.6	内容9.7	内容9.8	内容9.9	内容9.10	内容9.11	内容9.12
Vol.1	行10	内容10.1	内容10.2	内容10.3	内容10.4	内容10.5	内容10.6	内容10.7	内容10.8	内容10.9	内容10.10	内容10.11	内容10.12
Vol.1	行11	内容11.1	内容11.2	内容11.3	内容11.4	内容11.5	内容11.6	内容11.7	内容11.8	内容11.9	内容11.10	内容11.11	内容11.12
Vol.1	行12	内容12.1	内容12.2	内容12.3	内容12.4	内容12.5	内容12.6	内容12.7	内容12.8	内容12.9	内容12.10	内容12.11	内容12.12
Vol.1	行13	内容13.1	内容13.2	内容13.3	内容13.4	内容13.5	内容13.6	内容13.7	内容13.8	内容13.9	内容13.10	内容13.11	内容13.12
Vol.1	行14	内容14.1	内容14.2	内容14.3	内容14.4	内容14.5	内容14.6	内容14.7	内容14.8	内容14.9	内容14.10	内容14.11	内容14.12
Vol.1	行15	内容15.1	内容15.2	内容15.3	内容15.4	内容15.5	内容15.6	内容15.7	内容15.8	内容15.9	内容15.10	内容15.11	内容15.12
Vol.1	行16	内容16.1	内容16.2	内容16.3	内容16.4	内容16.5	内容16.6	内容16.7	内容16.8	内容16.9	内容16.10	内容16.11	内容16.12
Vol.1	行17	内容17.1	内容17.2	内容17.3	内容17.4	内容17.5	内容17.6	内容17.7	内容17.8	内容17.9	内容17.10	内容17.11	内容17.12
Vol.1	行18	内容18.1	内容18.2	内容18.3	内容18.4	内容18.5	内容18.6	内容18.7	内容18.8	内容18.9	内容18.10	内容18.11	内容18.12
Vol.1	行19	内容19.1	内容19.2	内容19.3	内容19.4	内容19.5	内容19.6	内容19.7	内容19.8	内容19.9	内容19.10	内容19.11	内容19.12
Vol.1	行20	内容20.1	内容20.2	内容20.3	内容20.4	内容20.5	内容20.6	内容20.7	内容20.8	内容20.9	内容20.10	内容20.11	内容20.12
Vol.1	行21	内容21.1	内容21.2	内容21.3	内容21.4	内容21.5	内容21.6	内容21.7	内容21.8	内容21.9	内容21.10	内容21.11	内容21.12
Vol.1	行22	内容22.1	内容22.2	内容22.3	内容22.4	内容22.5	内容22.6	内容22.7	内容22.8	内容22.9	内容22.10	内容22.11	内容22.12
Vol.1	行23	内容23.1	内容23.2	内容23.3	内容23.4	内容23.5	内容23.6	内容23.7	内容23.8	内容23.9	内容23.10	内容23.11	内容23.12
Vol.1	行24	内容24.1	内容24.2	内容24.3	内容24.4	内容24.5	内容24.6	内容24.7	内容24.8	内容24.9	内容24.10	内容24.11	内容24.12
Vol.1	行25	内容25.1	内容25.2	内容25.3	内容25.4	内容25.5	内容25.6	内容25.7	内容25.8	内容25.9	内容25.10	内容25.11	内容25.12
Vol.1	行26	内容26.1	内容26.2	内容26.3	内容26.4	内容26.5	内容26.6	内容26.7	内容26.8	内容26.9	内容26.10	内容26.11	内容26.12
Vol.1	行27	内容27.1	内容27.2	内容27.3	内容27.4	内容27.5	内容27.6	内容27.7	内容27.8	内容27.9	内容27.10	内容27.11	内容27.12
Vol.1	行28	内容28.1	内容28.2	内容28.3	内容28.4	内容28.5	内容28.6	内容28.7	内容28.8	内容28.9	内容28.10	内容28.11	内容28.12
Vol.1	行29	内容29.1	内容29.2	内容29.3	内容29.4	内容29.5	内容29.6	内容29.7	内容29.8	内容29.9	内容29.10	内容29.11	内容29.12
Vol.1	行30	内容30.1	内容30.2	内容30.3	内容30.4	内容30.5	内容30.6	内容30.7	内容30.8	内容30.9	内容30.10	内容30.11	内容30.12

上の[図 1 0 2]の画面のシートでコマンドボタン「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」をクリックすると次の[図 1 0 3]の画面が表示されますが、この画面でコマンドボタン「標準画面表示」をクリックすると、全画面が終了されシート「4結合ファイル作成コピー用」はその下の[図 1 0 4]の画面のようになります。

【図 1 0 3】

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BABB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択 | 進 |

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示 全画面表示 シート見出し表示 シート見出し非表示

セルの広範囲選択呼出 CV-DataBaseMonster制御 キャンセル システム終了

【図 1 0 4】

自動保存 オフ 2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1試用版.xls 検索 (Alt+Q) 多田 記一

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ コメント 共有

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

<注意> このシートには入力できません。

4結合ファイル作成コピー用 シート保護解除

入力項目表示とデータ表示の切替 → 1

入力項目表示は1, データ表示は2を入力

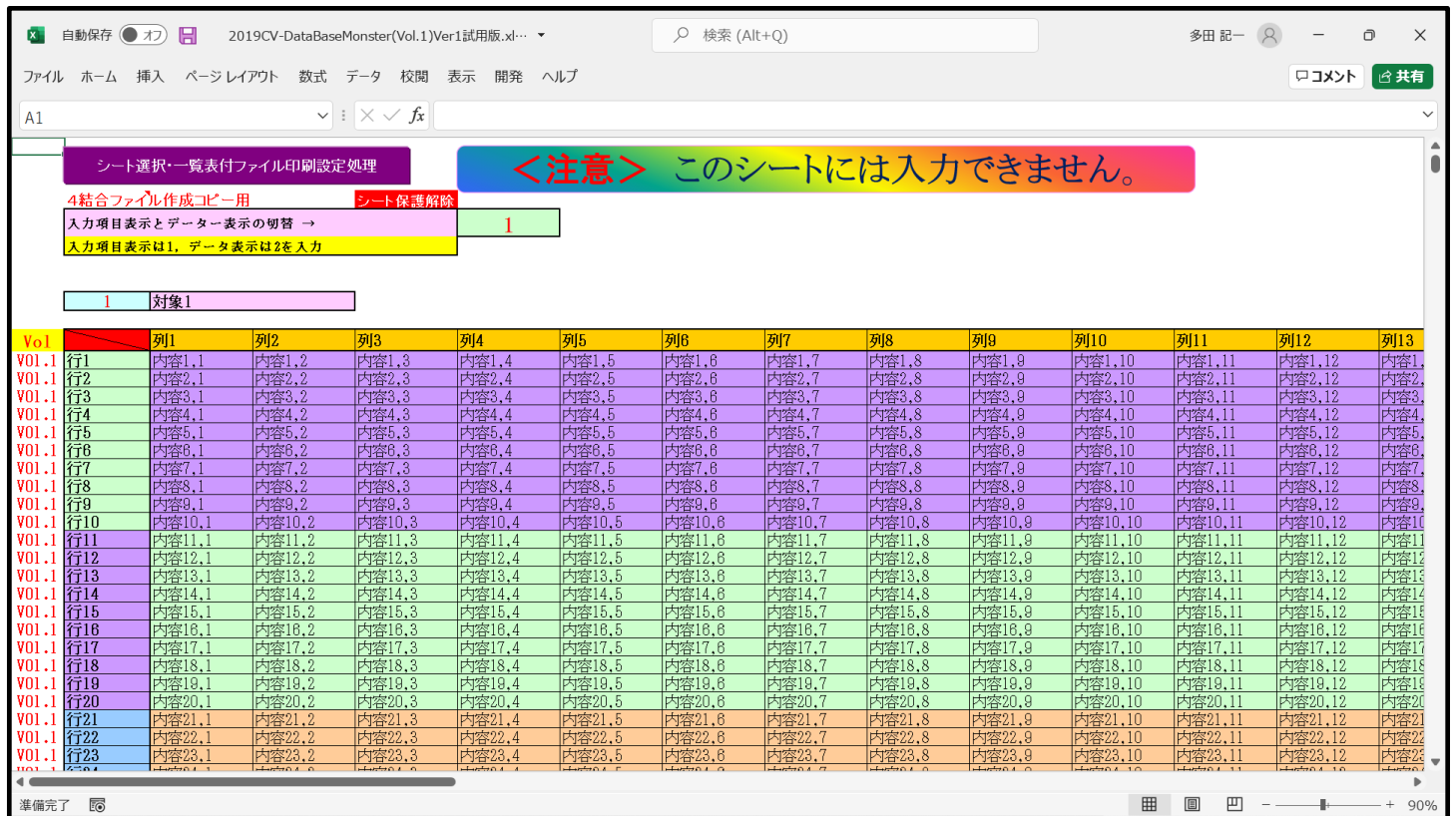
1 対象1

Vol	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13
Vol.1	行1	内容1.1	内容1.2	内容1.3	内容1.4	内容1.5	内容1.6	内容1.7	内容1.8	内容1.9	内容1.10	内容1.11	内容1.12
Vol.1	行2	内容2.1	内容2.2	内容2.3	内容2.4	内容2.5	内容2.6	内容2.7	内容2.8	内容2.9	内容2.10	内容2.11	内容2.12
Vol.1	行3	内容3.1	内容3.2	内容3.3	内容3.4	内容3.5	内容3.6	内容3.7	内容3.8	内容3.9	内容3.10	内容3.11	内容3.12
Vol.1	行4	内容4.1	内容4.2	内容4.3	内容4.4	内容4.5	内容4.6	内容4.7	内容4.8	内容4.9	内容4.10	内容4.11	内容4.12
Vol.1	行5	内容5.1	内容5.2	内容5.3	内容5.4	内容5.5	内容5.6	内容5.7	内容5.8	内容5.9	内容5.10	内容5.11	内容5.12
Vol.1	行6	内容6.1	内容6.2	内容6.3	内容6.4	内容6.5	内容6.6	内容6.7	内容6.8	内容6.9	内容6.10	内容6.11	内容6.12
Vol.1	行7	内容7.1	内容7.2	内容7.3	内容7.4	内容7.5	内容7.6	内容7.7	内容7.8	内容7.9	内容7.10	内容7.11	内容7.12
Vol.1	行8	内容8.1	内容8.2	内容8.3	内容8.4	内容8.5	内容8.6	内容8.7	内容8.8	内容8.9	内容8.10	内容8.11	内容8.12
Vol.1	行9	内容9.1	内容9.2	内容9.3	内容9.4	内容9.5	内容9.6	内容9.7	内容9.8	内容9.9	内容9.10	内容9.11	内容9.12
Vol.1	行10	内容10.1	内容10.2	内容10.3	内容10.4	内容10.5	内容10.6	内容10.7	内容10.8	内容10.9	内容10.10	内容10.11	内容10.12
Vol.1	行11	内容11.1	内容11.2	内容11.3	内容11.4	内容11.5	内容11.6	内容11.7	内容11.8	内容11.9	内容11.10	内容11.11	内容11.12
Vol.1	行12	内容12.1	内容12.2	内容12.3	内容12.4	内容12.5	内容12.6	内容12.7	内容12.8	内容12.9	内容12.10	内容12.11	内容12.12
Vol.1	行13	内容13.1	内容13.2	内容13.3	内容13.4	内容13.5	内容13.6	内容13.7	内容13.8	内容13.9	内容13.10	内容13.11	内容13.12
Vol.1	行14	内容14.1	内容14.2	内容14.3	内容14.4	内容14.5	内容14.6	内容14.7	内容14.8	内容14.9	内容14.10	内容14.11	内容14.12
Vol.1	行15	内容15.1	内容15.2	内容15.3	内容15.4	内容15.5	内容15.6	内容15.7	内容15.8	内容15.9	内容15.10	内容15.11	内容15.12
Vol.1	行16	内容16.1	内容16.2	内容16.3	内容16.4	内容16.5	内容16.6	内容16.7	内容16.8	内容16.9	内容16.10	内容16.11	内容16.12
Vol.1	行17	内容17.1	内容17.2	内容17.3	内容17.4	内容17.5	内容17.6	内容17.7	内容17.8	内容17.9	内容17.10	内容17.11	内容17.12
Vol.1	行18	内容18.1	内容18.2	内容18.3	内容18.4	内容18.5	内容18.6	内容18.7	内容18.8	内容18.9	内容18.10	内容18.11	内容18.12
Vol.1	行19	内容19.1	内容19.2	内容19.3	内容19.4	内容19.5	内容19.6	内容19.7	内容19.8	内容19.9	内容19.10	内容19.11	内容19.12
Vol.1	行20	内容20.1	内容20.2	内容20.3	内容20.4	内容20.5	内容20.6	内容20.7	内容20.8	内容20.9	内容20.10	内容20.11	内容20.12
Vol.1	行21	内容21.1	内容21.2	内容21.3	内容21.4	内容21.5	内容21.6	内容21.7	内容21.8	内容21.9	内容21.10	内容21.11	内容21.12
Vol.1	行22	内容22.1	内容22.2	内容22.3	内容22.4	内容22.5	内容22.6	内容22.7	内容22.8	内容22.9	内容22.10	内容22.11	内容22.12
Vol.1	行23	内容23.1	内容23.2	内容23.3	内容23.4	内容23.5	内容23.6	内容23.7	内容23.8	内容23.9	内容23.10	内容23.11	内容23.12
Vol.1	行24	内容24.1	内容24.2	内容24.3	内容24.4	内容24.5	内容24.6	内容24.7	内容24.8	内容24.9	内容24.10	内容24.11	内容24.12
Vol.1	行25	内容25.1	内容25.2	内容25.3	内容25.4	内容25.5	内容25.6	内容25.7	内容25.8	内容25.9	内容25.10	内容25.11	内容25.12
Vol.1	行26	内容26.1	内容26.2	内容26.3	内容26.4	内容26.5	内容26.6	内容26.7	内容26.8	内容26.9	内容26.10	内容26.11	内容26.12

準備完了 90%

シート「4結合ファイル作成コピー用」を上図の状態にし、タブ **表示** を選択し、☒ **数式バー** のようにチェックを入れ、**シート保護解除** のセルを選択しダブルクリックするとシート「4結合ファイル作成コピー用」の保護が解除されてリンクの編集が可能となります。シート「4結合ファイル作成コピー用」をこのようにリンクの編集が可能な状態にしたのが下図です。

【図 1 0 5】



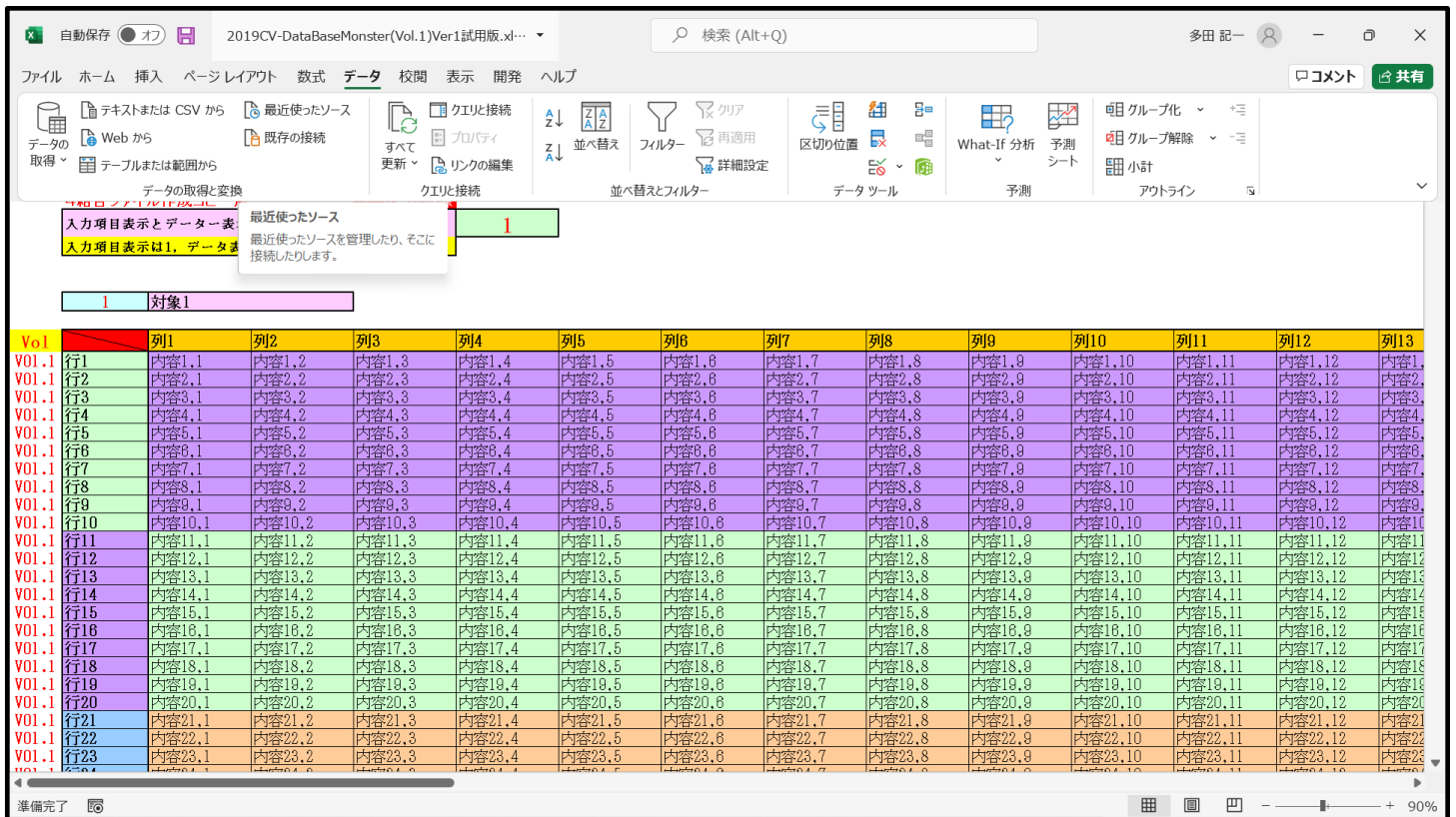
上の【図105】の画面で、A 列 12 行から A 列 1611 行のセルに「VOL.1」、「VOL.2」、「VOL.3」、「VOL.4」がそれぞれ 400 個ずつ入力されています。そして、
「VOL.1」と入力されているセルのすぐ右隣の B 列～AP 列のセルには、ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」の入力シートのデーターを参照する関数が入力されなければなりません。また、
「VOL.2」と入力されているセルのすぐ右隣の B 列～AP 列のセルには、ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」をリンク元にする関数が、
「VOL.3」と入力されているセルのすぐ右隣の B 列～AP 列のセルには、ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」をリンク元にする関数が、
「VOL.4」と入力されているセルのすぐ右隣の B 列～AP 列のセルには、ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」をリンク元にする関数が、それぞれ入力されなければなりません。

上の【図105】の画面において **データ** を選択すると次の【図106】の画面のようになりますが、更に【図106】の画

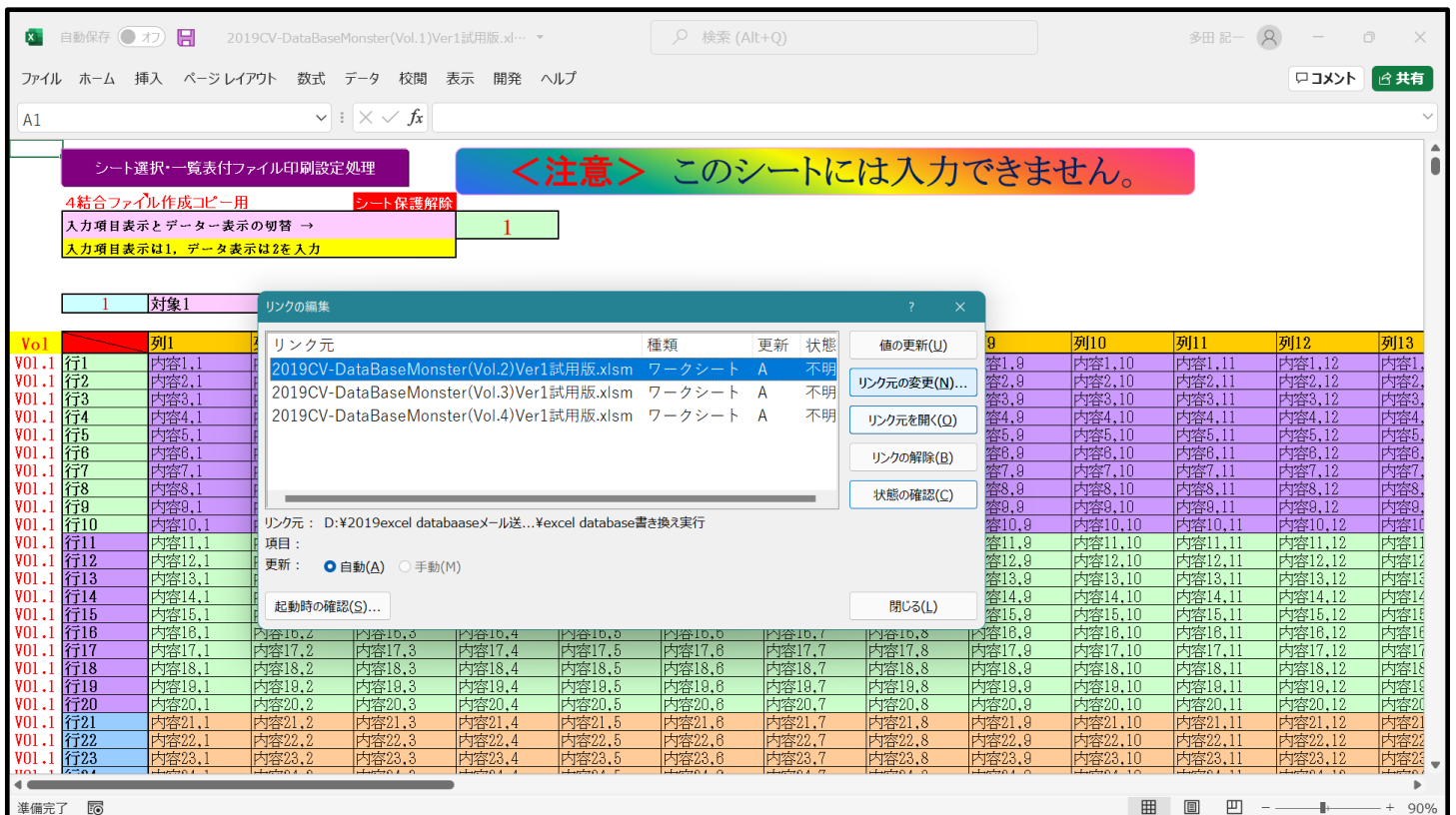
面で **リンクの編集** をクリックするとその下の【図107】の画面になり、リンクの編集が可能となります。

下の【図107】の画面は、あくまでもこのマニュアル編集者がマニュアル作成のためにおこなった場合のものであって、システムの利用者がおこなう場合には、この画面と異なったものになる場合もあります。以下の説明では、リンク元の状況が下の【図107】の画面のようになっていることを仮定して話を進めてまいりますのでご了解ください。

【図 1 0 6】



【図 1 0 7】



上の【図 1 0 7】のリンク編集ウィンドウのリンク元の部分を見易くすると次のようになります。

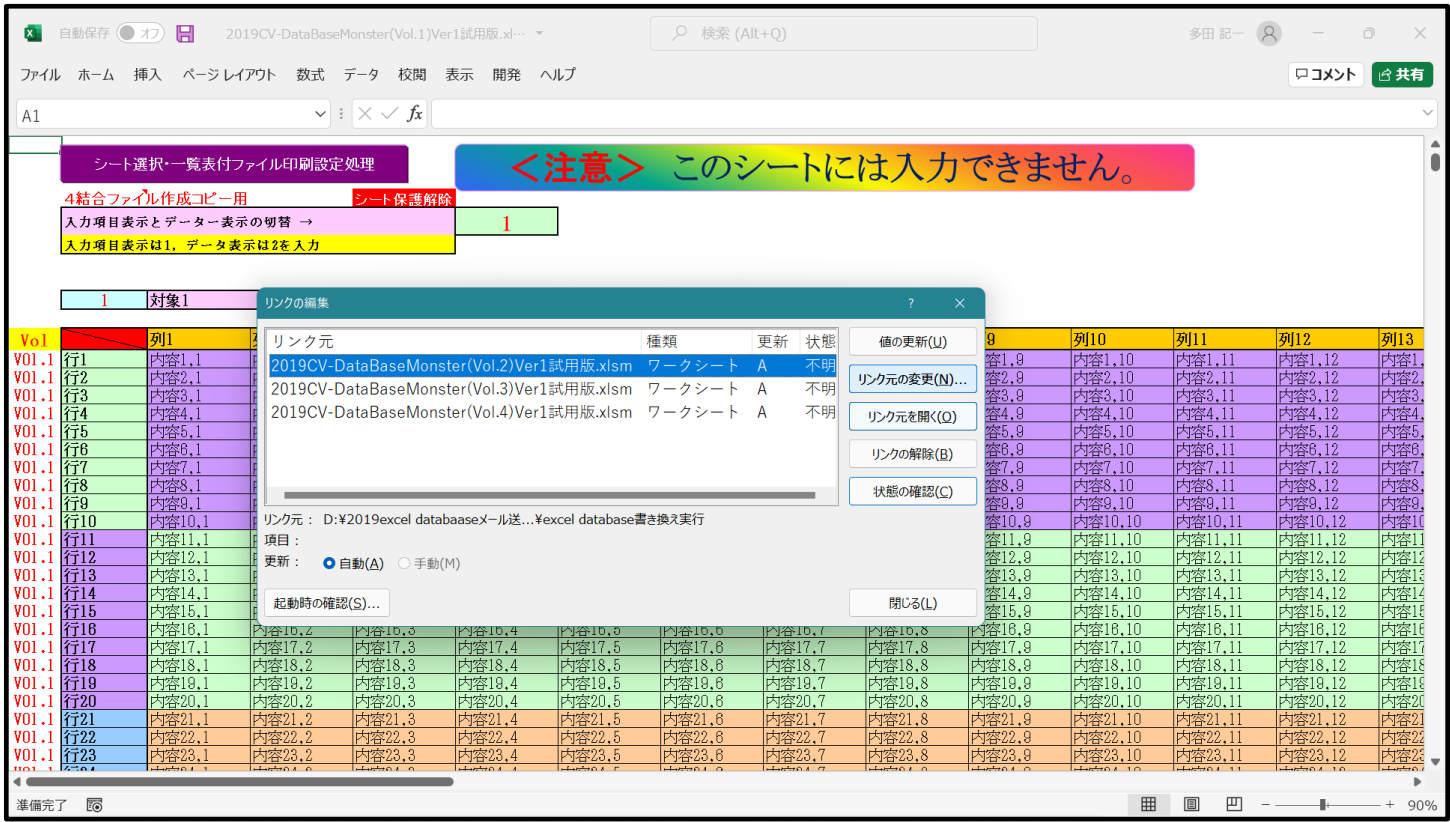
リンク元	種類	更新	状態	値の更新(U)
2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1試用版.xlsm	ワークシート	A	不明	
2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1試用版.xlsm	ワークシート	A	不明	リンク元の変更(N)...
2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1試用版.xlsm	ワークシート	A	不明	リンク元を開く(O)
				リンクの解除(B)
				状態の確認(C)

まず、次の[図 1 0 8]の画面のように

2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1試用版.xlsm	ワークシート	A
---	--------	---

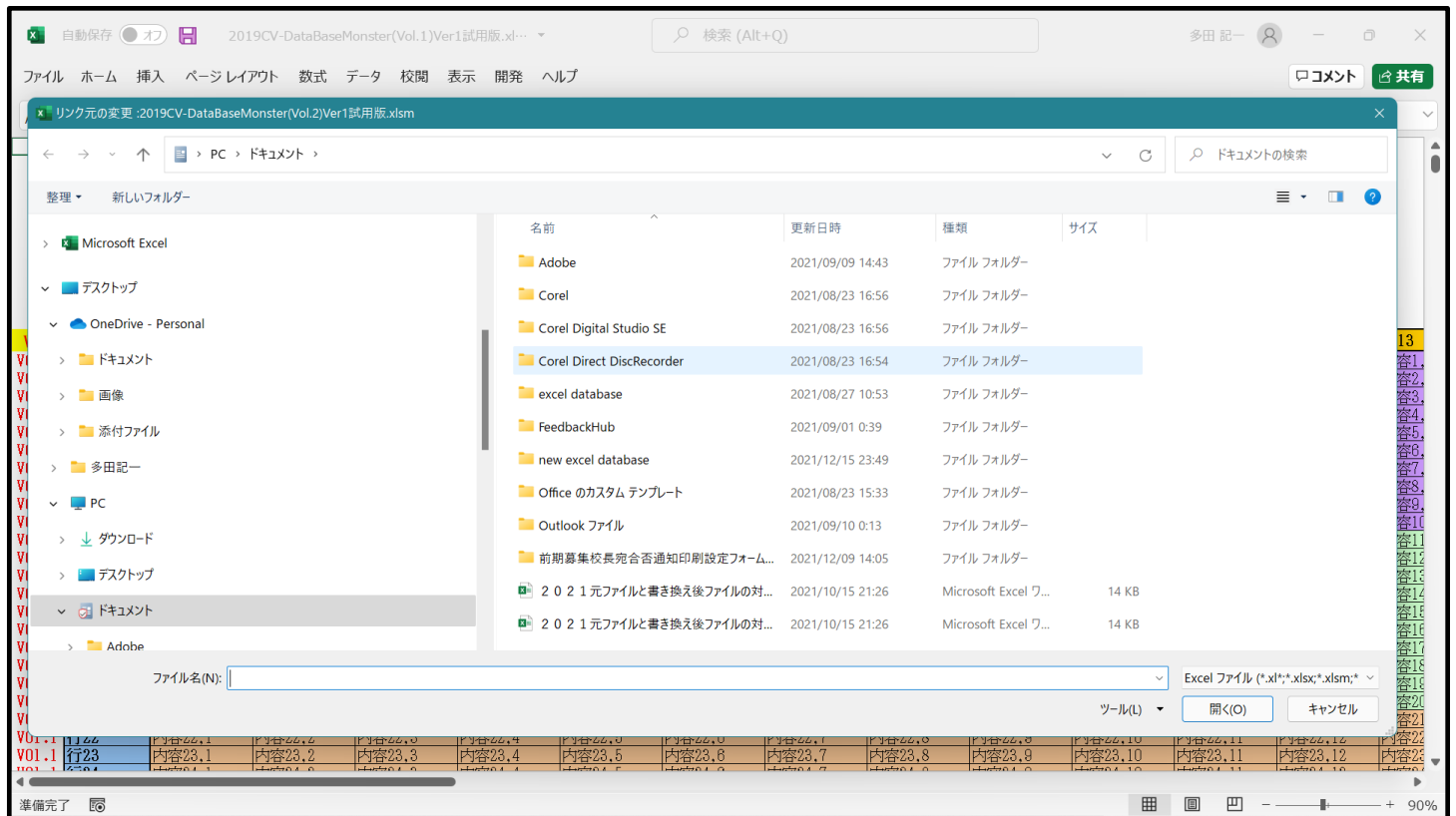
を選択します。

[図 1 0 8]



上の[図 1 0 8]の画面の「リンク元の変更(N)...」をクリックすると次の[図 1 0 9]の画面のようになり、リンク元の「ドライブ」、「フォルダー」、「ファイル」を選択・変更することができるようになります。

【図 1 0 9】



いま、ここで開いているファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」

の「ドライブ」、「フォルダー」はそれぞれ

「D」、「¥2019excel databaase メール送信機能付き新新 5¥試用版¥excel database 書き換え実行」

となっていますので、上の【図 1 0 9】の状態から

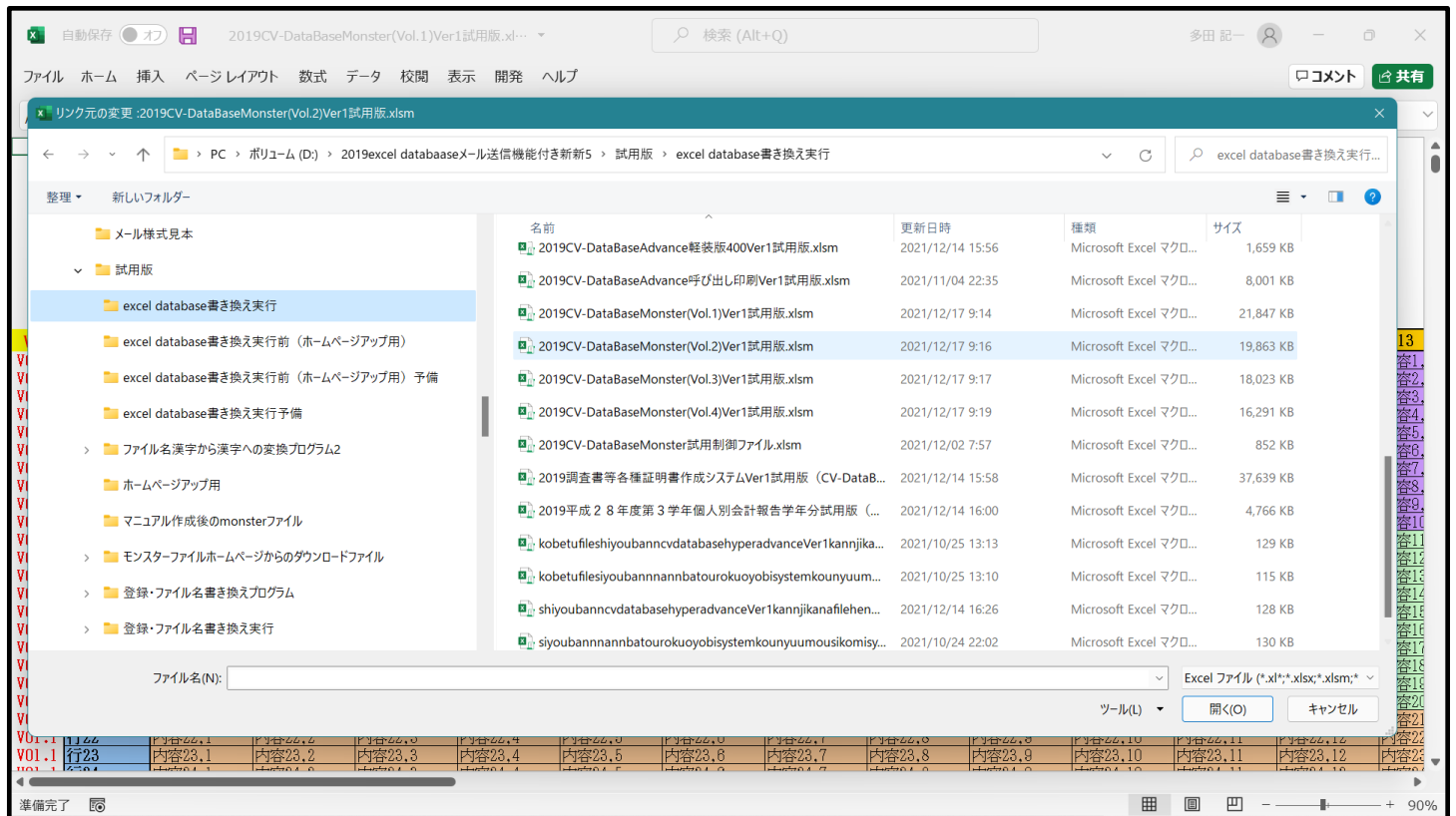
ドライブ「D」、

フォルダー

「¥2019excel databaase メール送信機能付き新新 5¥試用版¥excel database 書き換え実行」

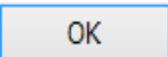
を選択すると次の【図 1 1 0】の画面になります。ただし、【図 1 1 0】の画面は、わかりやすくするためウィンドウの枠を広げ、また、ファイル名の部分をも広げています。

【図 1 1 0】



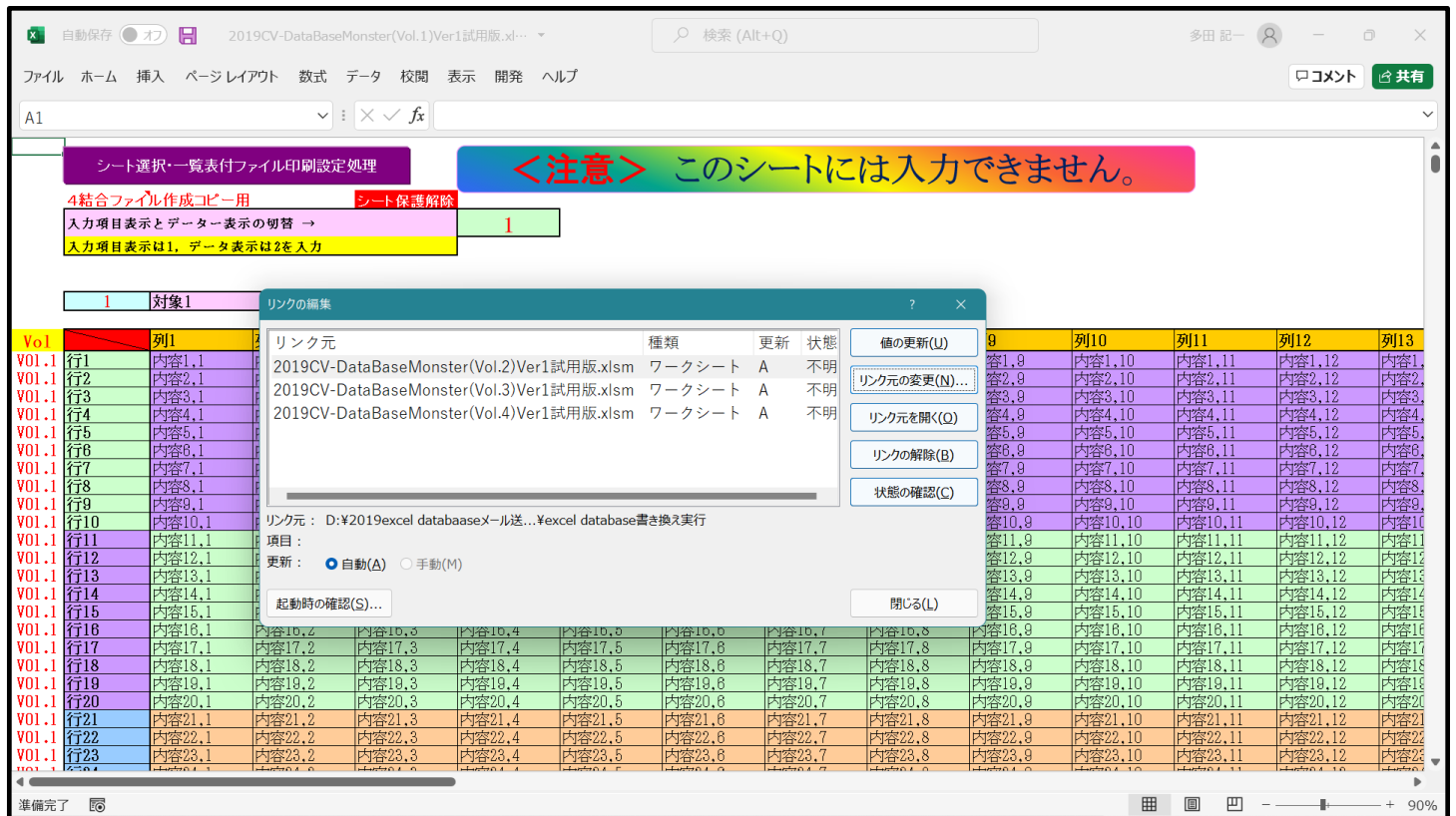
上の【図 1 1 0】の画面でファイル

 2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1試用版.xlsm

をクリックして選択し、 をクリックするとリンク元の変更が開始されます。

リンク元の変更が終了したら次の【図 1 1 1】の画面のようになり、次のリンク元が選択できるようになります。

【図 1 1 1】

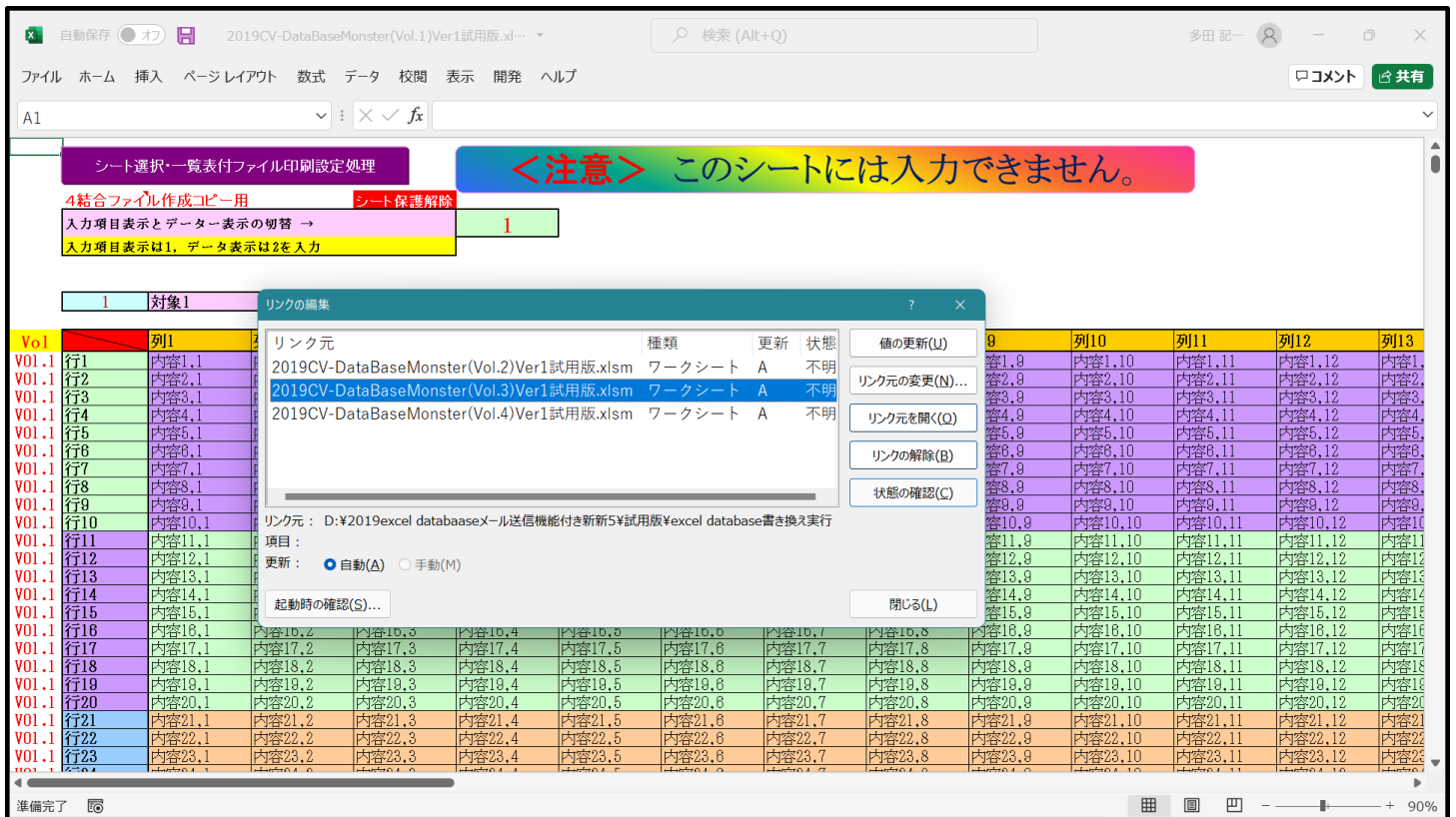


次にファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」のリンク元の変更をします。それには上の【図 1 1 1】の画面で

2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1試用版.xlsm ワークシート A

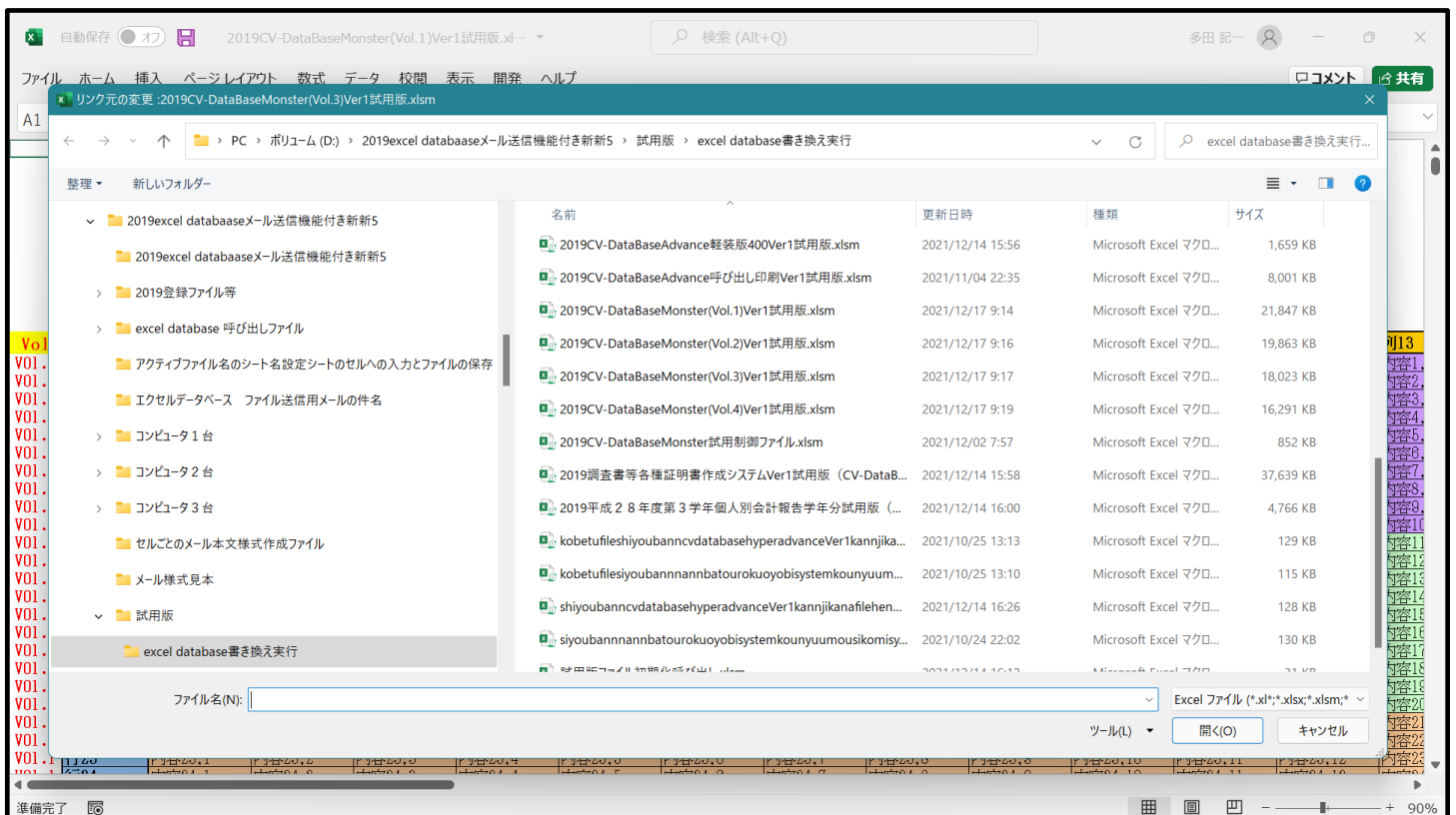
の部分をクリックして選択して次の【図 1 1 2】の画面のようにします。

【図 1 1 2】

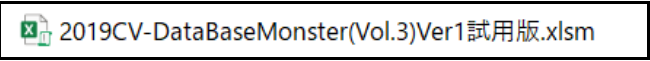


そして、上の【図 1 1 2】の画面で「リンク元の変更(N)...」の部分をクリックすると、いま開いているファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」のリンク元のフォルダー「2019excel databasease メール送信機能付き新新 5¥試用版¥excel database 書き換え実行」が表示されるので、画面を下側にスクロールすると次の【図 1 1 3】の画面になります。

【図 1 1 3】



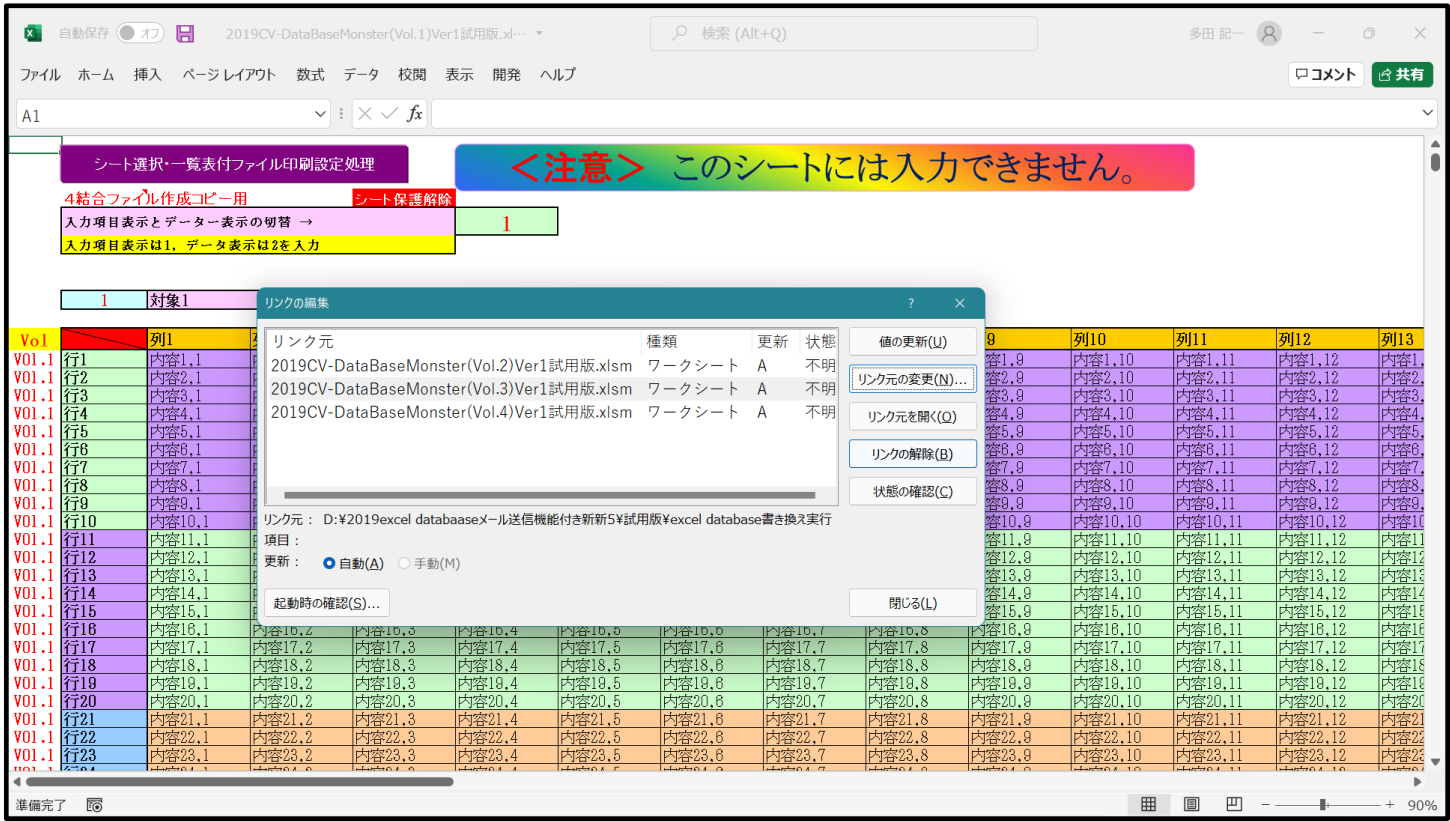
そして、上の[図 1 1 3]の画面の右側でファイル



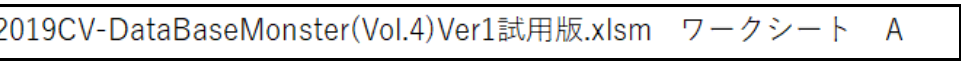
をクリックして選択し、**OK** ボタンをクリックするとリンク元の変更が開始されます。

そして、リンク元の変更が終了すると次の[図 1 1 4]の画面のようになり、次のリンク元が選択できるようになります。

[図 1 1 4]

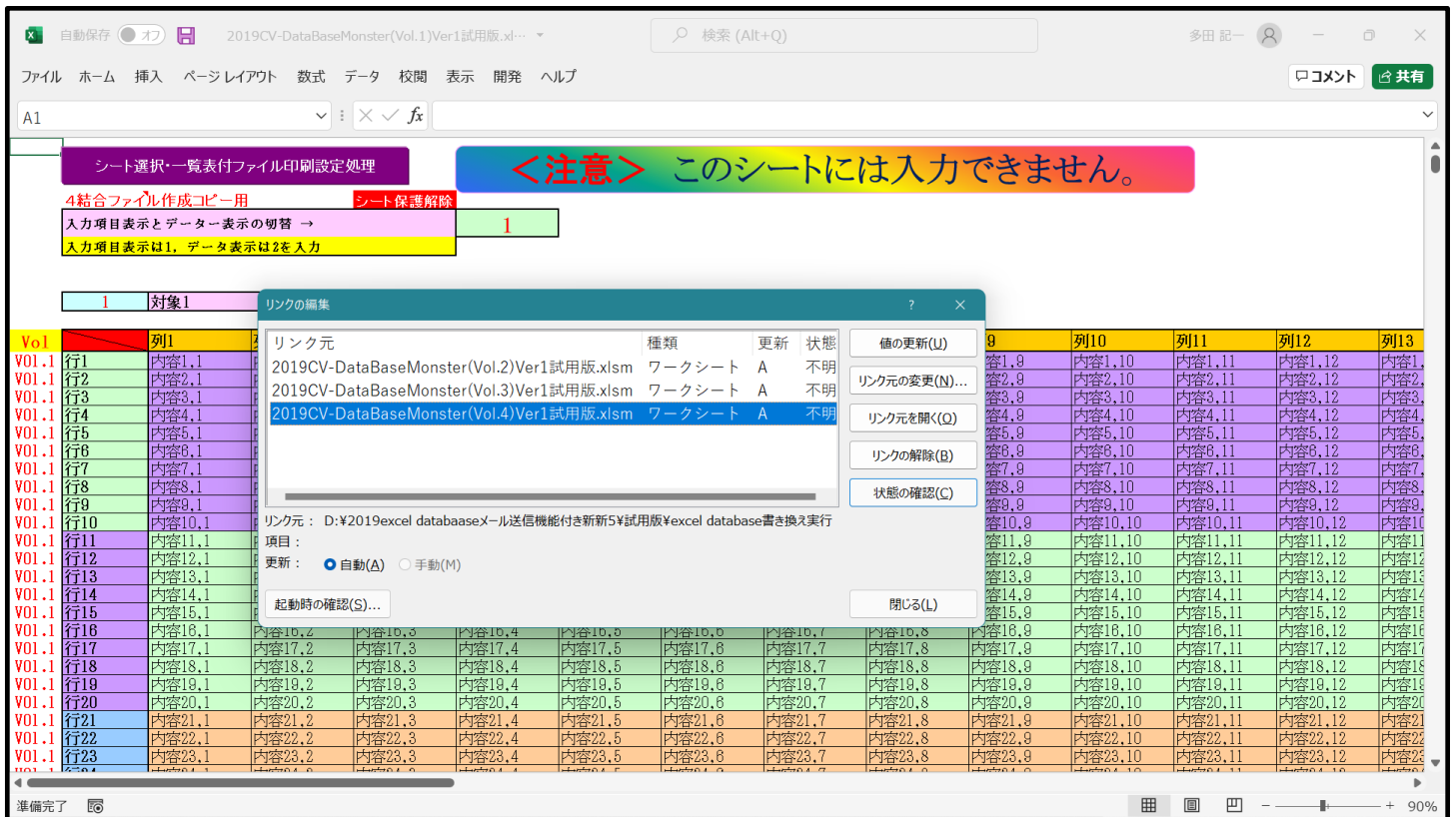


そして、最後にファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」のリンク元の変更をしますが、それには上の[図 1 1 4]の画面で



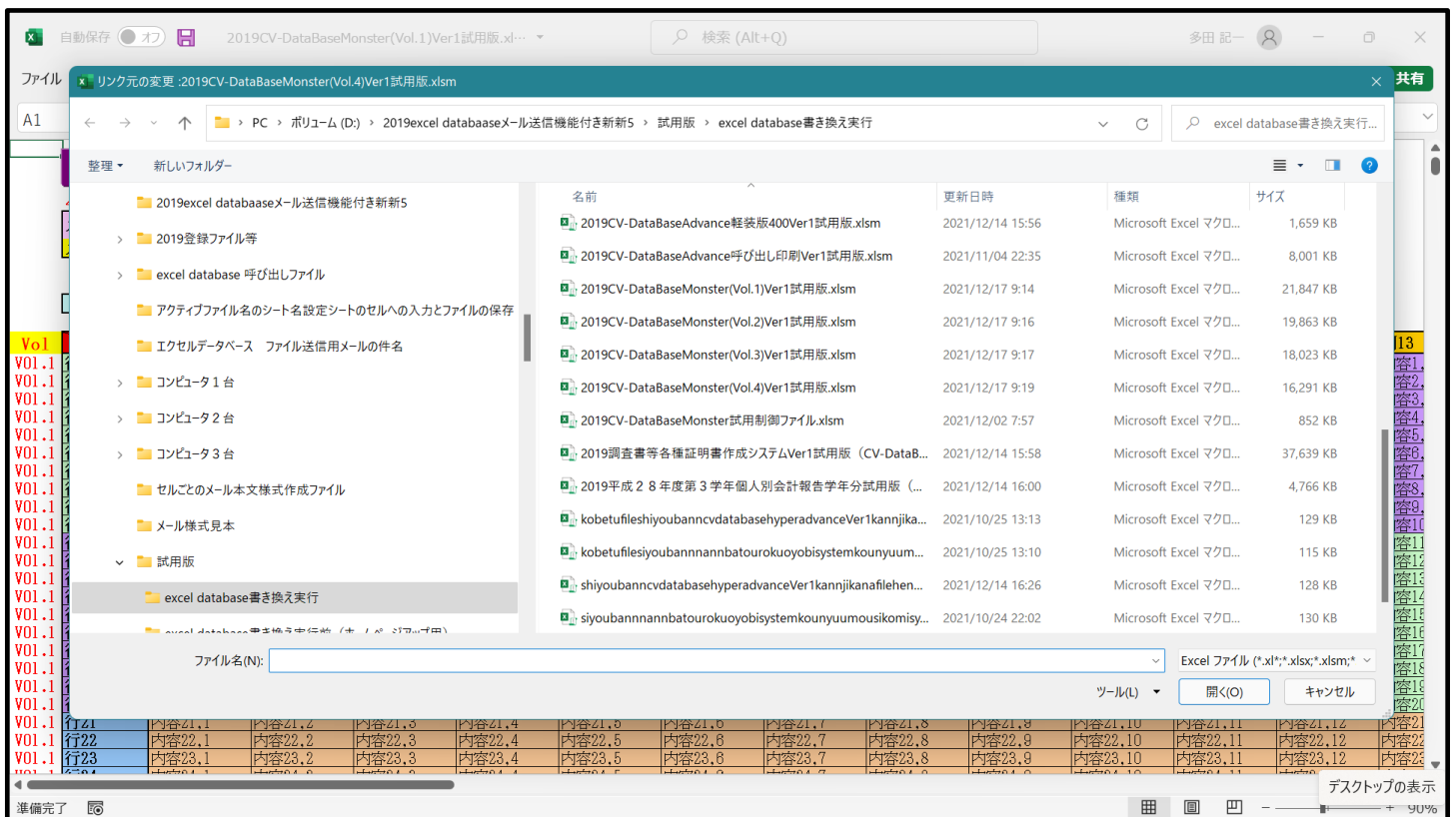
の部分をクリックして選択し、次の[図 1 1 5]の画面ようにします。

【図 1 1 5】

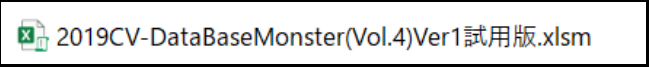


そしたら、上の【図 1 1 5】の画面の **リンク元の変更(N)...** をクリックすると、いま開いているファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」のリンク元のフォルダー「2019excel databasease メール送信機能付き新新 5¥試用版¥excel database 書き換え実行」が表示されるので、画面を下側にスクロールすると次の【図 1 1 6】の画面になります。

【図 1 1 6】

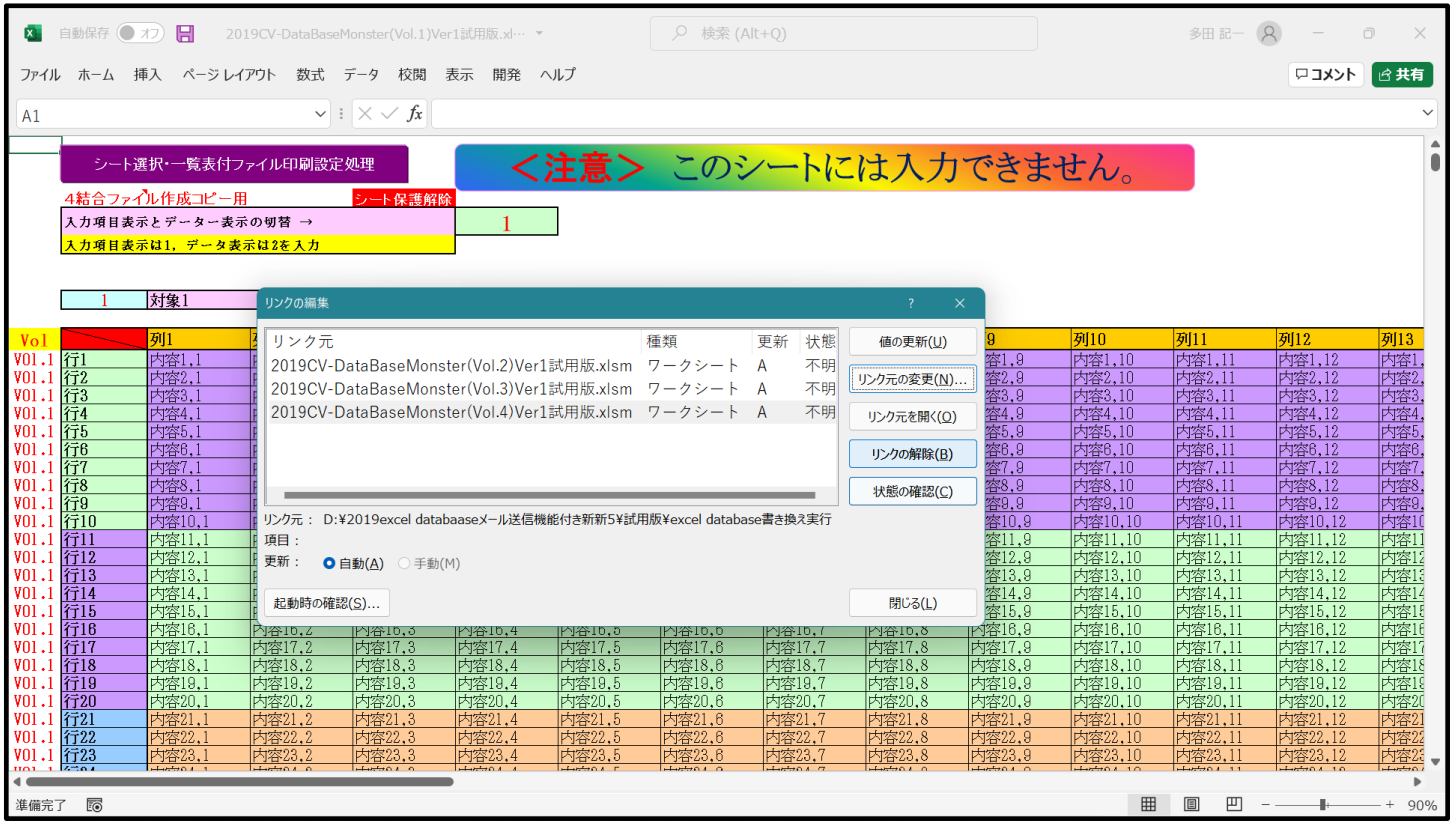


そしたら上の[図 1 1 6]の画面の右側でファイル



をクリックして選択した後 **OK** ボタンをクリックするとリンク元の変更が開始され、終了すると次の[図 1 1 7]の画面のようになります。

[図 1 1 7]



これで、ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」のリンクの編集は完了となります。

なお、リンクの編集変更が済んだら上の[1 1 7]の画面のボタン **閉じる(L)** をクリックしてリンクの編集画面を閉じ、下の[図 1 1 8]のようにし、セル **4結合ファイ** の部分を選択してダブルクリックし、必ずシートを保護してください。

The screenshot shows a spreadsheet application window titled "2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1試用版.xlsm". A warning message is displayed: "＜注意＞ このシートには入力できません。" (Warning: Cannot input into this sheet). Below the warning, there are tabs for "4結合ファイル作成コピー用" and "シート保護解除". The main data table has columns labeled "Vol.1" and "列1" through "列13". The rows are numbered 1 through 26. The table contains data for each row, with some cells highlighted in yellow and others in green.

Vol.1	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13
Vol.1.1	内容1.1	内容1.2	内容1.3	内容1.4	内容1.5	内容1.6	内容1.7	内容1.8	内容1.9	内容1.10	内容1.11	内容1.12	内容1.13
Vol.1.1	内容2.1	内容2.2	内容2.3	内容2.4	内容2.5	内容2.6	内容2.7	内容2.8	内容2.9	内容2.10	内容2.11	内容2.12	内容2.13
Vol.1.1	内容3.1	内容3.2	内容3.3	内容3.4	内容3.5	内容3.6	内容3.7	内容3.8	内容3.9	内容3.10	内容3.11	内容3.12	内容3.13
Vol.1.1	内容4.1	内容4.2	内容4.3	内容4.4	内容4.5	内容4.6	内容4.7	内容4.8	内容4.9	内容4.10	内容4.11	内容4.12	内容4.13
Vol.1.1	内容5.1	内容5.2	内容5.3	内容5.4	内容5.5	内容5.6	内容5.7	内容5.8	内容5.9	内容5.10	内容5.11	内容5.12	内容5.13
Vol.1.1	内容6.1	内容6.2	内容6.3	内容6.4	内容6.5	内容6.6	内容6.7	内容6.8	内容6.9	内容6.10	内容6.11	内容6.12	内容6.13
Vol.1.1	内容7.1	内容7.2	内容7.3	内容7.4	内容7.5	内容7.6	内容7.7	内容7.8	内容7.9	内容7.10	内容7.11	内容7.12	内容7.13
Vol.1.1	内容8.1	内容8.2	内容8.3	内容8.4	内容8.5	内容8.6	内容8.7	内容8.8	内容8.9	内容8.10	内容8.11	内容8.12	内容8.13
Vol.1.1	内容9.1	内容9.2	内容9.3	内容9.4	内容9.5	内容9.6	内容9.7	内容9.8	内容9.9	内容9.10	内容9.11	内容9.12	内容9.13
Vol.1.1	内容10.1	内容10.2	内容10.3	内容10.4	内容10.5	内容10.6	内容10.7	内容10.8	内容10.9	内容10.10	内容10.11	内容10.12	内容10.13
Vol.1.1	内容11.1	内容11.2	内容11.3	内容11.4	内容11.5	内容11.6	内容11.7	内容11.8	内容11.9	内容11.10	内容11.11	内容11.12	内容11.13
Vol.1.1	内容12.1	内容12.2	内容12.3	内容12.4	内容12.5	内容12.6	内容12.7	内容12.8	内容12.9	内容12.10	内容12.11	内容12.12	内容12.13
Vol.1.1	内容13.1	内容13.2	内容13.3	内容13.4	内容13.5	内容13.6	内容13.7	内容13.8	内容13.9	内容13.10	内容13.11	内容13.12	内容13.13
Vol.1.1	内容14.1	内容14.2	内容14.3	内容14.4	内容14.5	内容14.6	内容14.7	内容14.8	内容14.9	内容14.10	内容14.11	内容14.12	内容14.13
Vol.1.1	内容15.1	内容15.2	内容15.3	内容15.4	内容15.5	内容15.6	内容15.7	内容15.8	内容15.9	内容15.10	内容15.11	内容15.12	内容15.13
Vol.1.1	内容16.1	内容16.2	内容16.3	内容16.4	内容16.5	内容16.6	内容16.7	内容16.8	内容16.9	内容16.10	内容16.11	内容16.12	内容16.13
Vol.1.1	内容17.1	内容17.2	内容17.3	内容17.4	内容17.5	内容17.6	内容17.7	内容17.8	内容17.9	内容17.10	内容17.11	内容17.12	内容17.13
Vol.1.1	内容18.1	内容18.2	内容18.3	内容18.4	内容18.5	内容18.6	内容18.7	内容18.8	内容18.9	内容18.10	内容18.11	内容18.12	内容18.13
Vol.1.1	内容19.1	内容19.2	内容19.3	内容19.4	内容19.5	内容19.6	内容19.7	内容19.8	内容19.9	内容19.10	内容19.11	内容19.12	内容19.13
Vol.1.1	内容20.1	内容20.2	内容20.3	内容20.4	内容20.5	内容20.6	内容20.7	内容20.8	内容20.9	内容20.10	内容20.11	内容20.12	内容20.13
Vol.1.1	内容21.1	内容21.2	内容21.3	内容21.4	内容21.5	内容21.6	内容21.7	内容21.8	内容21.9	内容21.10	内容21.11	内容21.12	内容21.13
Vol.1.1	内容22.1	内容22.2	内容22.3	内容22.4	内容22.5	内容22.6	内容22.7	内容22.8	内容22.9	内容22.10	内容22.11	内容22.12	内容22.13
Vol.1.1	内容23.1	内容23.2	内容23.3	内容23.4	内容23.5	内容23.6	内容23.7	内容23.8	内容23.9	内容23.10	内容23.11	内容23.12	内容23.13
Vol.1.1	内容24.1	内容24.2	内容24.3	内容24.4	内容24.5	内容24.6	内容24.7	内容24.8	内容24.9	内容24.10	内容24.11	内容24.12	内容24.13
Vol.1.1	内容25.1	内容25.2	内容25.3	内容25.4	内容25.5	内容25.6	内容25.7	内容25.8	内容25.9	内容25.10	内容25.11	内容25.12	内容25.13
Vol.1.1	内容26.1	内容26.2	内容26.3	内容26.4	内容26.5	内容26.6	内容26.7	内容26.8	内容26.9	内容26.10	内容26.11	内容26.12	内容26.13

以上でファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」のワークシート「4 結合ファイル作成コピー用」でのリンク元の変更完了となりますが、引き続き、

- ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」
- ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」
- ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

のそれぞれについても同様に、「4 結合ファイル作成コピー用」でリンク元の変更を必ずおこなってください。その際、

リンク編集ウィンドウの画面のリンク元の表示が
「○○○○CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」
等となっている場合は、ファイル
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」
を選択してリンク元を変更し、
「○○○○CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」
等となっている場合は、ファイル
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」
を選択し、
「○○○○CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」
等となっている場合は、ファイル
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」
を選択し、
「○○○○CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」
等となっている場合は、ファイル
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」
を選択して、それぞれリンク元を変更する必要があります。

なお、
[ファイル「2019CV-DataBaseMonster\(Vol.1\)Ver1 試用版.xlsm」](#)
[ファイル「2019CV-DataBaseMonster\(Vol.2\)Ver1 試用版.xlsm」](#)
[ファイル「2019CV-DataBaseMonster\(Vol.3\)Ver1 試用版.xlsm」](#)

[ファイル「2019CV-DataBaseMonster\(Vol.4\)Ver1 試用版.xlsm」](#)
の4個のファイル全てのリンク元を全て変更して閉じた後、これら4個のファイルと
[ファイル「2019CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」](#)
を一括して他の同じルダーにまとめてコピーしても、
[ファイル「2019CV-DataBaseMonster\(Vol.1\)Ver1 試用版.xlsm」](#)
[ファイル「2019CV-DataBaseMonster\(Vol.2\)Ver1 試用版.xlsm」](#)
[ファイル「2019CV-DataBaseMonster\(Vol.3\)Ver1 試用版.xlsm」](#)
[ファイル「2019CV-DataBaseMonster\(Vol.4\)Ver1 試用版.xlsm」](#)
のリンクは正常に保たれており、また新たにリンク元を変更することなく、そのまま使用することができます。
ただ、これら4個のファイルのいずれかのファイル名を変更した場合は、他のファイルのファイル名も全て変更してください。

5. 登録書き換え後の「2019CV-DataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイル のファイル名変更について

5個のファイル

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」
ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」
ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」
ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」
ファイル「2019CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」

はセットのファイルで、必ず1つの同じフォルダーに置く必要があります、1つのフォルダー上にないとマクロの関係でこれらを相互に呼び出すことができなく、正常に作動しなくなります。

これら5個のファイルのうち、

ファイル「2019CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」

のファイル名の変更はできませんが、

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」
ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」
ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」
ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

の4個のファイルについては、いずれもそのファイル名を変更することができます。

以下、これらのファイル名を変更する場合のいくつかの注意すべき点を述べたいとおもいます。

例えば

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」

のファイル名を変更し、ファイル名を

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版成績処理
システム1.xlsm」

と変更してみます。

まず、

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」

のワークシート「4 結合ファイル作成コピー用」が選択されて、次の[図 1 1 9]の画面になっていたとします。

[図 1 1 9]

2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1試用版.xlsm - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

4結合ファイル作成コピー用 シート保護解除

入力項目表示とデーター表示の切替 → 1

入力項目表示は1、データー表示は2を入力

1 対象1

Vo.1	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13
VOI.1	行1	内容1.1	内容1.2	内容1.3	内容1.4	内容1.5	内容1.6	内容1.7	内容1.8	内容1.9	内容1.10	内容1.11	内容1.12
VOI.1	行2	内容2.1	内容2.2	内容2.3	内容2.4	内容2.5	内容2.6	内容2.7	内容2.8	内容2.9	内容2.10	内容2.11	内容2.12
VOI.1	行3	内容3.1	内容3.2	内容3.3	内容3.4	内容3.5	内容3.6	内容3.7	内容3.8	内容3.9	内容3.10	内容3.11	内容3.12
VOI.1	行4	内容4.1	内容4.2	内容4.3	内容4.4	内容4.5	内容4.6	内容4.7	内容4.8	内容4.9	内容4.10	内容4.11	内容4.12
VOI.1	行5	内容5.1	内容5.2	内容5.3	内容5.4	内容5.5	内容5.6	内容5.7	内容5.8	内容5.9	内容5.10	内容5.11	内容5.12
VOI.1	行6	内容6.1	内容6.2	内容6.3	内容6.4	内容6.5	内容6.6	内容6.7	内容6.8	内容6.9	内容6.10	内容6.11	内容6.12
VOI.1	行7	内容7.1	内容7.2	内容7.3	内容7.4	内容7.5	内容7.6	内容7.7	内容7.8	内容7.9	内容7.10	内容7.11	内容7.12
VOI.1	行8	内容8.1	内容8.2	内容8.3	内容8.4	内容8.5	内容8.6	内容8.7	内容8.8	内容8.9	内容8.10	内容8.11	内容8.12
VOI.1	行9	内容9.1	内容9.2	内容9.3	内容9.4	内容9.5	内容9.6	内容9.7	内容9.8	内容9.9	内容9.10	内容9.11	内容9.12
VOI.1	行10	内容10.1	内容10.2	内容10.3	内容10.4	内容10.5	内容10.6	内容10.7	内容10.8	内容10.9	内容10.10	内容10.11	内容10.12
VOI.1	行11	内容11.1	内容11.2	内容11.3	内容11.4	内容11.5	内容11.6	内容11.7	内容11.8	内容11.9	内容11.10	内容11.11	内容11.12
VOI.1	行12	内容12.1	内容12.2	内容12.3	内容12.4	内容12.5	内容12.6	内容12.7	内容12.8	内容12.9	内容12.10	内容12.11	内容12.12
VOI.1	行13	内容13.1	内容13.2	内容13.3	内容13.4	内容13.5	内容13.6	内容13.7	内容13.8	内容13.9	内容13.10	内容13.11	内容13.12
VOI.1	行14	内容14.1	内容14.2	内容14.3	内容14.4	内容14.5	内容14.6	内容14.7	内容14.8	内容14.9	内容14.10	内容14.11	内容14.12
VOI.1	行15	内容15.1	内容15.2	内容15.3	内容15.4	内容15.5	内容15.6	内容15.7	内容15.8	内容15.9	内容15.10	内容15.11	内容15.12
VOI.1	行16	内容16.1	内容16.2	内容16.3	内容16.4	内容16.5	内容16.6	内容16.7	内容16.8	内容16.9	内容16.10	内容16.11	内容16.12
VOI.1	行17	内容17.1	内容17.2	内容17.3	内容17.4	内容17.5	内容17.6	内容17.7	内容17.8	内容17.9	内容17.10	内容17.11	内容17.12
VOI.1	行18	内容18.1	内容18.2	内容18.3	内容18.4	内容18.5	内容18.6	内容18.7	内容18.8	内容18.9	内容18.10	内容18.11	内容18.12
VOI.1	行19	内容19.1	内容19.2	内容19.3	内容19.4	内容19.5	内容19.6	内容19.7	内容19.8	内容19.9	内容19.10	内容19.11	内容19.12
VOI.1	行20	内容20.1	内容20.2	内容20.3	内容20.4	内容20.5	内容20.6	内容20.7	内容20.8	内容20.9	内容20.10	内容20.11	内容20.12
VOI.1	行21	内容21.1	内容21.2	内容21.3	内容21.4	内容21.5	内容21.6	内容21.7	内容21.8	内容21.9	内容21.10	内容21.11	内容21.12
VOI.1	行22	内容22.1	内容22.2	内容22.3	内容22.4	内容22.5	内容22.6	内容22.7	内容22.8	内容22.9	内容22.10	内容22.11	内容22.12
VOI.1	行23	内容23.1	内容23.2	内容23.3	内容23.4	内容23.5	内容23.6	内容23.7	内容23.8	内容23.9	内容23.10	内容23.11	内容23.12
VOI.1	行24	内容24.1	内容24.2	内容24.3	内容24.4	内容24.5	内容24.6	内容24.7	内容24.8	内容24.9	内容24.10	内容24.11	内容24.12
VOI.1	行25	内容25.1	内容25.2	内容25.3	内容25.4	内容25.5	内容25.6	内容25.7	内容25.8	内容25.9	内容25.10	内容25.11	内容25.12
VOI.1	行26	内容26.1	内容26.2	内容26.3	内容26.4	内容26.5	内容26.6	内容26.7	内容26.8	内容26.9	内容26.10	内容26.11	内容26.12
VOI.1	行27	内容27.1	内容27.2	内容27.3	内容27.4	内容27.5	内容27.6	内容27.7	内容27.8	内容27.9	内容27.10	内容27.11	内容27.12
VOI.1	行28	内容28.1	内容28.2	内容28.3	内容28.4	内容28.5	内容28.6	内容28.7	内容28.8	内容28.9	内容28.10	内容28.11	内容28.12
VOI.1	行29	内容29.1	内容29.2	内容29.3	内容29.4	内容29.5	内容29.6	内容29.7	内容29.8	内容29.9	内容29.10	内容29.11	内容29.12
VOI.1	行30	内容30.1	内容30.2	内容30.3	内容30.4	内容30.5	内容30.6	内容30.7	内容30.8	内容30.9	内容30.10	内容30.11	内容30.12

この場合全画面表示になっていますので、上の[図 1 1 9] の画面のコマンドボタン

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

をクリックしてユーザーフォームを立ち上げると次の

[図 1 2 0]の画面が表示されます。

[図 1 2 0]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択、処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA、AB、BABB選択 | 入力シートCA、CB、DA、DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択 | 追1

シート名設定	行列入力項目A	入力からソートデーターへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	ソートデーターから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データー削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示 全画面表示 シート見出し表示 シート見出し非表示

セルの広範囲選択呼出 CV-DataBaseMonster制御 キャンセル システム終了

標準画面表示

上の[図 1 2 0]の画面のコマンドボタンをクリックすると、下の[図 1 2 1]の画面のようになります。

[図 1 2 1]

ここで、上の[図 1 2 1]の画面の左上の **ファイル** をクリックすると、下の[図 1 2 2]の画面のようになります。

[図 1 2 2]

名前を付けて保存

上の[図 1 2 2]の画面の左側のメニュー「名前を付けて保存」を選択すると、下の[図 1 2 3]画面になります。

[図 1 2 3]

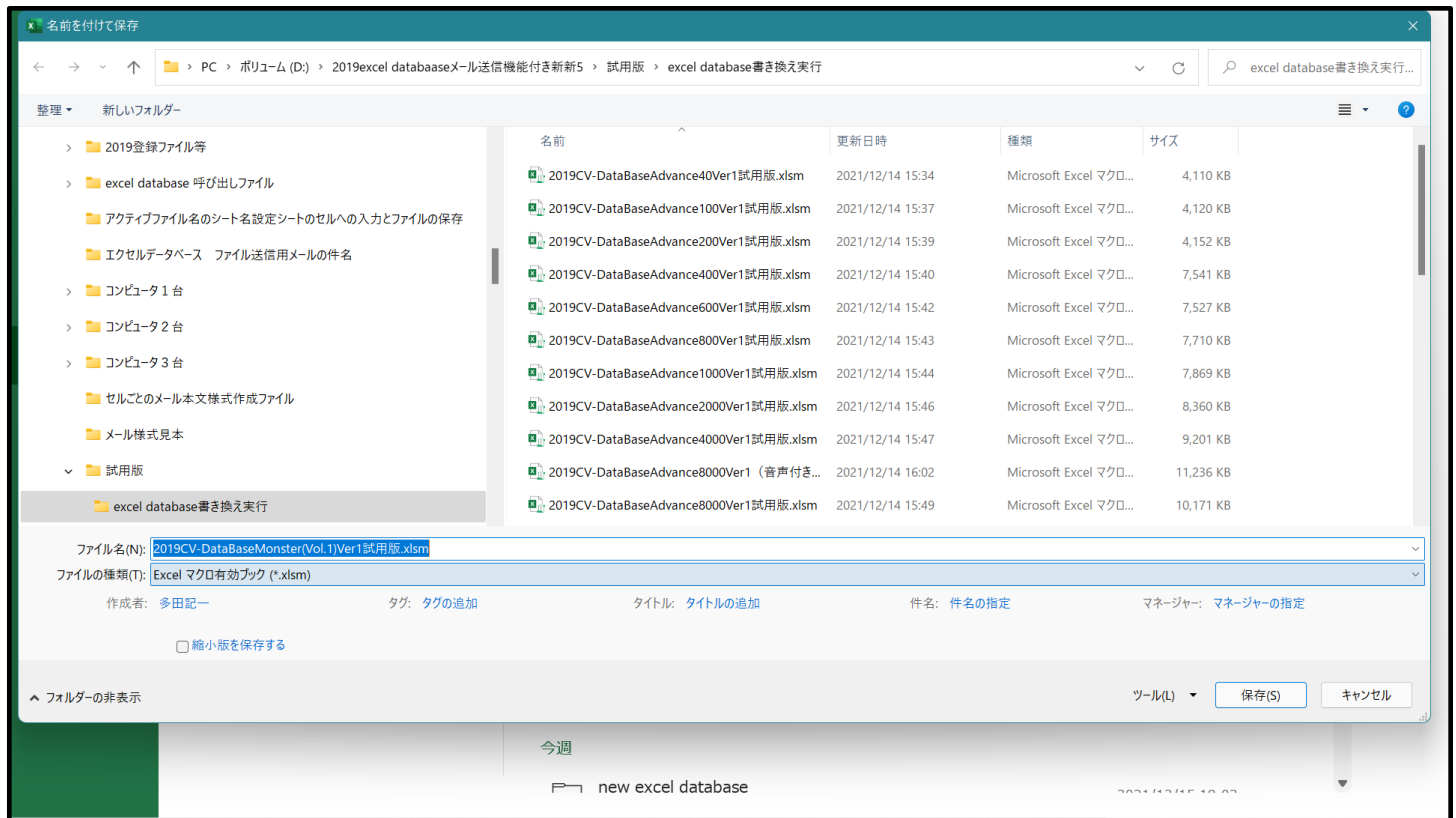


参照

上の[図 1 2 3]の画面の左下側の「参照」をクリックすると現在開いているファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」のフォルダーが表示されて次の[図 1 2 4]の画面になります。

【図 1 2 4】



上の【図 1 2 4】の画面でファイル名を

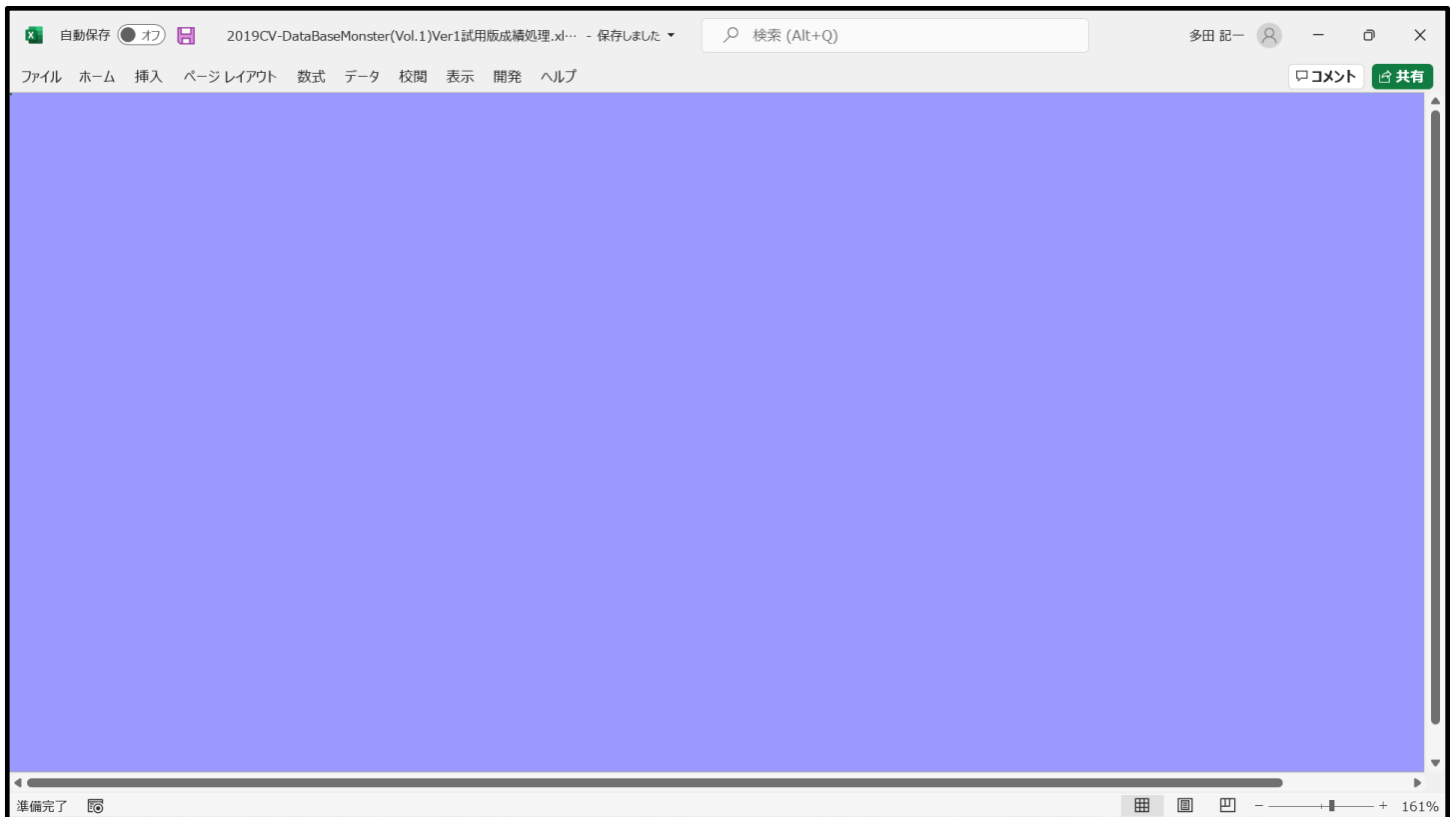
「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」

から

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版成績処理.xlsm」

に書き換え、下側の **保存(S)** をクリックすると保存が開始されます。保存が終了すると、保存したファイルのワークシート「無地画面」が選択されて、下の【図 1 2 5】の画面ようになります。

【図 1 2 5】



更にここで、上の【図 1 2 5】の画面であるワークシート「無地画面」の任意のセルをダブルクリックすると、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」が起動し、下の【図 1 2 6】の画面が表示されます。

【図 1 2 6】

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BA,BB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択 | 追加 |

シート名設定	行列入力項目A	入力からソートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	ソートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
セルの広範囲選択呼出	CV-DataBaseMonster制御	キャンセル	システム終了

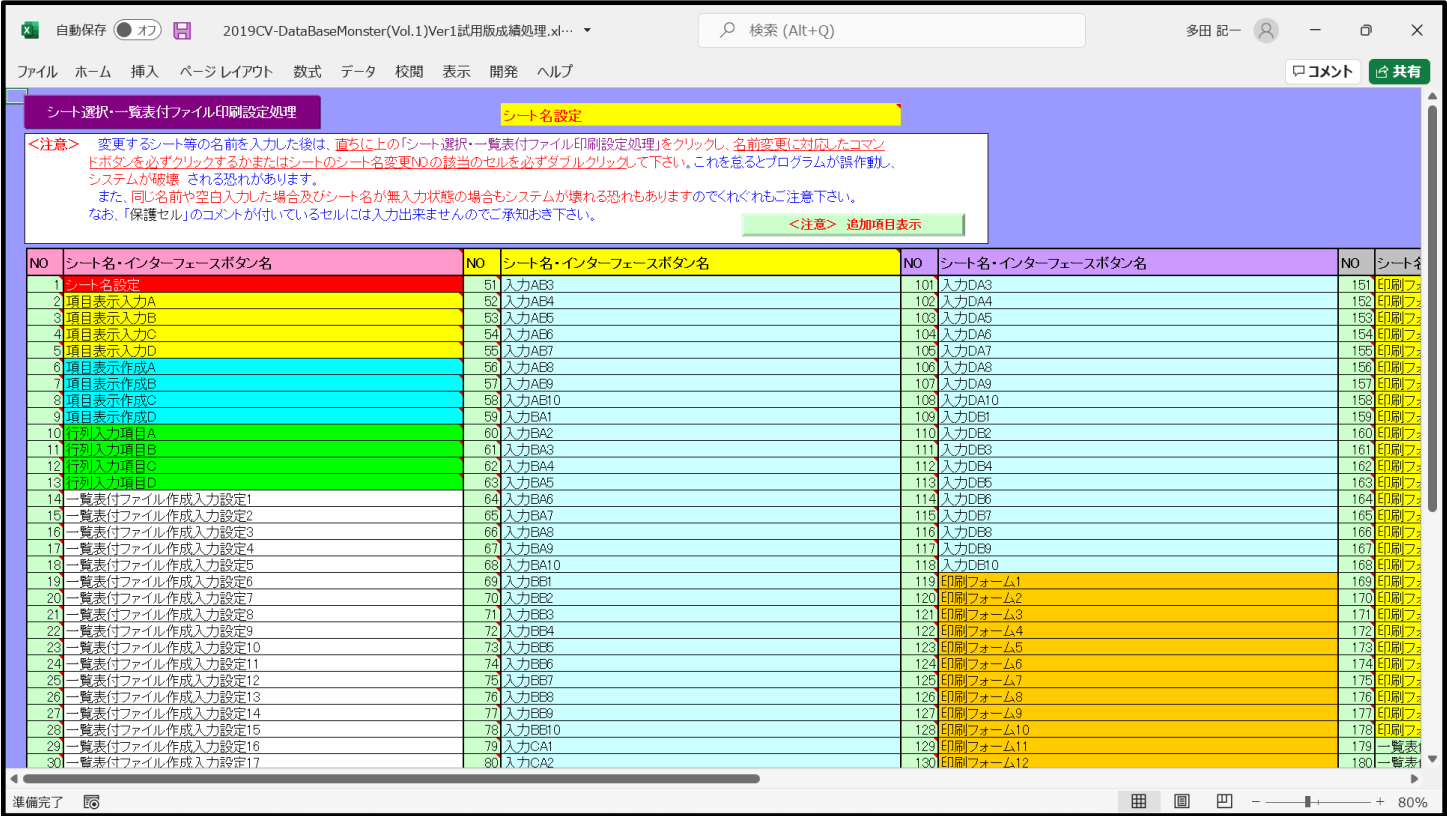
次に、上の【図 1 2 6】の画面でコマンドボタン

シート名設定

をクリックし、

ワークシート「シート名設定」を選択すると次の[図 1 2 7]の画面となります。

[図 1 2 7]



ここで、上の[図 1 2 7]の画面におけるコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックして、再びユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」を起動させると次の[図 1 2 8]の画面になります。

[図 1 2 8]



そして、ここで必ずやっていただきたいことは、上の[図 1 2 8]の画面の下側にあるコマンドボタン

CV-DataBaseMonster制御

をクリックしてファイル「2019CV-DataBaseMonster 3 台制御

ファイル.xlsm」を選択していただきたいということです。これを怠ると、以後、ファイル「2019CV-DataBaseMonster 3 台制御ファイル.xlsm」を用いて変更後のファイルを含めて、現在開かれている「2019CVDataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイル呼び出し、一旦「2019CVDataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルを保存して閉じて、再びファイル「2019CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」を用いて「2019CVDataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルを開いたり呼び出す等の処理ができなくなります。

上でファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」のファイル名を変更し、

「2019 CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版成績処理.xlsm」とするやり方を説明しましたが、他の3つのファイル

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

のファイル名を変更する場合は、上で説明させていただいたファイル

「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」

のファイル名を変更し、

「2019 CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版成績処理.xlsm」

とするプロセスを、ファイル名を変更する各ファイルでおこなっていただきたいと思います。

なおこの場合、

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

のファイル名も変更して

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版成績処理.xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版成績処理.xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版成績処理.xlsm」

としておくとうろしいかと思ひます。

次に2つ目のご注意いただきたい点を述べさせていただきます。ファイルを閉じ、保存する場合のことです。ファイルを閉じ、保存する場合、必ずファイル「2019CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」を介しておこなってください。この際の具体的な操作を示します。

「2019CVDataBaseMonsterVer1 試用版」のセッテファイルの4個のうちのどの

ファイルのどのシート各ワークシートにも、コマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** が配置されており、このコマンドボタンをクリックすると、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定」が起動し、次の[図129]のような画面になります。ただし、この画面はタブ「シート選択・処理呼出1」が選択されている状況です。

[図 1 2 9]

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BABB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択 | 追加 |

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示

セルの広範囲選択呼出

全画面表示

CV-DataBaseMonster制御

シート見出し表示

キャンセル

シート見出し非表示

システム終了

CV-DataBaseMonster制御

上の[図129]の画面のコマンドボタン **CV-DataBaseMonster制御** をクリックすると、ファイル「2019CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」のワークシート「呼出ファイル」が表示され、次の[図130]の画面のようになります。

【図 1 3 0】

2019CV-DataBaseMonster試用制御ファイル.xlsm - Excel		
処理呼び出しボタン		
呼び出しファイルのドライブ・ディレクトリー及びファイル名		
区 分	DriveDirectory	FileName
CVDBMonsterVol.1	D:\2019excel databaseメール送信機能付き新5¥試用版¥excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1試用版成績処理.xlsm
CVDBMonsterVol.2	D:\2019excel databaseメール送信機能付き新5¥試用版¥excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1試用版.xlsm
CVDBMonsterVol.3	D:\2019excel databaseメール送信機能付き新5¥試用版¥excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1試用版.xlsm
CVDBMonsterVol.4	D:\2019excel databaseメール送信機能付き新5¥試用版¥excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1試用版.xlsm
CVDBMonsterControl	D:\2019excel databaseメール送信機能付き新5¥試用版¥excel database書き換え実行	2019CV-DataBaseMonster試用制御ファイル.xlsm
CVDBMonsterシステム名	2019CV-DataBaseMonster試用版	

処理呼び出しボタン

この画面のコマンドボタンをクリックするとユーザーフォーム「シート選択処理」が起動し、次の【図 1 3 1】の画面のようになります。ただし、【図 1 3 1】の画面ではタブ「システムファイルの開閉」が選択されています。

【図 1 3 1】

処理・シート選択	
システムファイルの開閉	CV-DataBaseMonsterの選択 制御ファイルのシート選択 システムの一括処理
 — 2021/12/17 9:09:51 —	
2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1試用版成績処理.xlsm を開く 2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1試用版.xlsm を開く 2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1試用版.xlsm を開く 2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1試用版.xlsm を開く 2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1試用版成績処理.xlsm を閉じる 2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1試用版.xlsm を閉じる 2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1試用版.xlsm を閉じる 2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1試用版.xlsm を閉じる	
上記ファイル(2019CV-DataBaseMonster試用版Vol.1～4)全てを開く システムの保存・非保存の選択をして閉じる システムを保存して閉じる	
ユーザーフォーム を閉じる 標準画面表示	CV-DataBaseMonster制御ファイルを保存しないで閉じる 全画面表示
	CV-DataBaseMonster制御ファイルを保存して閉じる シート見出し非表示

「2019CVDataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルのいずれかのファイルの名前を変更して閉じる場合は、上の[図 1 3 1]の画面でコマンドボタン

システムを保存して閉じる

をクリックして、すべての「2019CVDataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルを保存して閉じてください。なお、保存後はファイル名を変更した元のファイルは削除してフォルダー内を整理しておきましょう。

最後にご注意いただきたいことは、マクロの関係で、

ファイル「2019CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」
のファイル名は絶対に変更しないでください。

5 個のファイル

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」

あるいは、上側の 4 個のファイル名を変更した後、相互間に設定したマクロが正常に機能しなくなるからです。

なお、ファイル

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」

ファイル「2019CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

のいずれかのファイル名を変更した場合には、他のファイルについてもファイル名を変更してください。